

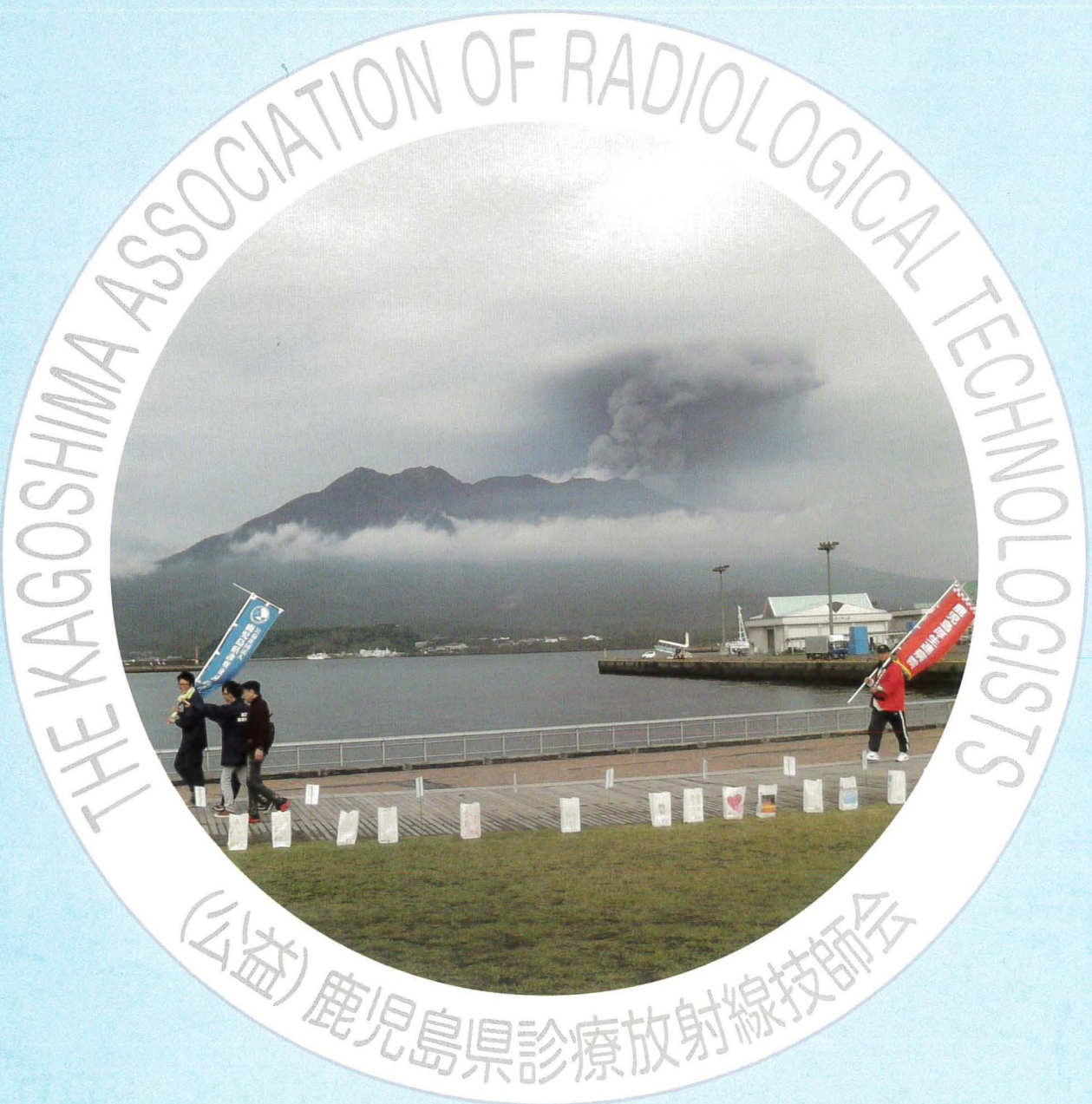


(公社)鹿児島県診療放射線技師会

# 会報

平成27年9月

第122号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11  
TEL 099-248-0028  
FAX 099-248-0028



## 目 次

巻 頭 言 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也 .....	1
会長退任に際して .....	2
理事退任にあたって .....	3
理事就任にあたって .....	6
お知らせ 永年勤続表彰候補者のお知らせ.....	8
平成 27 年度 九州地域放射線技師研修会 .....	11
市民健康まつり .....	15
第 31 回南薩地域定期研修会開催について .....	17
第 24 回北薩地域研修会のご案内 .....	19
業務拡大に伴う統一講習会開催 .....	22
法律の一部改正の施行等について .....	27
診療放射線技師法施行規則及び臨床検査技師等に関する 法律施行規則の一部を改正する省令について.....	30
診療放射線技師学校養成所指定規則及び臨床検査技師学校養成所指定規則の 一部を改正する省令について .....	31
報 告 平成 27 年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会開催報告 .....	32
携帯型迅速クレアチニン測定装置を利用した造影検査前腎機能測定の 有用性について .....	35
当院における警察依頼 Ai の現状 .....	39
AERA1.5TMRI における新しいソフトウェアバージョン(syngo MR E11) の使用経験 .....	42
医療用高精細モニタの品質管理と当院での運用報告 .....	45
当院における装置の時間のずれの現状 .....	47
当院における放射線障害予防規程の改正 .....	49
ファントムを用いた SPECT・CT 撮像における 再構成技術 x SPECT Bone の検証 .....	52
平成 27 年度「レントゲン週間イベント」開催報告 .....	54
西本孝市先生 叙勲祝賀会 ～瑞宝双光章受章～ .....	57
平成 27 年度リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま参加報告 .....	60
平成 27 年度 第 12 回フレッシューズセミナー(開催報告) .....	62
平成 27 年度リーダー及びリーダー育成研修会 .....	64
第 2 回 FRT 九州研修会 開催報告 .....	66
第 14 回鹿児島地域研修会終了報告 .....	68

平成26年度第14回鹿児島地域研修会報告	70
第14回鹿児島地域研修会参加者名簿	72
平成27年28年鹿児島地域世話人名簿	73
第30回南薩地域研修会 終了報告	74
平成27年度 霧島・始良地域研修会終了報告	77
第2回 鹿児島乳腺画像研究会の報告	80
第7回 鹿児島超音波研究会報告	81
総会議事録 第94回 定期総会議事録	82
第94回 定時総会資料	92
平成26年度 決算総会事業報告	95
平成26年度 事業報告	97
平成26年度 監査報告書	110
平成27年度 事業計画	111
平成27年度 収支予算書(案)	115
平成27年度4月～8月 入会者一覧	117
理事会議事録 平成27年度 第1回理事会議事録	118
平成27年度 第2回理事会議事録	123
常務議事録 平成27年度 第1回常務理事会議事録	126
会員投稿 夏祭り体験記「新栄町内会財宝夏祭り！」	130
会計だより	131
編集後記	132
理事・監事名簿	133
広告掲載一覧	134
広告	

## 就任挨拶

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 松本俊也

平成27年6月21日に鹿児島県診療放射線技師会長に就任しました。松本俊也です。前任の池田会長が公益財団法人として大きくしてくださった鹿児島県診療放射線技師会を引き継ぐことになりました。しばらく技師会業務から離れていた時間がありましたので技師会を外から見る期間を得られました。何らかの見ていなかった事などが分かり活かされれば良いと考えています。



不慣れな点はまだありますが皆様のご支援を得ながら、がんばっていきたいと思います。

さて、最近、新任会長会議に参加して中澤会長の考えを聞いてまいりました。日本診療放射線技師会には開かずの扉がいくつかある。その中で今回3点ほど進展がありましたのでご紹介したいと思います。

1. 技師法改正は昭和26年6月に技師法ができて、33年に2年制から3年制に、58年には2つの身分エックス線技師と診療放射線技師がひとつになりました。平成5年にMR・超音波の明記がされてから今回の27年の改定まで22年かかって抜本的な改正を行ってきた簡単にはできないことで診療放射線技師法の改正には50年くらい時間が必要になる。
2. 日本中に52,000人の診療放射線技師がいるがその中で28,000人が診療放射線技師会員である。我々診療放射線技師がやるべきことは国民・県民の健康増進のために努力している中で我々に何ができるかということで医療被ばくの相談員を60名ぐらい育てているが各県2~3名できたら来年度はレントゲン週間とかに国民に対して無料電話相談を行いたい。各県では国民に対して、県民に対して何ができるか考えていただきたい。
3. 診療放射線技師法ができて63年間ずっと国家試験は放射線科医師が作成している。なぜかという試験問題をつくる能力が技師にあるかということです。医師は教授・準教授・助教は博士を90数パーセントもっている、技師は博士を持っている人56パーセントだった。今はこれ以上になっているが24年25年26年技師会で日本放射線技師会国家試験評価委員会を立ち上げて対応してきたことで、やっと厚生労働省に試験委員に技師の副委員長を出すことができた。これも5年間戦ってきた結果である。

そのほかにもマンモ検診、胃検診は医師の立会いの下ではなくて包括的な指示でできるようにしたい。医療機器安全管理責任者は全国で放射線技師が行っているのが17パーセントぐらいは行っている。そこで診療放射線技師の業務として日ごろ使用している放射線関係の機器の管理も放射線技師が行うと技師法を改正したい。法改正などはすぐにはできないものがあるか目標に向かって行く。

大きな開かずの扉はたくさんあるが一つ一つ解決していくとのことでした。

さて、鹿児島県診療放射線技師会としましては地道に行っていけたらと思います。

まずは統一講習会を来年開催したいと予定しております。

また、鹿児島県では、発表支援窓口の開設、など新しい企画も考えています。会員からの要望・意見等に耳を傾けながら、県民の健康増進にも寄与できる鹿児島県診療放射線技師会を目指していきたいと思います。

平成27年8月

## 会長退任に際して

鹿児島県診療放射線技師会 池田 睦

平成21年6月の定時総会において、西本孝市会長の後を引き継ぎ第17代の社団法人鹿児島県放射線技師会会長を拝命してから6年間、会長職を務めることができご協力くださいました理事、監事の皆様方にはお礼を申し上げます。

過去には平成3年度から10年度までの8年間、第12代の湯ノ口武司会長、第13代の村山光生会長の基で技師会活動に携わることができ、また、平成19年度から2年間は西本孝市前会長の基で副会長を務めておりましたので、技師会活動並びに会長職についてはある程度の業務内容は把握していましたが、鹿児島県放射線技師会会員約450名の全責任を負う身となることはそれなりの覚悟が必要でした。

会長職を拝命して、大きな課題は公益法人への移行問題でした。新公益法人制度の施行は平成20年12月1日から開始されており、私が会長に就任した平成21年4月には新公益法人への移行がすでに始まっていました。「一般社団法人」もしくは「公益社団法人」のどちらへ移行するのも1つの課題であり、社会的な信頼度・認知度から考慮すれば「公益社団法人」への移行が最も理想的でしたが、その設立には厳しい条件が課せられておりました。幸いにも鹿児島県においては、我々医療職能団体の公益化には行政側が非常に好意的であり、「公益社団法人」への移行に積極的に応援を頂きました。

また、当時の社団法人の定款改定も大きな問題であり、改定のための総会出席には委任状を認めないという非常に厳しく不可能と思える様な課題も残っておりましたが、平成23年10月16日に鹿児島大学医学部鶴稜会館をメイン会場として、大隅地域、北薩地域、霧島・始良地域、大島地域の4会場を結び臨時の定款改定WEB総会を開催することができ、無事に定款を改定する事ができました。この後、公益法人審査会、法務局への法人登記を経て、平成25年4月1日付けで公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会に移行することができました。当時の理事の方々には大変なご苦勞をかけました。本当に感謝申し上げます。

県技師会の執行部を引き受けることは本当に大変だと思います。年間行事予定を見ても各月に必ず何かイベントが入っており、月によっては土、日曜日がほとんどない状況もあります。ただ、自身が所属する職能団体である日本診療放射線技師会が現在どのような意思や目的を持って行動し、また将来において何を目指しているのかを直接感じることができます。さらにはご自身の診療放射線技術学はもちろん、交友関係も拡大し、間違いなくスキルアップに繋がります。今回の理事選挙で常務理事、理事の半数が入れ替わりました。会長並びに副会長初め理事の方々には鹿児島県診療放射線技師会の代表でもあります。公益法人にふさわしい執行部の方々の努力が鹿児島県診療放射線技師会の明るい将来を決めます。新執行部としての更なる活躍を期待しております。

## 理事退任にあたって

川内市医師会立市民病院 大久保 光男

初秋の候 会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私は平成15年4月より12年間理事を務めさせて頂きましたが、この度退任にするにあたり、その間を振り返ってみました。在任中数多くの大きな事業がありましたが、特に生涯学習システム開催、鹿児島県放射線技師会60周年記念式典、第25回放射線技師総合学術大会、社団法人から公益法人移行などが強く印象として残っています。その事業の度、いつも大変な状況のなかではありましたが、会員皆様のご協力を頂きながら会長を中心に理事一丸となり取り組み事業を達成してきました。技師会の運営は、会員皆様方の協力を頂けなければできないことを、理事になりつくづく感じました。

また、前鮫島会長の指示により、鹿児島県原子力等防災連携計画、および大規模災害医療支援マニュアルを、委員会の方々と作成したときの苦労が思い出されます。

理事となり、多くの施設の会員の方と知り合えご指導をして頂いたことは、私にとって大きな財産であると思います。

今後も微力ながら、県技師会の発展に協力させていただくとともに、会員皆様の御協力とご指導に感謝申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

## 理事退任にあたって

鹿児島県厚生連 原口 誠

2003年に技師会の理事を受けて以来、12年経っていたことにただ驚くばかりです。いわゆる一回りしてしまったわけで、この間には様々なことがありました。

なかでも印象深いのは2009年(平成21年)に鹿児島にて開催されました第25回放射線技師総合学術大会です。前年度が北海道開催であり、地方での運営の難しさを肌身に感じての引継いでスタートで、予想通り困難な課題の連続でしたがなんとか乗り切ることが出来ました。

と言っても、自分などは微力も微力で何の役にも立ちませんでした。当時の会長をは

じめとする各理事と一緒に仕事をさせていただいたことは、大変ありがたく貴重な経験でした。

他にも九州放射線医療技術学会の鹿児島開催や、ほぼ同時期に行われた定款改定のための特別臨時総会（いわゆるWEB総会）など枚挙に暇はありませんが、いずれにしても貴重な経験ばかりでした。

また、本会のホームページを担当させていただいておりましたが、こちらにも実験的な試みを採用いただき、貴重な経験となりました。当初はホームページ作成ソフトでデータをつくり、サーバへアップロードするという一般的な方法でした。しかし、地域からも情報発信しやすい体制を作るためすべてをWEB上で行う方法に変更いたしました。CMS等検討しましたが、より簡便に更新することが出来るブログをベースにいたしました。まだまだ未熟な点ばかりで中途半端な状態での退任となってしまいました。次の担当理事を全面サポートしていきますのでご容赦いただきたいと思います。また仕事から出張が多いためレスポンスが遅くなってしまい皆様にはご迷惑をおかけいたしましたこととお詫びいたします。

これからは、本会の発展を陰ながら応援いたします。皆様、本当にありがとうございました。

## 理事退任にあたって

鹿児島市医師会病院 平田 勝

2期4年広報理事を務めさせていただきました。思い出として最も印象に残っているのは定款改正です。公益法人化に伴い必要であるとされながら計画が上手く行かず、何度も変更を重ねながら進めて参りました。いざ本番を迎えると「本当に会員の皆さまに集まって頂けるのか？」と不安がとても大きく心配していました。定款改正成立を聞いた瞬間には胸が空いたのを今でもハッキリ憶えています。役員として活動させていただいた4年間はとても貴重なものとなりました。とても忙しい時期があるのも事実になりますが、『この貴重な経験をぜひ若い会員の方々にも』と考えたりもします。いろいろご迷惑をおかけした時もありました、短い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

## 鹿児島県放射線技師会理事退任にあたって

鹿児島市立病院 放射線技術科 瀬戸和人

約2年前に鹿児島県放射線技師会の理事を任命され時は、放射線技師の啓蒙活動に少しでもお役に立てればと思い、できることを少しずつでも会務を行うことを目標にしたことを覚えております。少しでも藤阪総務理事の手助けになればともありましたが、少しもお役にたてずすみませんでした。

思い起こすと各地域での勉強会参加などが記憶としてありますが、特にリレーフォージャパンに参加したことは、癌患者さんとの向き合い方を考え直すとてもいい機会になりました。また、真夜中のウォーキングも感慨深いものがありました。

これからは、一技師会会員として協力してまいります。ありがとうございました。

## 鹿児島県放射線技師会理事退任にあたって

鹿児島市医師会病院 齊藤 二郎

1期2年の短い任期ではありましたが、何かと至らぬ点多かったと思います。会員の皆様ならびに各理事の方々には大変お世話になり、この場をお借りしまして御礼申し上げます。思い出としては支部研修会やリレーフォーライフに参加の際に改めて組織の大切さを教わりました。今後は側面から協力をさせて頂きたいと思います。

最後に新年度の役員の皆様のご活躍と鹿児島県診療放射線技師会の益々の発展を祈念しまして退任の挨拶と換えさせていただきます。

## 理事就任にあたって

鹿児島市立病院 太田原 美郎

この度、理事に就任いたしました鹿児島市立病院の太田原美郎です。

私たち診療放射線技師を取り巻く環境は、2025年問題を見据えた厚生労働省による医療費削減、予防医学の推進と抜本的な見直し、また、大学教育においては、文部科学省のG型（グローバル）とL型（ローカル）への分別再編の提言など、大きな変化が訪れようとしています。このような中、診療放射線技師会には時代の変化に対応し、時代を先取りした組織運営が求められているかと思います。それを実現していくためには組織の強化、会員の資質向上というものが不可欠と考えられますが、会員の皆さまの協力なくしては実現できるものではありません。

理事としてできることは僅かではありますが、今後、会員の方々にとりまして未来のある、そして魅力のある会にしていけたらと考えておりますので、皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

## 理事就任にあたって

清泉クリニック整形外科 渡邊 義治

この度、総務理事・鹿児島市夜間急病センター管理業務を務めさせていただき事になりました清泉クリニック整形外科の渡邊義治です。

昨年の中ば頃に理事のお話をいただき、「私にできるのだろうか？」と悩んだ時期もありました、6月の理事就任後、多岐にわたる会務の中、都度、諸先輩方からアドバイスをいただきながら務めております。

少しずつではありますが、「よしっ！まずはやってみよう！」という前向きな気持ちで取り組めるようになりました。

任期2年間で少しでも会員の皆様にお力添えができますように、1つ1つの会務を丁寧に、また楽しみながら務めさせていただきたいと思っております。

ご迷惑をおかけ致しますが、よろしくお願い申し上げます。

## 新理事着任のご挨拶

徳久整形外科 松野下 直美

この度、平成27年度より、鹿児島県診療放射線技師会理事を、務めることになりました松野下です。

学術を担当させていただくことになりました。

初めての理事という任務で、また、理事経験者が傍にいない状況のなか、不安は少なからずありますが、松本会長はじめ、学術担当の新村副会長・藤崎拓郎常務理事・藤崎誠理事や、諸先輩の指導を仰ぎつつ、鹿児島県診療放射線技師会の運営・発展のお手伝いが少しでもできるよう努めたいと思います。

女性ながら女性らしさの乏しい私ですが、私が理事になったことによって、女性技師の方々にも身近に感じてもらい、より多くより積極的に鹿児島県診療放射線技師会にかかわってもらえるようになればとも思う次第です。

不慣れではありますが、できる限りしっかり取り組む所存ですので、皆様、宜しくお願いいたします。

## 理事就任にあたって

福利厚生 西 憲文

この度、理事改選に伴い平成27年度から理事に選出されました鹿児島厚生連病院の西です。前任者の原口理事の福利厚生を引き継ぎホームページ等の担当をさせていただきます。

鹿児島県技師会では平成26年度まで鹿児島消化器画像研究会の世話人をさせて頂き、透視関係に関する検査など色々と多くのことを学ばせて頂きました。また、鹿児島超音波研究会は引き続き世話人をさせて頂き、超音波の勉強をさせて頂こうと思っております。

理事の業務内容も把握できていない部分が多く、松本会長をはじめ皆さんにご迷惑をかけることがあると思いますが、微力ながら頑張っていきたいと思っております。皆様よろしく申し上げます。

## 理事就任あいさつ

鹿児島市医師会病院 吉村 洋一

今期より編集広報理事を担当させていただきます、鹿児島市医師会病院の吉村と申します。松本会長新体制のもと、主に会報を通して個々の技師へのサポート、活動への参加促進等、技師会運営へ協力したいと考えております。皆様にご迷惑かけることの無いよう尽力してまいります。至らぬ点は遠慮なくご意見いただければと思います。よろしく申し上げます。

平成 27 年 9 月 10 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 松本 俊也

## 永年勤続表彰候補者のお知らせ

日本診療放射線技師会より功労表彰および永年勤続表彰候補者の案内が来ております。候補者は①功労表彰 ②永年勤続表彰 50 年 ③永年勤続表彰 30 年の会員が対象となっております。この表彰の推薦は自己申告となっております。

功労表彰の要件はかなり厳しいですが、永年勤続表彰 30 年は会費納入 15 年以上の会員で、特に賞罰で問題なければ推薦できます。また永年勤続表彰 50 年は永年勤続表彰 30 年を表彰された方が対象となります。

該当されると思われる会員の方は鹿児島県診療放射線技師会として推薦いたしますので申し出て下さい。

履歴書を記載して貰う必要がございますので早目に申し出て下さい。毎年、各都道府県診療放射線技師会で 4～5 名の表彰者がおります。鹿児島県診療放射線技師会ではなかなか申し出が無いようです。現在、勤続年数を総務に調査をさせておりますが、会員の皆様方からの申請をお待ちしております。

なお、表彰は日本診療放射線技師学術大会の開会式で記念品と共に表彰状が贈与されますが、特に学会場まで出かけて行かなくても後日郵送されて来るようです。推薦の締め切りが平成 27 年 11 月 13 日（金）までとなっております。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

### 連絡先

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35-1

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局

会長 松本 俊也

TEL 099-275-5664 (放射線部受付) FAX 099-275-5915

Mail: matumoto@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

## 永年勤続表彰 30 年（平成 26 年度の表彰者）

1. 室屋 純一 20787
2. 新村 栄次 20786
3. 竹元 信秀 18259

永年勤続表彰 30 年の対象者の方は 1983 年（昭和 58 年）以降に診療放射線技師職に就かれた方です。その方は鹿児島県診療放射線技師会では約 90 名以上おられ、平成 26 年度の対象者としては上記の 3 名の方が表彰されております。

ご自身の技師職年数を確認され、もし 30 年表彰のご希望があれば手続を致しますのでご連絡をください。ただし、1 度に推薦できる人数は限られますので早く連絡をくださった方を優先とします。また、永年勤続表彰 30 年受賞者の方で 50 年表彰の基準を満たされている方もご連絡をお待ちしております。

よろしくご検討下さい。

以下に永年勤続 30 年表彰対象者のリストを掲載致します。  
ご確認ください。

## 平成27年度・表彰対象者名簿

	氏名(漢字)	会員番号	資格登録年月日	勤務先施設名
1	米澤 照彦	35102	1969/9/12	鹿児島徳之島保健所
2	大久保 光男	16763	1974/5/27	川内市医師会立市民病院
3	久永 健司	17880	1975/6/14	名瀬保健所
4	出水田 尚文	24209	1976/7/1	鹿児島県立北薩病院
5	廣瀬 洋一	22558	1977/5/10	国立療養所星塚敬愛園
6	藤橋 弘	28815	1977/5/10	川辺生協病院
7	渡辺 泉	24732	1978/6/9	今村病院
8	穂満 信行	20785	1979/5/28	鹿児島大学病院
9	吉留 正刀	21271	1979/5/28	パールランド病院
10	中村 裕	21955	1979/6/9	井之上病院
11	古田 正成	20866	1979/6/19	出水総合医療センター
12	下吉 則孝	23188	1979/6/19	鹿児島県立薩南病院
13	中原 隆重	26294	1979/10/17	県民健康プラザ鹿屋医療センター
14	本村 登	22252	1980/5/22	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
15	村野 和久	22364	1980/5/22	済生会川内病院
16	宮脇 明光	22221	1980/5/31	湯田内科病院
17	太田原 美郎	22359	1980/5/31	鹿児島市立病院
18	伊原 孝志	23186	1980/5/31	南風病院・消化器病センター
19	橋口 善治	21939	1980/10/1	鹿児島市医師会病院
20	竹之内 学	22360	1980/11/26	今給黎総合病院
21	里 隆照	22365	1981/5/14	鹿児島県立大島病院
22	濱田 耕	22796	1981/5/14	加世田病院
23	飛松 浩一郎	28813	1981/5/14	谷山生協クリニック
24	中山 龍一	29176	1981/5/14	鹿児島県立薩南病院
25	末永 浩一	22607	1981/5/16	鹿児島大学病院
26	重信 隆彰	22797	1981/5/16	JA厚生連健康管理センター
27	田畑 一文	28604	1981/5/26	鹿児島県立大島病院
28	茶園 計義	31047	1981/5/30	鹿児島徳洲会病院
29	瀬戸 和人	23189	1981/6/30	鹿児島市立病院
30	大迫 正美	27457	1981/6/30	鹿児島県立大島病院
31	安田 秀作	23386	1981/11/18	岩尾病院
32	隈元 満広	31043	1982/5/24	鹿児島生協病院
33	餅原 信広	26472	1982/5/31	県民健康プラザ鹿屋医療センター
34	鶴田 正人	30402	1982/6/22	鹿児島徳洲会病院
35	児玉 公輝	26099	1982/11/1	鹿児島県立北薩病院
36	飯伏 順一	25571	1983/5/10	今給黎総合病院
37	吉谷 正浩	31875	1983/5/10	肝属郡医師会立病院
38	隈元 忍	26915	1983/5/12	パールランド病院
39	園田 実郎	24831	1983/5/17	久木田整形外科病院
40	内田 一久	26241	1983/5/17	肝付町立病院
41	松本 俊也	24211	1983/5/25	鹿児島大学病院
42	前東 純一郎	25013	1983/5/25	鹿児島県立大島病院
43	瀬戸口 勲	25015	1983/5/25	河井脳神経外科
44	駒水 義文	25757	1983/5/25	鹿児島県民総合保健センター
45	前床 寿隆	29836	1983/5/25	ウエルフェア九州病院
46	長野 秀行	31356	1983/5/25	大井病院
47	大迫 良一	32931	1983/5/25	今給黎総合病院
48	執印 裕之	25018	1983/5/31	吉井中央病院
49	前田 哲也	26293	1983/10/29	鹿児島県庁保健福祉部健康増進課
50	斉藤 二郎	25539	1983/11/30	鹿児島市医師会病院
51	田上 浩幸	29712	1983/11/30	鹿児島県立大島病院
52	河野 正人	9650		
53	村山 光生	9912		
54	鮫嶋 宗俊	13150		
55	谷 俊雄	19764		川内市医師会立市民病院

## 平成27年度九州地域放射線技師研修会

## テーマ「我々診療放射線技師がやるべき読影補助について(パートII)」

謹啓 初夏の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は九州地域放射線技師会の諸事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、下記要項にて平成27年度九州地域放射線技師研修会を開催いたします。  
九州各県会員の皆様には是非ご参集頂けますようご案内申し上げます。 謹白

日 時：平成27年9月12日(土曜) 13:30～18:00  
会 場：ホテルパレスイン鹿児島  
(鹿児島市樋之口町8-2)  
参加費：500円(非会員3,000円、学生/一般 無料)

- 13:30～ 開会挨拶 九州地域放射線技師会 会長 廣木 昭則
1. 情報提供 司会 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 松本 俊也  
13:35～13:55 「平成28年度診療報酬改定に向けて」  
講師 一般社団法人 日本画像医療システム工業会 鍵谷 昭典
2. 基調講演 司会 九州地域放射線技師会 会長 廣木 昭則  
14:00～14:50 「日本診療放射線技師会の現状と将来」  
講師 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 中澤 靖夫
3. 特別講演 司会 九州地域放射線技師会 副会長 江藤 芳浩  
15:00～15:50 「医療現場の最前線で、今何が起きているのか?～読影補助と人材育成～」  
講師 社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 山本 晃義
4. テーマ討論 司会 九州地域放射線技師会 学術教育委員 増田 康夫  
司会 九州地域放射線技師会 学術教育委員 藤崎 拓郎  
16:00～18:00  
「我々診療放射線技師がやるべき読影補助について  
～九州地域の各モダリティーにおける読影補助の実際～」

1. 「X線単純撮影における読影・診断補助について」  
医療法人同信会 福岡整形外科病院 釘宮 慎次郎
2. 「心臓CT検査における読影補助の実際」  
(財)平成紫川会 小倉記念病院 松崎 静信
3. 「MRI検査の質を高める読影補助」  
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 沖川 隆志
4. 「乳房検査における読影補助の実際」  
社会医療法人博愛会 相良病院 岡本 瑠美

18:00～ 閉会挨拶 九州地域放射線技師会 副会長 江藤 芳浩

## 5. 情報交換会

18:30~20:30 場所：ホテルパレスイン鹿児島 会費：3,000円  
(鹿児島市樋之口町8-2)

尚、この研修会参加の日本診療放射線技師会会員には、公益社団法人日本診療放射線技師会生涯教育カウントとして4.5C付加される予定です。

- 主 催：九州地域放射線技師会（公社）福岡県診療放射線技師会（公社）大分県放射線技師会  
（一社）宮崎県放射線技師会（公社）鹿児島県診療放射線技師会（一社）沖縄県放射線  
技師会（一社）熊本県放射線技師会  
（一社）佐賀県放射線技師会（一社）長崎県診療放射線技師会
- 共 催：（公社）日本診療放射線技師会
- 開 催：（公社）鹿児島県診療放射線技師会

企 画) 九州地域放射線技師会 学術教育委員会 問合せ) (医) 聖医会 藤川病院 放射線科内 TEL: 0952-29-0311 増田 康夫
--

# 第31回日本診療放射線技師 The 31st Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT) 学術大会

2015年11月21日(土)▶23日(月)  
November 21st(Sat)- 23rd(Mon), 2015

会 長: 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)  
President: Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長: 轟 英彦 (公益社団法人 京都府放射線技師会 会長)  
Chairman: Hidehiko Todoroki (The Kyoto Association of Radiological Technologists)

会 場: 国立京都国際会館  
Venue: Kyoto International Conference Center

主 催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会  
H o s t : The Japan Association of Radiological Technologists

共 催: 公益社団法人 京都府放射線技師会  
Cosponsor: The Kyoto Association of Radiological Technologists

*Traditional Culture and the Future  
Provide excellent medical treatment with collaboration of public  
and medical practitioner*

国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう  
伝統文化と未来

運営事務局  
株式会社コンベンションリンクージ内 〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634  
TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

Secretariat: Convention Linkage, Inc.  
634 Shichikannon-cho, Karasuma-dori Rokkaku-sagaru, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8162, Japan  
Tel: +81-75-231-6357 Fax: +81-75-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

<http://www.c-linkage.co.jp/31jcrt/>

# 第10回 九州放射線医療技術学術大会 Miyazaki<sup>in</sup>

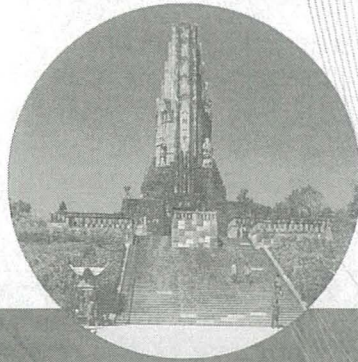
「大会テーマ」

## 診療放射線技師のこれから

～すべては未来に向けて～

第61回九州放射線技師学術大会

第64回日本放射線技術学会九州支部学術大会



平成27年

10月31日(土)～11月1日(日)

宮崎観光ホテル

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1

主催

九州地域放射線技師会 / 公益社団法人 日本診療放射線技師会

公益社団法人 日本放射線技術学会九州支部

第32回 ~かごしま市民すこやかプラン~

# 市民健康まつり

みんなで楽しく健康づくり

どなたでも参加できます!

入場無料



開催日時

平成27年

10月4日(日)

会場

鹿児島アリーナ

鹿児島市永吉1-30-1(案内図は裏面)

午前10時~午後3時30分 ※受付は午前9時から午後3時まで

## ◎体験コーナー

無料で測定・体験ができます。(整理券不要)

- 血圧・血糖・尿検査
- 鍼(はり)体験
- 健康体操・太極拳
- らくらく体操
- お口の体操



- 体力測定
- 心肺蘇生法体験
- 脳いきいき体験 (脳活性化トレーニング)
- 発声発語器の健康チェック
- 薬草茶試飲など

## 〈整理券が必要なコーナー〉

整理券は下記の時間にメインアリーナ入口(ロビー)で配布します。(無料)

- 血管年齢測定 9時15分
- 骨密度測定 9時15分
- マッサージ体験 9時15分・12時45分

なんでも聞いてみよう!

## ◎相談・展示コーナー

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・栄養士などに無料で相談できます。他にもたくさんの相談コーナーがありますので詳しくは裏面をご覧ください。

- 歯と口の健康相談
- 歯みがき指導
- かごしま市民すこやかプラン紹介
- がん検診案内



- 栄養相談
- 糖尿病相談
- 慢性腎臓病(CKD)相談
- 食生活改善



- 薬の相談
- 禁煙相談
- 看護相談
- 臨床検査相談
- 放射線相談



- 介護相談
- 転倒骨折予防相談
- 在宅リハビリ相談

## ◎健康トークショー

午後2時~3時

※手話通訳を行います。

### 『ピロリ菌をやっつけて胃がん予防!』



美園俊明先生 鹿児島市医師会病院 西川弘剛先生 鹿児島市薬剤師会

日本人に多い胃がんの人のほとんどはピロリ菌が原因。除菌すれば胃がんにかかりにくくなります。胃がんとピロリ菌の関係・正しく除菌する方法について医師と薬剤師がくわしくお話します。

## 輝け!女性力! 県理学療法士協会

(健康相談とデモンストレーション)

女性特有のライフイベントを乗り越え、はつらつと女性ライフを楽しむための方法をご提案

- 11時30分 しなやかな歩き方と美容鏡チェック
- 13時40分 体形変化に負けない産前産後エクササイズ
- 底力アップ骨盤底筋群トレーニング

裏面案内図 19番 女性のためのリハビリコーナーにて開催

## 健康づくりのためのウォーキング大会

※午前10時 メインアリーナ入口(屋外)に集合 (雨天時は中止)

※歩く距離は約4.4kmです。帽子を着用のうえ、運動のできる服装でご参加ください。

■お問合せ/市民健康まつり実行委員会 事務局 鹿児島市医師会内 ☎099-226-3737

- 主催団体:市民健康まつり実行委員会(10団体) ●鹿児島市医師会 ●鹿児島市歯科医師会 ●鹿児島市薬剤師会 ●鹿児島県理学療法士協会 ●鹿児島県看護協会 ●鹿児島県歯科技術師会 ●鹿児島県放射線技師会 ●鹿児島県理学療法士協会 ●鹿児島市 ●南日本新聞社
- 協力団体:14団体 ●鹿児島市運動普及推進協議会 ●鹿児島市食生活改善推進員連絡協議会 ●鹿児島県臨床工学技士会 ●鹿児島県作業療法士会 ●鹿児島県歯科衛生士会 ●鹿児島県言語聴覚士会 ●鹿児島県介護福祉士会 ●鹿児島県鍼灸師会 ●鹿児島県鍼灸インナーン協会 ●鹿児島県理学療法士会 ●鹿児島県太極拳協会 ●全日本シニア体操協会鹿児島本部 ●鹿児島県シニアセンター協議会 ●医療従事者のための手話同好会(かごしま)
- 後援団体:7団体 ●鹿児島市健康づくり推進市民会議 ●鹿児島市防犯委員会 ●鹿児島県農業保健総合支援センター ●鹿児島県心臓会 ●日本赤十字社鹿児島支部 ●南日本放送 ●NHK鹿児島放送局

第32回 ~かごしま市民すこやかプラン~

# 市民健康まつり

みんなで楽しく健康づくり

開催日時

平成27年

**10月4日(日)**

受付 午前9時~午後3時

開場 午前10時~午後3時30分

会場

**鹿児島アリーナ**  
(鹿児島市永吉1-30-1)

■測定・体験・相談・展示コーナーなどすべて無料ですが、整理券が必要なコーナー(★)があります。裏面をご確認ください。

**場内禁煙**

**飲食厳禁**

皆様方のご協力をお願い致します。

8 薬草展 9 薬草苗木引換所

10 太極拳 11 健康体操

12 健康トークショー

**お口の体操**

11 健康トークショー

※休憩所としてもご利用ください。

**入場無料**

★7 マッサージ体験 ※整理券が必要

6 鍼灸相談 鍼(はり)体験

5 体力測定診断とアドバイス

4 放射線相談・展示

★3 骨密度測定 ※整理券が必要

2 看護相談(血圧測定)

★1 血管年齢測定 ※整理券が必要

22 歯と口の健康相談 口腔がん検診

21 歯科衛生展 歯みがき指導

20 転倒骨折予防 自己診断・相談 体力測定

19 女性のためのリハビリ・在宅リハビリ相談

23 かのしまの薬の歴史

24 薬の相談

25 茶煙相談

26 発声発語 27 脳いきいき体験コーナー

28 健康づくり関連事業コーナー

29 保健所事業コーナー

30 介護相談 高齢者疑似体験

31 食生活改善コーナー

32 心肺蘇生法体験・臨床工学展

13 血糖検査

14 糖尿病相談

15 栄養相談

16 腰痛測定

17 体脂肪率測定(体重測定)

18 身長測定

**総合案内**

WC 33 尿検査(男) WC 33 尿検査(女) WC

屋外 ウォーキング大会 玄關ロビー 薬草茶試飲

受付 記帳台 整理券発行所

手話受付

↑  
入口



**交通のご案内**

本会(鹿児島県診療放射線技師会)は、本会事務局(鹿児島市永吉1-30-1)にて、本会主催の市民健康まつりを開催いたします。会場は、本会事務局(鹿児島市永吉1-30-1)にて、本会主催の市民健康まつりを開催いたします。



となたでも参加できます!

**先着700名様に「薬草苗木」をプレゼント**



※先着順に引換券を配布します。苗木の引き換えは10時30分から行います。

■お問合せ/市民健康まつり実行委員会 事務局 鹿児島市医師会内 ☎099-226-3737

平成27年 8月17日

会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 松本 俊也  
公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域  
理事 野中 康博

### 第31回 南薩地域定期研修会開催について

拝啓

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

前回7月11日付け案内文書で伝達の通り、第31回南薩地域定期研修会を下記日程にて開催いたします。会員の皆様には多数のご出席とご協力の程、宜しく申し上げます。

記

開催日：平成27年 9月19日（土）

時間：15時～18時

会場：ウエルフェア九州病院 2F 研修室（電話0993-72-0055）

■研修会（8月13日現在の内容です。以降の変更分はホームページにてお知らせいたします。）

#### 1. 会員発表

- ①「肩関節撮影軸位撮影(変法)が有用であった一例」今林整形外科病院 福留三朗 技師
- ②「新規導入MRI更新手順と使用経験」馬場病院 長野勝悟 技師、佐多洋二 技師

#### 2. 南薩継続企画～施設紹介～

- ①尾辻病院（枕崎市）
- ②唐仁原内科クリニック（南さつま市）

#### 3. メーカー講演

- ①「CT、MRI最新情報～臨床から技術まで～」  
GEヘルスケア・ジャパン CT営業推進部 一番ヶ瀬 敬 様  
GEヘルスケア・ジャパン MR営業推進部 日比野 茂 様
- ②「クラウドサービス『NOBORI』のご紹介」  
テクマトリックス株式会社 福岡営業所長 田中 知広 様

#### ■交流交歓会

「みんなの喜びす家」18時30分～（3,000円程度の会費制）

#### 【問い合わせ】

地域理事 野中 康博（菊野病院）0993-56-1135

学術理事 長野 勝悟（馬場病院）099-296-2611

学術理事 川西 義浩（じんごあんクリニック）099-272-5151

◎非会員の方は参加費として500円を徴収いたします。ご了承下さい。

◎出欠表を同封いたします。FAXまたはメーカー便にて送付ください。

## 連 絡 先

研修会、交流会、出欠表送付先等は以下の通りです。準備の都合上、研修会及び懇親会について、出欠の意思表示を下記期日までに送ってください。「緊急連絡網」整備および作成のため、所属技師数と登録数をお知らせください。皆様のご協力をお願いいたします。都合が悪く欠席される会員もおられるかと思いますが、確認のため出欠表は必ず送付下さい。

### 【送付先】

FAX 0993-56-5654 菊野病院・野中 宛て、又はメーカー便にて。

### 【締め切り】

平成27年9月12日までに送付下さい。

### 【交流交歓会】

会 場；「みんなのゑびす家」（枕崎市西本町85 電話0993-72-1737）

時 間；18時30分～21時30分

会 費；3,000円位で予定しています。

☆会場は研修会会場から車で7～8分。

☆会費は当日会場にて集めます。（キャンセル時も会費徴収しますのでご了解を！）

☆会場は「南薩放射線技師」で予約してあります。

☆懇親会のみ参加も大歓迎、お気軽に申し出てください。

### 【問い合わせ】

地域理事 野 中 康 博（菊野病院）0993-56-1135

学術理事 長 野 勝 悟（馬場病院）099-296-2611

学術理事 川 西 義 浩（じんごあんクリニック）099-272-5151

## — お 願 い —

口頭での不確実な受け付けはいたしません。面倒ですが“出席、欠席”に関わらず、所定の出欠表にて連絡ください。提出はFAX、及びメーカー便にてお送りくださいますよう 会員の皆様のご協力を願い致します。

平成27年8月吉日

関係各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松本 俊也

地域理事 岡野 三男

## 第24回 北薩地域研修会の開催について

拝啓

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり北薩地域研修会を開催いたします。

尚、研修会終了後に情報交換会(懇親会)も開催いたします。

会員の皆様には多数のご出席とご協力の程、宜しくお願いいたします。

### 記

- 1、 日時 : 平成27年11月14日(土) 15時より
- 2、 場所 : (医)栄和会 寺田病院 3階 会議室
- 3、 内容 : 別紙 プログラムにて

◎ 送信票にて研修会・情報交換会の出欠をE-mailまたはFAXにて必ず11月7日までに送信願います。

送信先 E-mail : okano@maruta.dr-clinic.jp  
FAX : 0996-32-3541

(医)杏林会 丸田病院 岡野三男まで

## 第24回北薩地域研修会プログラム

司会 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 灰床 利隆

【1】 開会の挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域理事 岡野 三男

【2】 会長挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也

【3】 会員発表 座長 : 済生会川内病院 村野 和久

① 「ダットスキャンの使用経験について」

県立北薩病院 吉福 淳

② 「造影エコーが有用であった症例」

出水郡医師会広域医療センター 高野 亮一

③ 「下肢動脈撮影におけるプロトコルの検討」

出水郡医師会広域医療センター 入口 雅実

④ 「スクリーニング CTC はじめました」

大海クリニック 森 宥貴

⑤ 「当院における Ai 症例」

(医)栄和会 寺田病院 春口 良久

休憩 16:20 ~ 16:30

【4】 講演 座長 : 県立北薩病院 中山 龍一

1. 『PEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) について』

(医)杏林会 丸田病院 岡野 三男

2. 『核医学検査 最近の話題～認知症編』

日本メジフィジックス株式会社 長畑 敬大

【5】 閉会の挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域世話人 兒玉 康照

【6】 施設見学会 17:30 ~ 18:00

情報交換会 王将 飲み放題 会費3500円 18:30より 担当:寺田病院 永野喜之

# 送信票

送信日 平成 年 月 日

送信先	〒896 - 0015 いちき串木野市旭町 83 (医) 杏林会 丸田病院 放射線室 岡野三男 迄  <i>E-mail</i> : okano@maruta.dr-clinic.jp  <i>FAX</i> : 0996 - 32 - 3541
発信者 _____ <i>E-mail</i> : _____  施設名 _____ <i>FAX</i> : _____	
送信内容	北薩地域研修会 ・ 懇親会の出欠について

氏 名	鹿児島県診療放射線技師会 会員 ・ 非会員	北薩地域研修会 出・欠	懇親会 出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠

誠に申し訳ございませんが6名以上の施設はコピーにてお願いいたします。

## 業務拡大に伴う統一講習会開催（鹿児島）のお知らせ

初秋の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご支援頂きまして有難うございます。

さて、公益社団法人日本診療放射線技師会では、診療放射線技師法の一部改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大され、新しく業務範囲に含まれる業務を安全かつ正確に実施するために、有資格者を対象に業務拡大に伴う統一講習会を開催します。つきましては、鹿児島県では、下記日程で開催することとなりましたのでお知らせ致します。この機会に是非、受講されますようお願い申し上げます。尚、今回は、「静脈注射（針刺し除く）」に関する講習会「既受講者のみ」を対象にしていますので、ご了承下さい。

### 記

開催目的：業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得する

日時：平成28年 1月23日（土） 13:10～17:00

1月24日（日） 8:50～17:40

会場：鹿児島大学病院 総合臨床研修センター（新病棟8階）

受講料：会員13,000円 非会員50,000円

受講者数：60名（定員になり次第締め切り）

内容：DVDによる講義（視聴）及び実習指導者による実習・演習

23日（土）			24日（日）		
時間	時 項		時間	時 項	
			8:10～8:50		受付
			8:50～9:00	10	オリエンテーション
			9:00～9:50	50	講義（DVD）下部消化管1
			9:50～10:40	50	講義（DVD）下部消化管2
			10:40～10:50	10	休憩
			10:50～11:40	50	講義（DVD）下部消化管3
			11:40～12:30	50	講義（DVD）下部消化管4
			12:30～13:20	50	昼休憩
12:40～13:10		受付	13:20～14:10	50	実習・演習 下部消化管
13:10～13:30	20	開講式・オリエンテーション	14:10～14:20	10	休憩
13:30～14:20	50	講義（DVD）法改正	14:20～15:10	50	実習・演習 I G R T
14:20～15:10	50	講義（DVD）I G R T 1	15:10～15:20	10	休憩
15:10～15:20	10	休憩	15:20～16:20	60	実習・演習 B L S
15:20～16:10	50	講義（DVD）I G R T 2	16:20～16:30	10	休憩
16:10～17:00	50	講義（DVD）I G R T 3	16:30～17:20	50	試験説明&確認試験
			17:20～17:30	10	休憩（確認作業）
			17:30～17:40	10	閉講式

申込方法：日本診療放射線技師会ホームページ（JART情報システム）より、お申込み下さい。

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

問合せ：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局 099（275）5664 藤坂、藤崎まで

## 業務拡大に伴う統一講習会（九州地域日程）

- 9月 5-6日 福岡県① ナースプラザ福岡
- 10月 3-4日 福岡県② 久留米大学医療センター
- 10月17-18日 長崎県① JCHO諫早総合病院
- 11月28-29日 福岡県③ 北九州市立 看護専門学校
- 11月28-29日 長崎県② 長崎県対馬病院
- 12月 5-6日 佐賀県 JCHO佐賀中部病院
- 12月12-13日 熊本県 熊本地区
- 12月26-28日 沖縄県①
- 1月 9-10日 大分県
- 1月16-17日 沖縄県②
- 1月23-24日 鹿児島県 鹿児島大学病院
- 1月23-24日 長崎県③ 上五島地区
- 1月30-31日 福岡県④ 福岡大学病院
- 2月27-28日 大分&宮崎県

## 「業務拡大に伴う統一講習会」の申し込みについて

受講料について 「業務拡大に伴う統一講習会」の受講料は、以下の4パターン

「業務拡大に伴う統一講習会」のカリキュラムには、過去に開催した「静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会」と「注腸X線検査臨床研修統一講習会」の内容を含みます。そのため、これら講習会の受講実績により、受講料が異なります。

① 通常 (受講実績なし)	② 静脈注射 (針刺しを除く) に関する講習会 修了者	③ 注腸X線検査 臨床研修 統一講習会 修了者	④ ②の静脈注射 + ③の注腸講習会 修了者
受講料 60,000 円	受講料 50,000 円	受講料 35,000 円	受講料 15,000 円
会員価格 15,000 円	会員価格 13,000 円	会員価格 5,000 円	会員価格 3,000 円

開講について 静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会修了者を優先します

✓ 今年度は、静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会修了者を対象とした講習会を優先的に開講します

- ・支払いパターン②と④の方が対象となります。また、静脈注射（針刺しを除く）に関する講義の一部を免除いたします
- ・全ての方を対象とした講習会は、現在、開講に向けて準備しておりますが、今年度は上記の講習会を優先しますので、ご案内までお待ちください

お申し込み前に 以下の点にご注意ください

- ✓ 申し込み後にキャンセルする場合、返金に必要な手数料は申込者のご負担となります
- ✓ 間違えて申し込んだ場合には、一度キャンセルしていただくこととなります。ご自身が対象となる支払いパターンを十分ご確認ください
- ✓ 「修了証」を JART 情報システムに登録されている自宅住所に郵送します。お申し込み時に、登録内容に誤りがないかを確認してください

## 講習会プログラム1例

通常講習会でのプログラム

講習会1日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
1 7:30	集合
2 7:30~7:40	10全体ミーティング
3 7:40~8:00	20会場設営
4 8:10~8:50	40受付
5 8:50~9:00	10開講式・オリエンテーション
6 9:00~9:50	50講義(DVD放映)静脈注射関係
7 9:50~10:40	50講義(DVD放映)静脈注射関係
8 10:40~10:50	10休憩
9 10:50~11:40	50講義(DVD放映)静脈注射関係
10 11:40~11:50	10休憩(準備)
11 11:50~12:40	50※実習・演習 静脈注射
12 12:40~13:30	50昼休憩
13 13:30~14:20	50講義(DVD放映)法改正
14 14:20~15:10	50講義(DVD放映)IGRT
15 15:10~15:20	10休憩
16 15:20~16:10	50講義(DVD放映)IGRT
17 16:10~17:00	50講義(DVD放映)IGRT
18 17:00~17:20	20教室の片づけなど
19 17:20	1日目終了

講習会2日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
1 8:00	集合
2 8:10~8:50	40受付
3 8:50~9:00	10開講式・オリエンテーション
4 9:00~9:50	50講義(DVD放映)下部消化管
5 9:50~10:40	50講義(DVD放映)下部消化管
6 10:40~10:50	10休憩
7 10:50~11:40	50講義(DVD放映)下部消化管
8 11:40~12:30	10講義(DVD放映)下部消化管
9 12:30~13:20	50昼休憩
10 13:20~14:10	50※実習・演習 下部消化管
11 14:10~14:20	10休憩および準備
12 14:20~15:10	50※実習・演習 IGRT
13 15:10~15:20	10休憩および準備
14 15:20~16:20	60※実習・演習 BLS
15 16:20~16:30	10休憩および準備
16 16:30~17:20	20※試験説明及び確認試験
17 17:20~17:30	10解答用紙回収、確認作業
18 17:30~17:40	10開講式
19 17:40~18:10	30教室の片づけなど
20 18:10	解散

静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会受講修了者場合

講習会1日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
12:40~13:10	受付
12 13:10~13:30	50オリエンテーション
13 13:30~14:20	50講義(DVD放映)法改正
14 14:20~15:10	50講義(DVD放映)IGRT
15 15:10~15:20	10休憩
16 15:20~16:10	50講義(DVD放映)IGRT
17 16:10~17:00	50講義(DVD放映)IGRT
18 17:00~17:20	20教室の片づけなど
19 17:20	1日目終了

# 免除

注腸X線検査統一講習会受講修了者場合

講習会1日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
1 7:30	集合
2 7:30~7:40	10全体ミーティング
3 7:40~8:00	20会場設営
4 8:10~8:50	40受付
5 8:50~9:00	10開講式・オリエンテーション
6 9:00~9:50	50講義(DVD放映)静脈注射関係
7 9:50~10:40	50講義(DVD放映)静脈注射関係
8 10:40~10:50	10休憩
9 10:50~11:40	50講義(DVD放映)静脈注射関係
10 11:40~11:50	10休憩(準備)
11 11:50~12:40	50※実習・演習 静脈注射
12 12:40~13:30	50昼休憩
13 13:30~14:20	50講義(DVD放映)法改正
14 14:20~15:10	50講義(DVD放映)IGRT
15 15:10~15:20	10休憩
16 15:20~16:10	50講義(DVD放映)IGRT
17 16:10~17:00	50講義(DVD放映)IGRT
18 17:00~17:20	20教室の片づけなど
19 17:20	1日目終了

講習会2日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
10 13:30~14:00	50 受付
11 14:00~14:20	10オリエンテーション
12 14:20~15:10	50※実習・演習 IGRT
13 15:10~15:20	10休憩および準備
14 15:20~16:20	60※実習・演習 BLS
15 16:20~16:30	10休憩および準備
16 16:30~17:20	20※試験説明及び確認試験
17 17:20~17:30	10解答用紙回収、確認作業
18 17:30~17:40	10開講式
19 17:40~18:10	30教室の片づけなど
20 18:10	解散

# 免除

静脈注射および注腸X線検査の受講修了者

講習会1日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
12:40~13:10	受付
12 13:10~13:30	50オリエンテーション
13 13:30~14:20	50講義(DVD放映)法改正
14 14:20~15:10	50講義(DVD放映)IGRT
15 15:10~15:20	10休憩
16 15:20~16:10	50講義(DVD放映)IGRT
17 16:10~17:00	50講義(DVD放映)IGRT
18 17:00~17:20	20教室の片づけなど
19 17:20	1日目終了

講習会2日目のタイムスケジュール(参考例:9:00スタートの場合)

時間	事項
10 13:30~14:00	50 受付
11 14:00~14:20	10オリエンテーション
12 14:20~15:10	50※実習・演習 IGRT
13 15:10~15:20	10休憩および準備
14 15:20~16:20	60※実習・演習 BLS
15 16:20~16:30	10休憩および準備
16 16:30~17:20	20※試験説明及び確認試験
17 17:20~17:30	10解答用紙回収、確認作業
18 17:30~17:40	10開講式
19 17:40~18:10	30教室の片づけなど
20 18:10	解散

# 免除

# 免除

## 診療放射線技師の追加講習カリキュラム(案)

## 【一般目標】

- 診療放射線技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全に配慮して、造影剤の投与など適切に検査に伴う行為ができる能力を身につける。
- 造影剤の投与に伴う危険因子を認識し、特にアナフィラキシーなど重篤な合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。
- 造影剤の投与などの検査に伴う行為は医師又は歯科医師の指示の下で行われる事を認識し、責任をもって対応する。

項目	達成目標	時限
法律、倫理に関する知識	1 診療放射線技師法に関する法的知識及びその責任範囲、医療倫理について説明できる。	1
造影剤の血管内投与 静脈路の抜針及び止血 に必要な知識・技能・態度	1 造影剤に関する薬理を説明できる。	5
	2 造影剤に関するアナフィラキシー等を含めた副作用及び投与禁忌について説明できる。	
	3 感染管理及び医療安全対策(針刺し事故を含む)について説明できる。	
	4 アナフィラキシー等を含めた副作用が発生した場合に速やかに医師等に連絡し、自らが一次救命処置(BLS)を実施できる。(シミュレーション)	
	5 適切に感染管理及び医療安全対策を行い、安全に静脈路の抜針及び止血ができる。(シミュレーション)	
下部消化管検査に関する 業務に必要な知識・技能・態度	1 検査を受ける患者の心理や高齢者・女性にも配慮した接遇について説明できる。	5
	2 肛門及び直腸を含む下部消化管に関する解剖を説明できる。	
	3 下部消化管検査における造影剤に関する薬理を理解し、安全に造影剤及び空気を注入する方法について説明できる。	
	4 感染管理及び医療安全対策について説明できる。	
	5 下部消化管検査において、適切にカテーテル挿入部を確認し、肛門よりカテーテルを挿入して、安全に造影剤及び空気を注入できる。(シミュレーション)	
画像誘導放射線治療 (image-guided radiotherapy : IGRT) に関する業務に必要な 知識・技能・態度	1 検査を受ける患者の心理や高齢者・女性にも配慮した接遇について説明できる。(再掲)	4
	2 肛門及び直腸を含む下部消化管並びに前立腺や子宮などの骨盤内臓器に関する解剖を説明できる。	
	3 骨盤内臓器がんに対するIGRTの内容を理解し、安全に空気を吸引する方法について説明できる。	
	4 感染管理及び医療安全対策について説明できる。(再掲)	
	5 適切にカテーテル挿入部を確認し、安全に肛門よりカテーテルを挿入することができる。(シミュレーション)	
試験	1	1
合計	1	16

※1時限=50分

医政医発0331第2号

平成27年3月31日

都道府県医務主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局医事課長

（公印省略）

診療放射線技師法及び臨床検査技師等に関する法律の一部改正の施行等について

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（平成26年法律第83号）、「医療法施行令等の一部を改正する政令」（平成27年政令第46号）及び「診療放射線技師法施行規則及び臨床検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令」（平成27年厚生労働省令第18号）により、診療放射線技師及び臨床検査技師の業務範囲が見直され、本年4月1日から施行されます。

これらの改正の内容については、「医療法施行令等の一部を改正する政令の公布について」（平成27年2月17日医政発0217第8号）等により、厚生労働省医政局長から都道府県知事宛てに通知されたところですが、これに関する留意事項は下記のとおりですので、貴職におかれましては、その内容を御了知いただくとともに、貴管下の市町村（特別区を含む。）、医療機関、審査支払機関、関係団体等に周知をお願いいたします。

## 記

### 第一 診療放射線技師の業務範囲の見直しについて

#### （1）新たな業務に関する留意事項

診療放射線技師の業務範囲に新たに追加される行為は、以下の3つであること。

- ① 静脈路に造影剤注入装置を接続する行為（静脈路確保のためのものを除

く。) 、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為

- ② 下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為、当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為
- ③ 画像誘導放射線治療のために肛門にカテーテルを挿入する行為、当該カテーテルから空気を吸引する行為

「造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為」とは、造影剤注入装置のスイッチを押す行為のみを指すものであること。

また、「造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為」においては、造影剤の血管からの漏出やアナフィラキシーショック等が生じる可能性があるため、診療放射線技師は、医師や看護師等の立会いの下に造影剤注入装置を操作するものであること。

## (2) 新たな業務の研修に関する留意事項

診療放射線技師が新たな業務を行うに当たっては、法令により、研修の受講が義務付けられているものではないが、その養成課程において新たな業務に係る教育を受けていない診療放射線技師については、医療安全の確保の観点から、新たな業務を行うに先立って、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受ける必要があること。

また、当該研修における教育の内容は、別添1の表に掲げる内容以上とし、同表に掲げる達成目標に到達する必要があること。

## 第二 臨床検査技師の業務範囲の見直しについて

### (1) 新たな業務に関する留意事項

臨床検査技師の業務範囲に新たに追加される行為は、以下の5つの検体採取及び2つの生理学的検査であること。

#### <検体採取>

- ① 鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液その他これらに類するものを採取する行為
- ② 表皮並びに体表及び口腔の粘膜を採取する行為（生検のためにこれらを採取する行為を除く。）
- ③ 皮膚並びに体表及び口腔の粘膜の病変部位の膿を採取する行為
- ④ 鱗屑、痂皮その他の体表の付着物を採取する行為
- ⑤ 綿棒を用いて肛門から糞便を採取する行為

#### <生理学的検査>

① 基準嗅覚検査及び静脈性嗅覚検査（静脈に注射する行為を除く。）

② 電気味覚検査及びろ紙ディスク法による味覚定量検査

「皮膚並びに体表及び口腔の粘膜の病変部位の膿を採取する行為」について、膿であるか否かが明らかではない滲出液等の採取も含むものであること。

## （2）新たな業務の研修に関する留意事項

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号）附則第32条第1項の規定により、平成27年4月1日において現に臨床検査技師の免許を受けている者等が新たな検体採取を行おうとするときは、あらかじめ、厚生労働大臣が指定する研修を受けなければならないとされているが、臨床検査技師が新たな生理学的検査を行うに当たっては、法令上、研修の受講は義務付けられていない。

しかしながら、その養成課程において新たな生理学的検査に係る教育を受けていない臨床検査技師については、医療安全の確保の観点から、新たな生理学的検査を行うに先立って、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会が実施する研修を受ける必要があること。

また、当該研修における教育の内容は、別添2の表に掲げる内容以上とし、同表に掲げる達成目標に到達する必要があること。

## 診療放射線技師法施行規則及び臨床検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令について

### I 診療放射線技師法施行規則の改正の内容

- 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号。以下「医療介護総合確保推進法」という。）により、診療放射線技師の業務範囲を見直すため、診療放射線技師法（昭和26年法律第226号）の一部が改正され、平成27年4月1日から施行することとされている。
- 具体的には、診療放射線技師法第24条の2の規定が改正され、診療放射線技師の従来の業務（人体に対する放射線の照射及びMRI等を用いた検査）に関連する行為として厚生労働省令で定めるものが、新たに診療放射線技師の業務範囲に追加することとされたことから、この「厚生労働省令で定めるもの」として、以下の行為を定める。
  - ① 静脈路に造影剤注入装置を接続する行為（静脈路確保のためのものを除く。）、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
  - ② 下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為
  - ③ 画像誘導放射線治療のために肛門にカテーテルを挿入する行為及び当該カテーテルから空気を吸引する行為

### II 臨床検査技師等に関する法律施行規則の改正の内容

- 医療介護総合確保推進法により、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取を追加するため、臨床検査技師等に関する法律（昭和33年法律第76号）の一部が改正され、平成27年4月1日から施行することとされている。
- この「一定の検体採取」の内容については、別途、政令で定めることとしているが、この業務範囲の見直しに併せて、臨床検査技師等に関する法律第2条で臨床検査技師の業務とされている「厚生労働省令で定める生理学的検査」として、以下の検査を追加する。
  - ① 基準嗅覚検査及び静脈性嗅覚検査（静脈に注射する行為を除く。）
  - ② 電気味覚検査及びろ紙ディスク法による味覚定量検査

### III 根拠条文

診療放射線技師法第24条の2第2号、臨床検査技師等に関する法律第2条

### IV 施行期日

平成27年4月1日

## 診療放射線技師学校養成所指定規則及び臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令について

### I 改正の趣旨

- 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号）の一部の施行等により、平成27年4月1日から、診療放射線技師及び臨床検査技師の業務範囲が拡大されることになる。

（参考1）新たに診療放射線技師の業務範囲に追加される予定の行為

- ① 静脈路に造影剤注入装置を接続する行為（静脈路確保のためのものを除く。）、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- ② 下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為
- ③ 画像誘導放射線治療のために肛門にカテーテルを挿入する行為及び当該カテーテルから空気を吸引する行為

（参考2）新たに臨床検査技師の業務範囲に追加される予定の行為及び検査

- ① 鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液等を採取する行為
- ② 膿、表皮、粘膜等の表在組織を採取する行為
- ③ スワブにより便を採取する行為
- ④ 基準嗅覚検査及び静脈性嗅覚検査（静脈に注射する行為を除く。）
- ⑤ 電気味覚検査及びろ紙ディスク法による味覚定量検査

- これに伴い、診療放射線技師及び臨床検査技師の養成課程における教育内容の見直しを行う。

### II 改正の内容

- 診療放射線技師の学校又は養成所として指定を受けるための教育内容の基準について、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の単位数を「12単位」から「13単位」に改めるとともに、新たな教育内容として「医療安全管理学 1単位」を追加する。
- 臨床検査技師の学校又は養成所として指定を受けるための教育内容の基準について、「人体の構造と機能」の単位数を「7単位」から「8単位」に改めるとともに、新たな教育内容として「医療安全管理学 1単位」を追加する。
- その他所要の改正を行う。

### III 経過措置

- この省令の施行の際、現に指定を受けている学校又は養成所において診療放射線技師又は臨床検査技師として必要な知識及び技能を修得中の者に対する教育の内容は、なお従前の例によることができる。

### IV 根拠条文

- ・ 診療放射線技師法施行令（昭和28年政令第385号）第7条
- ・ 臨床検査技師等に関する法律施行令（昭和33年政令第226号）第10条

### V 施行期日

平成27年4月1日

## 平成27年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会 開催報告

恒例により、平成27年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会の春季学術大会が、平成27年6月21日（日）に鹿児島大学医学部保健学科 共通講義棟 5F 503 講義室にて開催された。

演題は、いつもの様にモダリティが多岐に渡り、8演題のエントリーがあった。参加者数は、77名で、会場からの質疑も多く、熱心な大会となった。又、今回は、セッションの間に鹿児島在住の洋画家佳月優先生の特別講演を行い、数学的観点からの絵画の見方や、芸術家としての先生のはなしが聞けて非常に有意義な時間となった。

是非、発表者には更に研究を進められ、今年宮崎県で行われる第10回九州放射線医療技術学術大会にもエントリーして頂きたいと思います。尚、鹿児島県診療放射線技師会では、秋季学術大会を大島地域で開催予定ですので、多数の発表と参加をお願い致します。

### 「学術大会プログラム」

#### 【セッション1】 13時30分～14時30分

- |    |  |        |
|----|--|--------|
| 座長 | 鹿児島大学医学部歯学部附属病院  | 坂下 周一郎 |
| 1. | 320列CTの初期使用経験について<br>大隅鹿屋病院放射線科                                    | 田中 謙太郎 |
| 2. | 携帯型迅速クリアチニン測定装置を利用した造影検査前腎機能測定の有用性について<br>鹿児島市立病院                  | 木原 悠太  |
| 3. | 当院における警察依頼のAiの現状<br>医療法人一誠会 三宅病院                                   | 日高 浩文  |
| 4. | AERA1.5TMRIにおける新しいソフトウェアバージョン(syngoMR E11)の使用経験<br>鹿児島大学医学部歯学部附属病院 | 本村 克朗  |

#### 【特別講演】 14時30分～15時30分

##### 「芸術と数学と私」

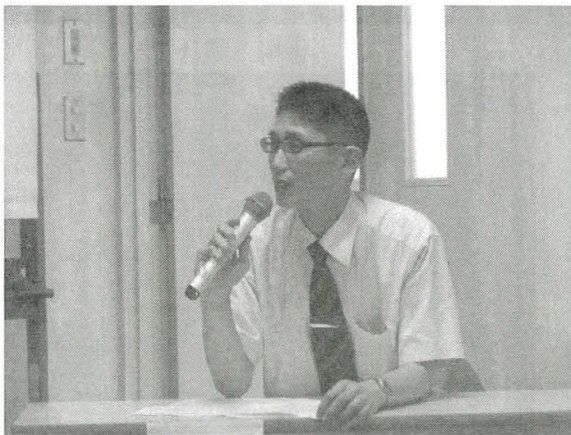
洋画家 佳月 優 先生

#### 【セッション2】 15時30分～16時30分

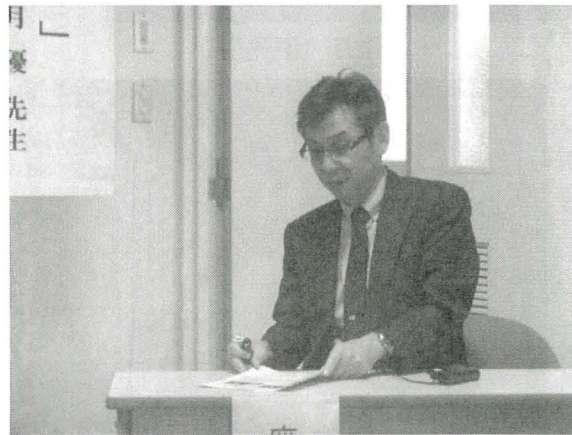
- |    |  |       |
|----|--|-------|
| 座長 | 公益社団法人鹿児島共済会 南風病院  | 藤崎 誠  |
| 5. | 医療用高精細モニタの品質管理と当院での運用報告<br>鹿児島市立病院   | 米田 寛彬 |
| 6. | 当院における装置の時間のずれの現状<br>霧島市立医師会医療センター   | 池田 隆太 |
| 7. | 当院における放射線障害予防規程の改正<br>公益財団法人昭和会 今給黎総合病院  | 小屋 俊彰 |
| 8. | ファントムを用いたSEPCT・CT撮像における再構成技術 xSPECT の検証<br>ー骨シンチ SPECT・CT撮像条件における定量性についてー<br>鹿児島大学医学部歯学部附属病院 | 藤坂 智史 |

「参加者」

浅井 愛邦, 池田 睦, 池田 隆太, 石本 裕二, 石山 重行, 市木 由美, 市園 淳二,  
井ノ上 祐二, 梅北 陽平, 大久保 光男, 大園 健一, 太田原 美郎, 岡野 三男, 梶 祐幸,  
上川 智弘, 川西 義浩, 木原 悠太, 木屋尾 祐太朗, 隈元 満広, 高田橋 司, 児玉 公輝,  
小屋 俊彰, 小屋 保浩, 西郷 康正, 斉藤 二郎, 坂下 周一郎, 佐々木 雅史, 佐藤 洋一,  
鮫嶋 宗俊, 島児 末治, 下園 大介, 新村 栄次, 瀬戸 和人, 園田 実郎, 園田 隆,  
竹之内 学, 田中 謙太郎, 田中 嵩人, 田畑 一文, 中島 さおり, 中島 祐二, 長野 勝悟,  
中村 純雄, 永山 照明, 西 憲文, 野中 康博, 萩原 純久, 橋口 満, 林 六計, 原口 織歌,  
原口 誠, 日高 浩文, 平賀 真雄, 平田 勝, 福山 直樹, 藤坂 智史, 藤崎 拓郎,  
藤崎 誠, 淵脇 崇史, 穂満 信行, 穂山 和章, 前床 寿隆, 松野下 直美, 松本 俊也,  
丸尾 美由紀, 室屋 純一, 本村 克朗, 山口 信夫, 山下 友也, 山本 愛, 吉見 公作,  
吉村 洋一, 米田 寛彬, 渡邊 義治, 山下 貴大, 浮田 裕, 森 ゆうと(敬称略 順不同)



坂下 周一郎氏



新村 栄次氏



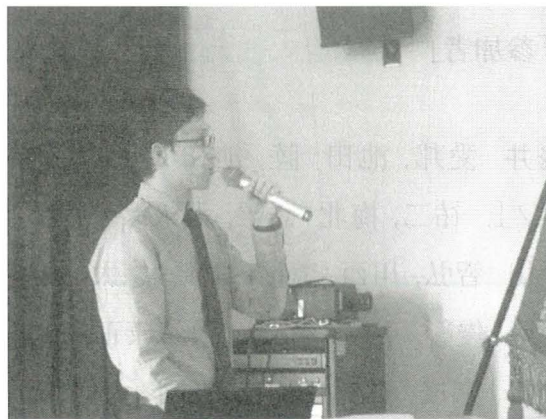
田中 謙太郎氏



木原 悠太氏



日高 浩文氏



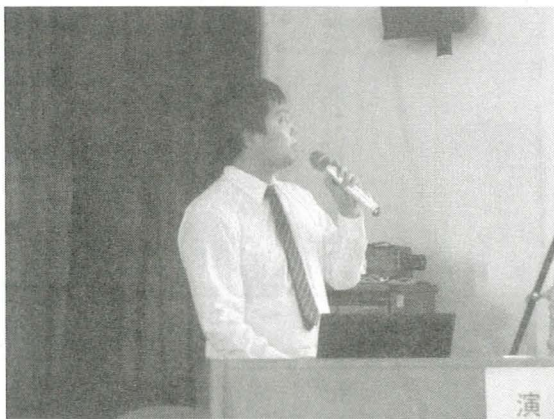
本村 克朗氏



佳月 優先生



藤崎 誠氏



米田 寛彬氏



池田 隆太氏



小屋 俊彰氏



藤坂 智史氏

# 携帯型迅速クレアチニン測定装置を利用した造影検査前腎機能測定の有用性について

鹿児島市立病院 放射線技術科 木原悠太

## 「背景」

CT検査を行う上でクレアチニン値は造影検査の可否を決める重要な値となる。しかしながら、採血結果が出るまでに長時間要する場合があります、患者の待ち時間の増加、クレームの原因につながる場合がある。

今回当院では、クレアチニン値を迅速に測定するため携帯型迅速クレアチニン測定装置 スタットセンサー（以下、スタットセンサー）を導入したので、この使用経験を報告する。

## ○スタットセンサーの使用法

装置の電源を入れ、テストストリップを装着、先端に血液を点着し30秒ほど待ちます。解析終了するとクレアチニン値が表示されます。検体は検査部の検査用検体と同時に採血した静脈血としています。

造影CTではeGFR値で可否を判断するため当院では、このクレアチニン値を性別、年齢とともにRIS上のエクセルに入力し、eGFR値を求めています。

## スタットセンサーを使用した クレアチニン値測定方法



Stat Sensor Xpress-i  
(nova biomedical)

1. スタットセンサーのテストストリップの先端に血液を点着し、30秒ほど待つ。
2. クレアチニン値測定結果が表示される。
3. エクセルを使用しeGFR値へ変換する。

## 「方法」

1. 2014年11月～2015年1月までに行われたCT検査をもとに血液検査のクレアチニン値と携帯型迅速クレアチニン測定装置での結果の比較を行った。
2. 携帯型迅速クレアチニン測定装置を使用することで、造影検査開始までの時間の変化を調査した。

## 「結果」

1. 従来の血液検査のクレアチニン値の結果と携帯型迅速クレアチニン測定装置での結果で70%が誤差率20%以内の範囲にあった。値の中には誤差率が40%を超えるものも見られた。
2. 造影検査開始までの時間が40分程度短縮した。

検査室測定機器として東芝 アボットの Ci16200 を使用している。測定原理は、スタットセンサーでは酵素電極法、Ci16200 では酵素法が用いている。測定時間は、スタットセンサーでは30秒、Ci16200 では遠心分離10分を含む25分となった。結果が表示されるまでの時間はスタットセンサーでは30秒、Ci16200 では平均して35分となった。なお、Ci16200 での結果表示時間は、採血終了より電子カルテへの結果が通知されるまでの時間とした。

## 結果1

表 スタットセンサーと検査室測定機器比較

	Stat.Sensor Xpress4 (nova biomedical)	ARCHITECT ci16200 (東芝 Abbot)
測定原理	酵素電極法	酵素法
検体	全血(動脈血、静脈血、毛細血管血)	血清、血漿、尿
サンプル量	1.2μL	2.5μL
測定範囲	0.3-12mg/dL	0.1-100mg/dL
QC	QC溶液	QC溶液
測定時間	30秒	25分(遠心分離10分含む)
結果表示までの時間	30秒	30~40分

スタットセンサーと検査室測定機器のクレアチニン値の相関に関しては、テストストリップ4を除くと良い相関があった。個々の値を見ると、全体の70%が誤差率20%以内の範囲にあった。しかしながら、値の中には誤差率が40%を超えるものも見られた。また、テストストリップ間での差も見られた。

## 結果2

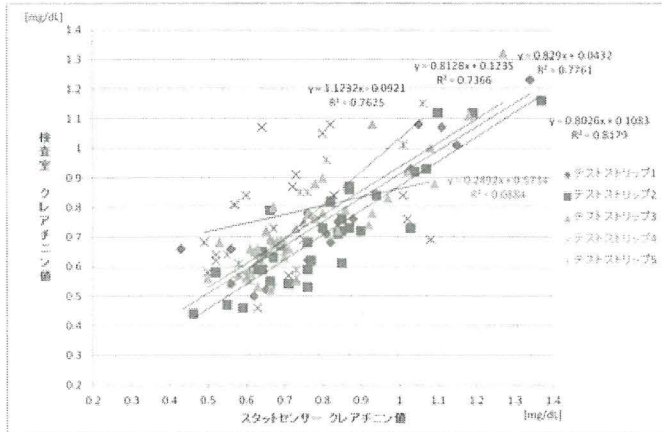


図 スタットセンサーと検査室測定機器 クレアチニン値相関図

## 結果2

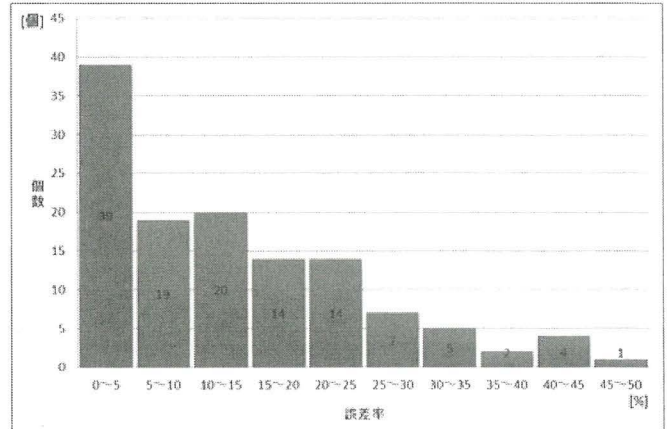


図 スタットセンサーと検査室測定機器 クレアチニン値誤差率分布

スタットセンサーと検査室測定機器との値に誤差が生じた要因として、測定原理の違いが考えられる。スタットセンサーの測定原理として、酵素電極法が用いられている。酵素電極法は、クレアチニンの濃度に比例して発生した電子流を電気化学法により検出し、検体中のクレアチニン濃度を測定する方法である。全血を使用する場合は、血液中の血清濃度に依存する。このため、テストストリップに点着する血液量に値が左右される。一方、検査室の測定機器では、酵素法により、遠心分離して生成した血清と酵素により発生したキノン色素量から吸光度を測定することでクレアチニン濃度を求めず。この測定原理の違いが、誤差を生じさせたと考える。

### 誤差が生じた要因

- スタットセンサーの測定原理: 酵素電極法  
 $\text{クレアチニン} + \text{O}_2 + \text{酵素1} \rightarrow \text{H}_2\text{O}_2$   
 $\text{H}_2\text{O}_2 + \text{フェロシアン化合物} + \text{酵素2} \rightarrow \text{フェリシアン化合物} + \text{H}_2\text{O}$   
 $\text{フェリシアン化合物} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{フェロシアン化合物}$ 
  - ※酵素1: クレアチンアミドヒドロラーゼ、クレアチンアミドヒドロラーゼ、ガルコシノキシダーゼ
  - ※酵素2: ペルオキシダーゼ

クレアチニン濃度に比例して発生した電子流を電気化学法により検出し、検体中のクレアチニン濃度を測定する。  
 ⇒ 全血を使用するため、血液中の血清濃度に依存

テストストリップに点着する血液量に値が左右される

### 誤差が生じた要因

- 検査室測定機器の測定原理: 酵素法  
 $\text{クレアチニン} + \text{H}_2\text{O} + \text{酵素1} \rightarrow \text{クレアチン}$   
 $\text{クレアチン} + \text{H}_2\text{O} + \text{酵素2} \rightarrow \text{ガルコシン} + \text{尿素}$   
 $\text{ガルコシン} + \text{H}_2\text{O} + \text{O}_2 + \text{酵素3} \rightarrow \text{H}_2\text{O}_2 + \text{グリシン} + \text{ホルムアルデヒド}$   
 $2\text{H}_2\text{O}_2 + 4\text{-AA十色体} + \text{酵素4} \rightarrow \text{色素(キノン色素)} + 4\text{H}_2\text{O}$ 
  - ※酵素1: クレアチンアミドヒドロラーゼ
  - ※酵素2: クレアチンアミドヒドロラーゼ
  - ※酵素3: ガルコシノキシダーゼ
  - ※酵素4: ペルオキシダーゼ

生成したキノン色素の吸光度を測定することでクレアチニン濃度を測定。

⇒ 血清・血漿を使用するため、血液中の血清濃度に依存しない。

テストストリップ4について、平均25%の誤差があり、検査室のクレアチニン値と大きな解離があった。この原因を追究すると、テストストリップの不適切な管理が原因であると分かった。テストストリップは、バイアル開封前は、2～8℃で冷蔵保存しなければならないが、冷蔵庫の扉付近においていたため、温度変化が大きくテストストリップの品質が低下した。

品質の低下に早く気付くためにはこまめなQCを行う必要がある。

### 誤差が生じた要因

- テストストリップの適切な管理  
バイアル開封前: 2～8℃(有効期限24ヶ月)  
バイアル開封後: 15～30℃(有効期限3ヶ月)  
⇒ 温度変化の大きい場所に置くと、テストストリップの品質の低下を招く
- 適切なQC  
クレアチニンQC溶液を使用したQC

### 「考察」

携帯型迅速クレアチニン測定装置を使用することで、クレアチニン値を迅速に知ることができた。また、造影検査開始までの時間が短縮し、診断と治療をさらに迅速に行うことができた。しかしながら、血液検査の結果と比較し、値の誤差が大きくなる場合があった。この対策として定期的なQCが必要となる。

## 当院における警察依頼 Ai の現状

三宅病院 放射線部 日高 浩文

【目的】Ai(死亡時画像診断)は解剖と比較し、需要は高まっている。当院におけるAiは警察依頼に特化しており、鹿児島県警との提携により、死亡が確認された方の死因特定・事件性の判断を目的としたAiの依頼を受けている。この検査を円滑に行うために「検査の流れ・感染防止・撮影方法」などを検討し取り組んでいる。当院で行われたAiの現状と症例を報告する。

### 【Aiの実施手順】

当院でのAiは放射線科医師3名と診療放射線技師4名で対応し、かごしま救急医療遠隔画像診断サービス事業協力機関でもあり、他院で行われたAiの画像診断にも対応している。

### 【Ai検査時における感染防止】

当院でのAiは警察において遺体収納袋に保護されて搬入されるため、汚染の危険性は比較的lowく検査ができています。

#### Aiの実施手順

**Ai撮影の手続き**

- ① 依頼がきたら放射線科医に連絡し、遺体情報の確認を行う。Ai実施の為の調整を行い、依頼元に搬送時間を連絡する。
- ② 検査時間は、一般患者の検査時間と重ならないようにする。
- ③ 看護部、総務部にも連絡し、Ai実施の為の準備を行う。

**遺体をCT室へ搬送**

- ① 検査の準備が整ったら、CT室に移送する。
- ② 搬送経路に一般患者・家族がいる場合は、パーテーションで目隠しをするなど細心の注意を払う

**Ai撮影手順**

- ① 撮影は搬送状態のまま(遺体収納袋に覆われたまま)行う。
- ② 放射線科医の指示のもと検査を行い、看護師も立ち会う。
- ③ 検査終了後、放射線科医により警察にモニター上で画像診断結果の説明を行う。画像はPACSに保管し、警察にはCDにコピー渡す。

#### Ai検査時における感染防止

**検査前の準備**

- \* 感染症や遺体からの体液や汚物が排泄される可能性があるため、遺体収納袋などで密封された状態であることを確認する。
- \* 感染を防ぐために手袋、マスクを着用し、寝台の上にも防水シートを敷く。

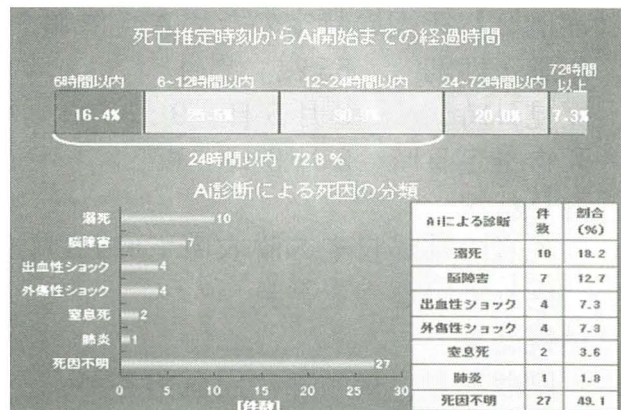
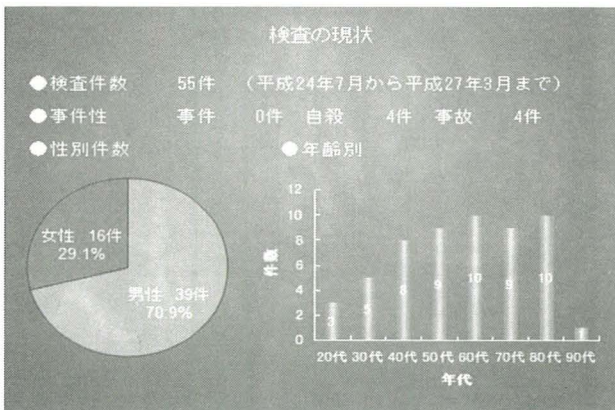
**Ai検査時**

- \* 寝台に移動する際は遺体を損傷しないよう慎重に行う。
- \* 感染症がない場合でも必要がない限り遺体に直接触れない。

**Ai検査後**

- \* 寝台や接触部分を0.1%次亜塩素酸ナトリウム(ハイター)で消毒を行い、使用した手袋やエプロンは感染廃棄物に廃棄する。

### 【検査の現状】



検査件数は平成24年7月から平成27年3月で55件、事件性のある症例は0件、自殺が4件、事故が4件でした。性別は男性が7割、女性が3割で、年代別はどの

年代でも優位性は認めません。死亡推定時刻からAi開始までの時間は約73%の症例で24時間以内に行われているが、7.3%は3日以上経過しています。この時間により、遺体も腐敗が進み画像にも影響してきます。Ai診断による死因の分類では溺死が10件、脳障害が7件と多く、死因不明は27件ありました。溺死が多いのは、入水自殺や転落事故によるものです。

【撮影条件】 使用機器：GE社製 Optima CT660 Pro (64列)

\*頭頸部はヘリカル撮影し、頭部はコンベンショナル撮影を追加している

120Kv、350mA、1s、ST：5mm、FOV 32 ASiR 30% (ヘリカル撮影)

120Kv、200mA、2s、ST：5mm、FOV 22 ASiR 10% (コンベンショナル撮影)

\*胸・腹部・骨盤部・両上・下肢(ヘリカル撮影)

120Kv、Auto、1.0s、ST：5mm、FOV 50 ASiR 10%

\*胸部は肺野条件を2.5mmで再構成し、画像再構成用に1.25mmも作成し必要に応じて3D・MPRなど画像構成を行う

【症例1】 死因の特定のためAi依頼

年齢・性別 46歳 男性  
 発見日時 5月25日 9:00頃  
 死亡推定日時 5月24日 夜頃  
 発見状況

通行人が駐輪場で倒れているのを発見  
 検視結果

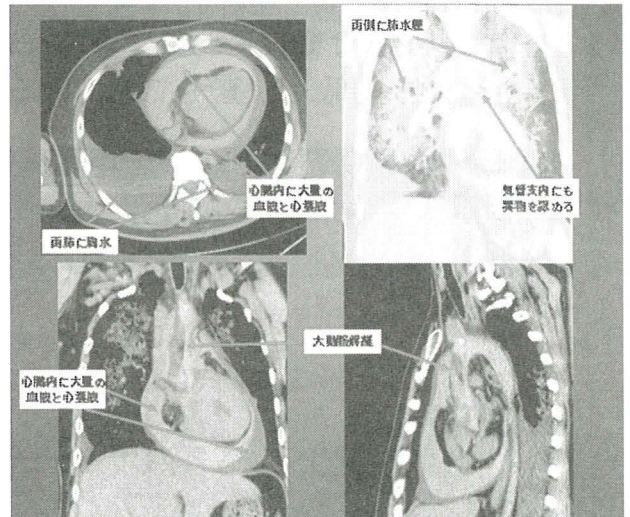
特異外傷等なしで死因特定できず

Ai所見

上行大動脈に大動脈解離を認め、心膜内に大量の血液と心嚢液が貯溜しており、心タンポナーデによる循環不全あり  
 両肺に胸水と肺水腫も認める、その他出血や外傷等は認めない

死因 大動脈解離による心不全

検視では特定できなかった死因を断定でき、事件性はないと判断された。

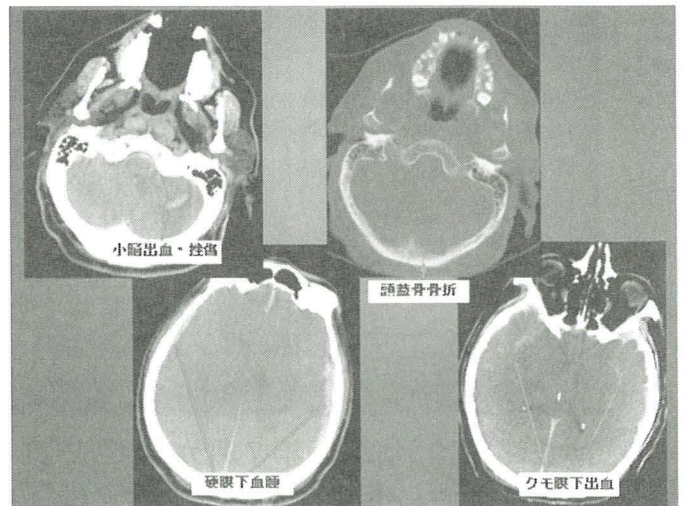


【症例2】 死因の特定のためAi依頼

年齢・性別 55歳 男性  
 発見日時 3月5日 9:30頃  
 死亡推定日時 3月3日 夜  
 発見状況

死者の姉が自宅の脱衣所で仰向けに倒れているのを発見  
 検視結果

腐敗なし、後頭部に出血あるが、その他特異外傷等なく、タール便あることから消化管出血死と判断された



## Ai 所見

後頭部頭蓋骨骨折、左小脳出血・挫傷、両側外傷性硬膜下血腫、外傷性クモ膜下出血あり、腹腔内には出血部分は特定できず、その他異常は認めない

## 解剖所見

頭部打撲による脳障害（左右硬膜下血腫、左右大脳・小脳クモ膜下出血、左右大脳・左小脳挫傷、脳腫脹、左右テント切痕ヘルニア）と、胃小弯に活動性の筋層まで達する深い胃潰瘍を認め、胃瘍底に小孔2個を認め、この部分から血液が漏出し、周囲に粘膜下出血を伴う

死因 頭部打撲による脳障害

検視ではタール便があることで消化管出血死としたが、Ai と解剖の結果より頭部打撲による脳障害と診断され、結果と状況より警察は事件性がないと判断した。

## 【症例3】事件性を考慮したAi 依頼

年齢・性別 73歳 男性

発見日時 1月31日 11:30頃

死亡推定日時 1月30日 午後頃

## 発見状況

食事中に突然苦しみだし、右側臥位に倒れ動かなくなった

## 検視結果

左目にブラックアイあり、  
その他特異外傷等なし

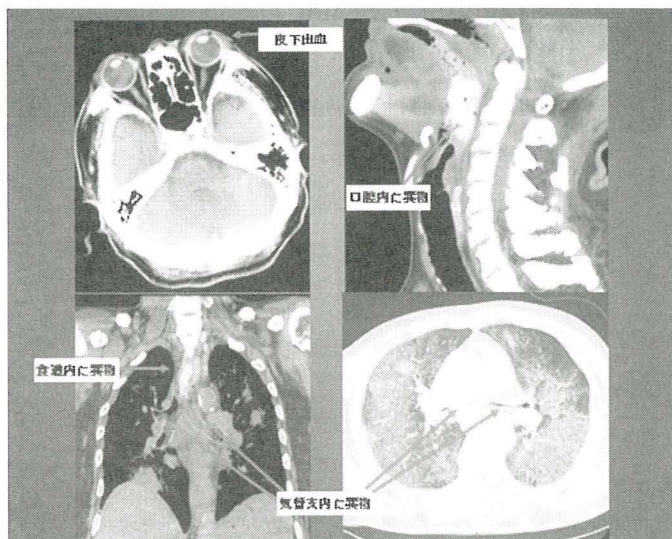
## Ai 所見

左眼周囲血腫、頭部皮下血腫あり、  
その他骨折等なし、腹部に異常なし、  
気管・食道内に餅らしき異物あり

死因 餅を誤嚥したことによる窒息死

当院で内視鏡により口腔内・気管内を確認し餅を取り出した

検視でブラックアイがあることより事件性を考慮したが、骨折等なく窒息死と診断され、事件性はないと判断された



## 【まとめ】

今回紹介した3症例からもAiは死因究明において重要な役割を果たしているといえる。事実、当院で行ったAi55件のうち、解剖まで行ったのは5件であり、非破壊検査で短時間に情報提供できるAiの重要性が今後高まるのは明確である。

当院でのAiは警察において遺体収納袋に保護されて搬入されるため、感染や汚染の危険性は比較的lowに検査が行われている。

また、周辺住民や一般患者との接触を避ける配慮をした上で、滞在時間の短縮のためにも検査を円滑に行う工夫が重要である。

今後は、死後変化による画像特徴をふまえて、撮影方法や画像処理など検討し、より多くの情報が提供できるように努めていきたい。

## AERA1.5TMRIにおける新しいソフトウェアバージョン(syngo MR E11)の使用経験

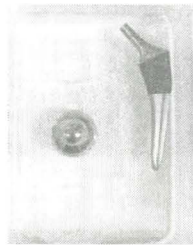
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 本村 克朗

### [背景]

当院では、SIEMENS 社製 MRI AERA1.5T がバージョンアップ(syngoMR E11)された。それに伴い新しい機能として、体動の影響を軽減させる STAR-VIBE シーケンス、金属アーチファクトを低減させる SEMAC などが追加された。今回 STAR-VIBE と SEMAC の使用経験を紹介する。

### [方法]

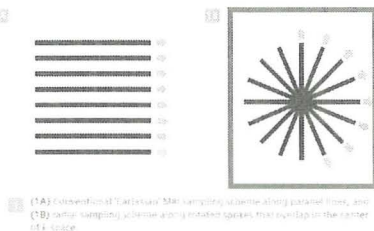
STAR-VIBE は Q-body coil を用いて装置付属の性能評価均一ファントムを撮影し、SNR を測定し比較した。SEMAC は水の中に京セラメディカル製人工股関節を入れたファントム (図 1) を撮影し、金属アーチファクトの程度を比較した。さらにそれぞれ臨床画像でも比較した。



(図 1)

### STAR-VIBE の原理

従来の VIBE(3D-T1 GRE)法にラジアルサンプリングを応用することで、体動の影響を軽減させることを目的としたシーケンス。



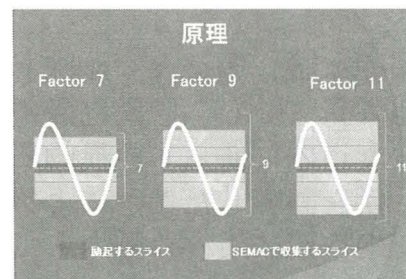
上の左の画像が直線状にデータを埋める従来の VIBE のサンプリング方法で、右が放射状に埋める STAR-VIBE のサンプリング方法。

放射状のスポークの数を「radial view」と呼び、この数が多いほど撮影時間は伸びるがモーションアーチファクトやストリークアーチファクトを軽減できる。

### SEMAC の原理

SEMAC(Slice Encoding for Metal Artifact Correction)

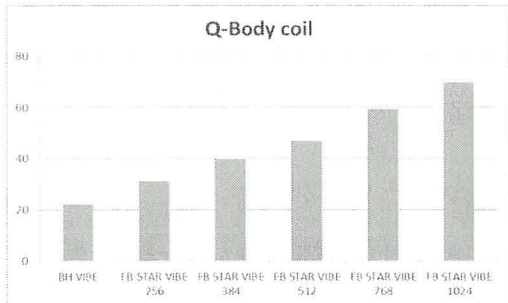
1 スライスに対して、スライス励起後最初の TR でそのスライスのデータを収集し、次の TR で同じスライスを再度励起後、隣のスライスのデータを収集する。この過程を繰り返しこれらの画像を足し合わせることで、Slice 方向に歪んだデータを 1 画像に描出することができ、スライス方向の金属アーチファクトを低減することができる技術。



上図で点線のものが金属の影響で歪んで波線のような信号になったとし、SEMAC ファクターに応じて収集できる範囲を縦方向のピクセルとする。この場合のファクターは歪んだ部分もすべてカバーできている「11」に設定するというようになる。ただし、SEMAC ファクターを大きくすると撮影時間が長くなる。

[結果：STAR-VIBE]

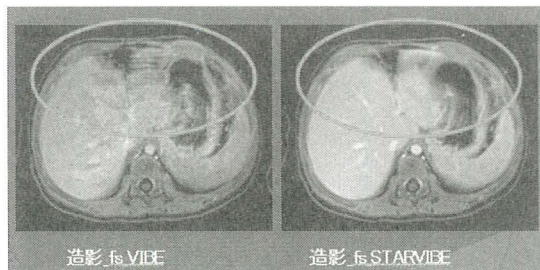
	BH VIBE	FB STAR VIBE 256	FB STAR VIBE 384	FB STAR VIBE 512	FB STAR VIBE 768	FB STAR VIBE 1024
SNR	20.25	31.94	39.97	45.97	60.38	69.67



横軸が radial view の数で縦軸が SNR を表す。  
radial view を多くする事で SNR が良くなった。

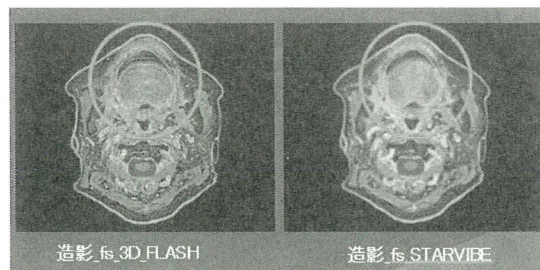
次に臨床画像で比較すると、

小児の腹部↓



STAR-VIBE を使う事で腹部の動きによるアーチファクトが軽減した。

頸部↓



舌の動きによるアーチファクトが軽減した。

[結果：SEMACE]

### 評価方法

信号低下域ボクセル数の比較

- 水SIが 500となるように正規化
- 金属部にROI設定
- ROI内ヒストグラムよりSI300以下のボクセル数をカウント



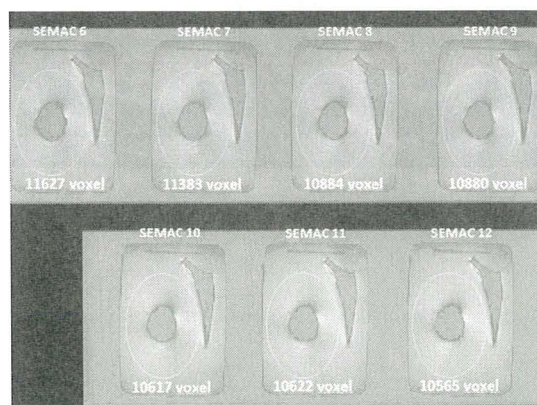
### ファントムの測定

STIR

SEMACE6

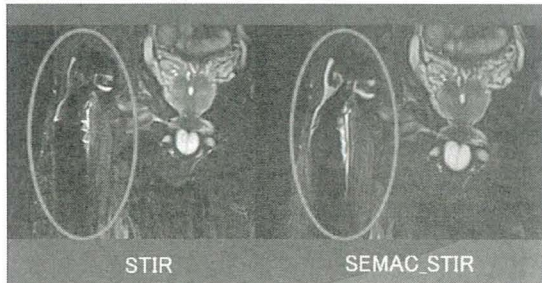
信号値の下がったボクセルが明らかに少なくなった。

さらに SEMACE ファクターを大きくすることでさらに金属アーチファクトを軽減することができる。



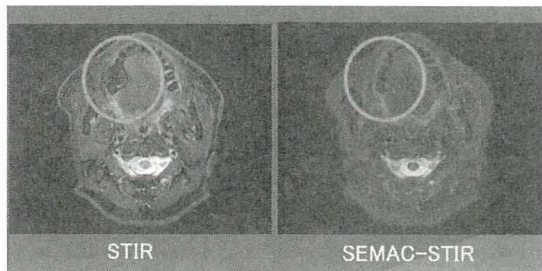
次に臨床画像で比較する

人工股関節↓



人工股関節の周りの歪みが低減していた。

歯科領域↓(図2)



中咽頭病変↓(図3)



図2、図3では、歯のアーチファクトが低減した。

[まとめ]

### STAR-VIBE

腹部領域では、小児など息止めができない患者の体動によるアーチファクトを抑えることができ、頸部領域では、舌などの口腔内で動きの強い部位のアーチファクトを抑えることができた。

### SEMAC

人工骨頭や口腔領域では金属があるとアーチファクトが目立っていたが、SEMACを使用することで歪みの少ない画像が得られた

[結語]

今回ソフトウェアのバージョンアップで新たに追加された STAR-VIBE、SEMAC は非常に有用であることがわかった。

## 医療用高精細モニタの品質管理と当院での運用報告

鹿児島市立病院 米田 寛彬 永田 隆二 太田原 美郎

### 【目的】

当院では平成22年4月1日よりフィルムレス運用を開始し、高精細モニタを導入して診療を行っている。適正な画像診断を維持するため、定期的なモニタの品質管理を行っているが、経年劣化による輝度低下など品質の低下が生じている。

また、高精細モニタの大半をフィルムレス運用開始と同時期に導入しているため、今後大規模な更新や新規導入を考慮した計画的な購入が必要となっている。今回当院の全モニタ119台の品質や管理の状況を分析し、今後のモニタ管理や更新の方針を検討したので報告する。

### 【システム構成】

モニタ：EIZO RadiForce(ナナオ社製)

GS310 GS220 G11-S RX210

ツール：Radi Net Pro Lite(ナナオ社製)

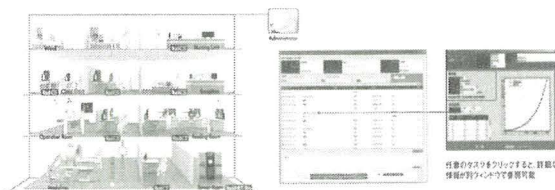
RadiCS(ナナオ社製)

モニタセンサー：Clip-On Swing Sensor

G2(ナナオ社製)

### 【システム概要】

モニタ管理ツール「Radi Net Pro Lite」を用いることにより、院内の各モニタの輝度や階調などの測定がリモートで可能となっている。測定結果は管理サーバーに保存され、過去の測定結果やキャリブレーションの履歴閲覧や設定の変更などが可能である。



### 【方法】

- 1.院内にある全モニタの使用時間、輝度の測定、目視による確認により、モニタの劣化の状況を調べるとともにキャリブレーションを行い、問題のあるモニタを抽出した。
- 2.方法1の結果やガイドラインを考慮して更新の目安となる基準を決定した。
- 3.方法2の結果より、現在更新の必要となるモニタを抽出した。また、1年間あたりの平均使用時間や輝度の低下のデータを算出し、今後の劣化を推測し計画的更新台数を決定した。

### 【結果1】

全109台のモニタを測定した結果、21台のモニタにて異常がみられた。不変性試験で不合格となったものは11台、目視にて異常が見られたものは10台となった。

輝度不良(当院基準)	9(カラーモニタ)
輝度不良(当院基準)	2(モノクロモニタ)
画面ヤケ	1
色ムラ	8
縦ラインの乱れ	1
ペンあと	1Mモノクロモニタ G144S

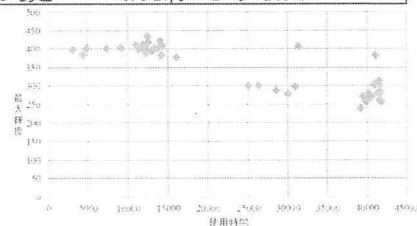


図1.モノクロモニタ使用時間に対する最大輝度のグラフ

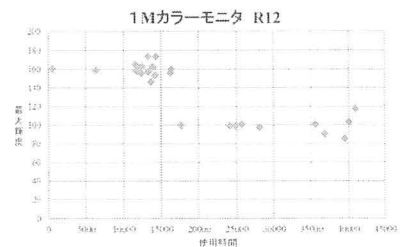


図2.カラーモニタ使用時間に対する最大輝度のグラフ

## 【結果2】

JISRA ガイドラインでのモニタの更新基準

①最大輝度の最低値はグレード 1 で  $170\text{cd}/\text{m}^2$ , グレード 2 で  $100\text{cd}/\text{m}^2$

②モニタ管理者は最大輝度の設定値を決める際には、診断に必要とされる値を決め、決められた最大輝度の基準値に達せず不変性試験で不合格となった場合には、その医用モニタの更新時期と判断する

メーカーの推奨交換目安は使用時間が 3 万時間以上。

測定の結果、カラーモニタとモノクロモニタでは輝度の低下の許容できる使用時間が異なるために更新の目安は別とした。

ガイドラインをふまえ、メーカーと相談し使用時間を基準として更新の目安とした。

モノクロモニタ	使用時間4万時間 (設定輝度 $250\text{cd}/\text{m}^2$ )
カラーモニタ	使用時間3万時間 (設定輝度 $100\text{cd}/\text{m}^2$ )

## 【結果3】

モノクロモニタ使用時間	台数(全71台)
4万時間以上	22
3~4万時間	15
2~3万時間	10
1~2万時間	18
1万時間以下	6
カラーモニタ使用時間	台数(全38台)
4万時間以上	4
3~4万時間	5
2~3万時間	7
1~2万時間	12
1万時間以下	2

現在モノクロで 4 万時間、カラーで 3 万時間を超えたモニタは 30 台であった。

また使用時間の 1 年平均が 6217 時間という結果となり、一年あたり約 20 台のモニタが 4 万時間を超えていく試算となった。

この結果を受け1年あたり 20 台のモニタを

更新し、全 119 台のモニタを計 6 年で入れ替える方針とした。

## 【まとめ】

今回の結果によりモニタの更新台数を予測することが可能となり、計画的な予算の構築を決定することができた。今後も定期的な測定を行い管理を行っていくことはもちろんのことではあるが、使用時間が長い部署においては未使用時には電源を切るよう医師や看護師に注意を喚起していくことやモニタのローテーションを行うことで更新時期を延長していけるものと考えている。

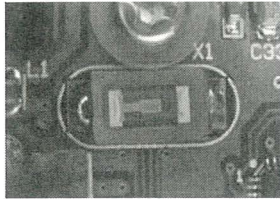


全体平均が1週間で7秒ずれる結果となった。また、秒単位まで表示する装置に関して最大の時間のずれは14秒であり、全装置1週間の時間のずれは不規則である結果となった。CT装置、頭腹部血管撮影装置に関しては時間が分単位までしか表示されていなかったため、時間が0秒または1分のずれになってしまった。

【考察】

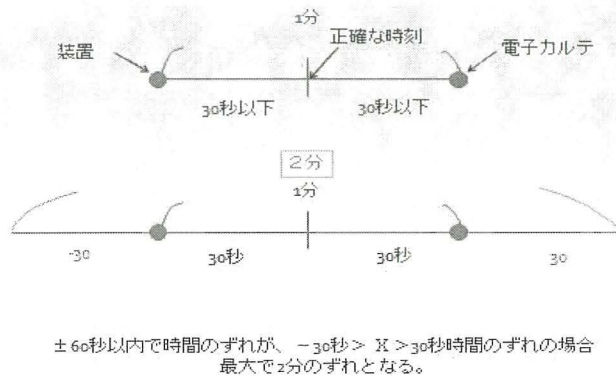
各装置に時間のずれがあったことに関しては、分単位でしか表示する事が出来ない装置もあり秒単位のずれが確認できなかったこと、また電子カルテの時刻合わせを、不定期で行っていたことが関係していると考えられる。

水晶振動子



水晶を振動させて時間を刻んでいる。  
 1秒間に1431万8180回振動する。  
 水晶は品質にばらつきがある。品質が悪い場合1カ月で4分近くずれる可能性がある。  
 水晶は熱に弱く振動が不安定になる。

また、時間のずれには水晶振動子が関係している可能性があり、左図で述べていることが考えられる。



今後の時間合わせには、左図のように最低でも正確な時間から30秒以下のずれでなければならない。

【結語】

当院の装置で一週間の最大の時間のずれは14秒だったため、±30秒以内であることを考慮すると、2週間に一度の時間合せをすること、また、管理者に電子カルテの時間合せを定期的に行ってもらうことで時間のずれに対する改善が出来るのではないかと考えられる。

## 「当院における 放射線障害予防規程の改正」

公益財団法人昭和会  
今給黎総合病院 中央放射線部  
○小屋 俊彰  
飯伏 順一 浮田 啓一郎  
松下 芳正 室屋 純一  
中禮 久彦(放射線治療科)

### 背景 ①

・改正され、平成24年4月1日より施行された  
「放射性同位元素等による放射線障害の防止に  
関する法律(以下「法」という)」

↓

放射化物が規制対象に追加

↓

法改正に伴う当院の放射線障害予防規程(以下「予防規程」という)の改正が必要

### 背景 ②

・平成25年4月1日より  
原子力規制委員会設置法に基づき、  
文部科学省研究開発局開発企画課核不拡散・保障措置室が所管していた業務が  
原子力規制委員会(事務局:原子力規制庁)へ移管  
↓  
予防規程内の「文部科学大臣」を「原子力規制委員会」に変更することが必要

### 背景 ③

・平成26年5月に定期検査・定期確認が行われ、  
監査員より  
「予防規程が古くなっているので、そろそろ改正を  
して下さい」  
との指摘  
(当院の予防規程の最後の改正は平成19年9月15日)

### 当院の放射化物への対応

- ・法により規制される当院の放射線治療装置は  
X線の最大エネルギーが10MeV以下  
↓  
空気及び水の放射化の考慮は不要
- ・放射化物保管設備や放射化物保管廃棄設備は  
設置しない
- ・放射化物が放射線発生装置から取り外された後は  
速やかに許可廃棄業者に払い出す

### 目的

- ・平成24年4月1日に施行した改正法に伴う、予防規程の改正
- ・予防規程全体の見直し

### 予防規程改正の概容

- ・放射化物に関する変更
- ・その他の必要に応じた変更
- ・原子力規制委員会に予防規程変更届の提出

### 放射化物に関する変更

- ☑ 主な変更箇所
  - ・「目的」  
規制対象に放射化物を追加
  - ・「用語の定義」  
放射化物、放射性汚染物、放射性同位元素等
  - ・「使用」、「廃棄」、「記帳」  
放射化物の取り扱いに関する記載の追加及び適正化

### その他の変更

- ☑ 予防規程全体の見直し
  - ・「文部科学大臣」→「原子力規制委員会」
  - ・「つど」→「都度」
  - ・「しゃへい」→「遮蔽」
  - ・その他、現在の運用等を考慮して、必要に応じた記載の追加や適正化

### 予防規程変更届提出までの流れ ①

- (1) 手続き方法について原子力規制委員会に問い合わせ  
↓
- (2) 予防規程変更届提出前に、改正後の予防規程の下書きを変更及び追加部分に下線を引いて提出  
(※法的義務はないが、担当者の要望)  
提出先: 原子力規制庁  
放射線防護対策部 放射線対策・保障措置課  
放射線規制室  
↓

### 予防規程変更届提出までの流れ ②

- (3) 下書きの確認後に担当者より手続き方法や予防規程変更届の記入方法について指示  
↓
- (4) 担当者の指示に従い、(2)と同じ提出先に
  - ・予防規程変更届
  - ・改正前の予防規程  
(※法的義務はないが、担当者の要望)
  - ・改正後の予防規程  
(※担当者の要望で変更及び追加部分に下線を引いて)
 を提出し、変更手続き終了

### 改正前の予防規程

今給黎総合病院 放射線障害予防規程

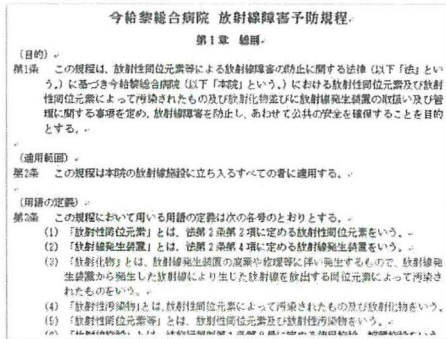
第1章 総 則

〔目的〕  
第1条 この規程は、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（以下「法」という。）に基づき今給黎総合病院（以下「本院」という。）における放射線発生装置（以下「リニアック」という。）とヨウ素125 密封放射性同位元素（以下「シールド」という。）の取扱い及び管理に関する事項を定め、放射線障害の発生を防止し、あわせて公共の安全を確保することを目的とする。

〔適用範囲〕  
第2条 本規程は本院の放射線施設に立ち入るすべての者に適用する。

〔用語の定義〕  
第3条 本規程において用いる用語の定義は次のとおりとする。  
 (1) 「放射線作業」とは、リニアックやシールドの使用の作業をいう。  
 (2) 「業務従事者」とは、リニアックやシールドの取扱い、管理又はこれに付随する業務に従事するため、管理区域に立ち入る者で、病院長が「放射線業務従事者」として承認した者をいう。  
 (3) 「放射線施設」とは使用施設をいう。

## 改正後の予防規程



## 結果

- ・今回の予防規程の改正には、約5ヶ月の期間を要した。
- ・平成26年9月24日に予防規程変更届を原子力規制委員会に提出し、平成26年10月1日より改正予防規程が施行となった。
- ・原子力規制委員会での予防規程変更の手続きは、速やかに行われた。

## 考察 ①

- ・今回の予防規程の改正では、放射化物の取り扱いに関する記載の追加や適正化だけでなく、予防規程全体的に見直しも行い、改正内容について何度も審議を重ねながら改正を行ったことや、全員が通常業務を行いながらの改正作業であったことが、予防規程変更手続き終了までに約5ヶ月の期間を要した原因と考えられる。

## 考察 ②

- ・予防規程変更届を提出する前に、原子力規制委員会と連絡を取り、手続き方法等について細かく指示を受けたことで、特に手続き上の問題もなく、速やかに予防規程変更の手続きを終えることができたと考えられる。

## 結語 ①

- ・今回の予防規程改正は、予防規程を見直す良い機会となった。
- ・今後も放射線管理を適切に行うためには、法令の改正等に注意して、予防規程を定期的に見直し、必要に応じて改正していくことが重要である。
- ・予防規程の変更手続きを行う前に、原子力規制委員会と連絡を取り、手続きに関する指示を受ける方が良い。

## 結語 ②

- ・今回の改正予防規程で規定した放射化物に対する措置では管理業務を軽減できるが、修理等の突発的な集荷が必要となった場合に負担する費用が多くなることなどのデメリットがあることを認識しておく必要がある。

## ファントムを用いた SPECT・CT 撮像における再構成技術 xSPECT Bone の検証 —骨シンチ SPECT・CT 撮像条件における定量性について—

藤坂智史 松本俊也 小屋保浩 西郷康正  
鹿児島大学病院 放射線部

### 【目的】

当院に導入された SPECT・CT 装置は再構成法にガントリーのたわみ補正、実測による開口補正を加えた OSCGM 法を用い SPECT を CT にアライメントする xSPECT。CT 値により画像を組織区分し画像再構成に利用するゾーンマップを行うことで分解能を高めているとされている。また  $^{99m}\text{Tc}$  を用いた SPECT 画像のボクセル値を Bq/ml で表示しており定量化もできるとされている。

今回我々は当院での骨シンチグラフィ撮像条件でファントムを撮像し xSPECT の画像の定量性評価を行ったので報告する。

( $^{99m}\text{Tc}$  でクロスキャリブレーションを行って評価した。)

### 【検討項目】

1.  $^{99m}\text{Tc}$  水溶液濃度の違いによる定量性評価
2. アクリル筒内径の違いによる定量性評価

### 【実験方法】

- $^{99m}\text{Tc}$  水溶液濃度の違いによる定量性評価  
アクリル筒 (内径 30mm) に  $^{99m}\text{Tc}$  水溶液濃度 148kBq/ml, 74kBq/ml, 37 kBq/ml, 18.5 kBq/ml ( $\pm 5\%$ 以下に調整) を封入し周囲に散乱体 (水) ありとなしを撮像し 65% 領域に ROI を設定し中心付近 5 スライス of 定量値の平均値を求め、キュリーメータ実測値と比較した。

- アクリル筒内径の大きさによる定量性評価  
内径 19mm、16mm、13mm のアクリル筒に  $^{99m}\text{Tc}$  水溶液 37 kBq/ml ( $\pm 5\%$ 以下に調整) を封入し周囲に散乱体 (水) ありとなしを撮像し 65% 領域に ROI を設定し中心付近 5 スライス of 定量値の平均値を求め、キュリーメータ実測値と比較した。

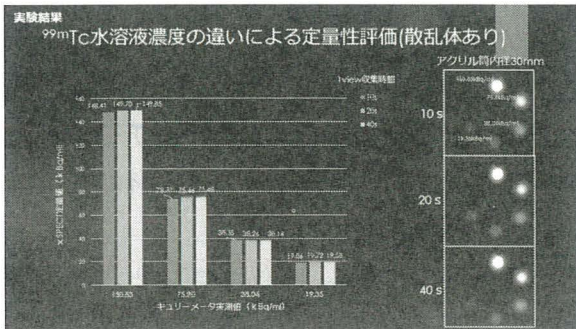
### 【収集条件】

- xSPECT 法 : マトリクスサイズ 256×256  
ピクセルサイズ 2.4mm View 数 45、  
1View あたりの収集時間を 10 秒, 20 秒,  
40 秒とし、再構成法 OSCGM ゾーンマ  
ップ処理でデータを収集した。

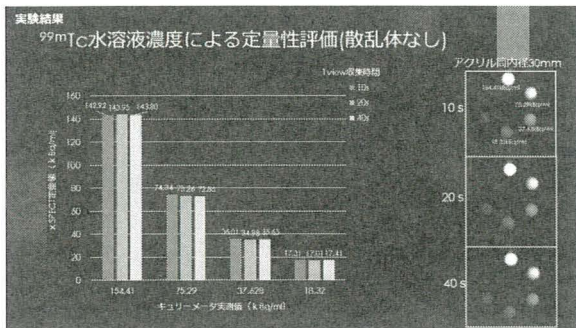
### 【使用機器】

- SPECT・CT 装置 : SIEMENS 社製  
Symbia Intevo  
LEHR コリメータ
- ファントム : SPECT ファントム  
JSP 型(京都科学)  
JIS SPECT PHANTOM  
TY-111L
- キュリーメータ : IGC-7 (ALOKA)  
測定範囲 10kBq~  
約 100GBq ( $^{99m}\text{Tc}$ )  
精度  $\pm 5\%$  ( $^{99m}\text{Tc}$ )

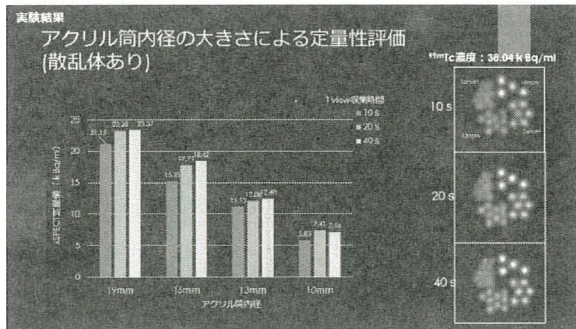
【結果】



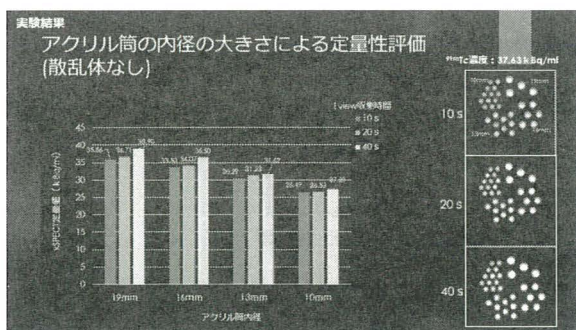
99mTc 水溶液の濃度の違いによる定量性評価(散乱体あり)



99mTc 水溶液の濃度の違いによる定量性評価(散乱体なし)



アクリル筒内径の大きさによる定量性評価(散乱体あり)



アクリル筒内径の大きさによる定量性評価(散乱体なし)

【考察】

- 99mTc 水溶液濃度の違いによる定量値 (30mm) は散乱体の有り無しともにキュリーメータ測定値の±8%以内の範囲となった。これは xSPECT の補正効果とゾーンマップの効果と思われた。
- アクリル筒内径の大きさによる定量値は散乱体ありの場合は内径 19mm 以下でキュリーメータ測定値より低い値となった。散乱体なしの場合は内径 19mm ではキュリーメータ測定値の 5%以内の値となったが、16mm 以下で低い値となった。これは部分容積効果の影響と考えられた。

【まとめ】

今回の実験ではアクリル筒内径 30mm で収集時間 10 秒以上であれば 定量値がキュリーメータの測定値の 8%以内で保たれていると考えられた。

99mTc でクロスキャリブレーションを行なったの定量性の評価となったが、今後更に 57Co 校正用線源でクロスキャリブレーションを行なった場合の定量性の評価、また多施設での比較も必要となると思われる。

## 平成27年度「レントゲン週間イベント」開催報告

平成27年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会の啓蒙活動としての「レントゲン週間イベント」が、平成27年3月15日(日)に、かごしま県民交流センターにて開催されました。

今回も、高校生の進路選択の一助となればと考え、医療専門技術者の中で「診療放射線技師」、「臨床検査技師」、「理学療法士」、「臨床工学技士」、「歯科衛生士」の5職種の代表の先生に、チーム医療の中でそれぞれの医療専門技術者が果たす役割についての講演と、九州大学医学部保健学科の杜下淳次先生より、診療放射線技師の教育、将来、学園生活などについて講演を企画しました。

ちょうど進級、卒業の時期と重なり、参加者は30名位と少ないでしたが、ご両親揃ってのご参加や鹿屋市、南さつま市といった遠方からのご参加もいただいて、ディスカッションの時間には、熱心な質問や、アンケートでは、とても役に立ったなどの感想を戴きました。

以下に、配布チラシを掲載します。来年度も開催予定ですので、医療技術系職種に興味がある高校生など、お近くにいらっしゃいましたらお知らせ、是非、お誘い下さいますようお願い申し上げます。

### レントゲン週間イベント 市民公開講座 **入場無料100名様**

～病院でのコ・メディカルの仕事について～  
皆さまの健康を守るため、私たちはこんな仕事をしていますpart2

＜鹿児島県診療放射線技師会生涯教育講座＞

日時：平成27年3月15日(日) 14時より(開場13時)

場所：かごしま県民交流センター 大研修室3(東棟4F)

鹿児島市山下町14-50

開会の挨拶 (1400) 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

講演 1 (1405-1420) 15分

「歯科衛生士の仕事について」

鹿児島県歯科衛生士会 理事 歯科衛生士 未定

講演 2 (1420-1435) 15分

「臨床工学技士の仕事について」

鹿児島県臨床工学技士会 会長 臨床工学技士 未定

講演 3 (1435-1455) 20分

「理学療法士の仕事について」

鹿児島県理学療法士協会 理事 理学療法士 未定

講演 4 (1455-1510) 15分

「臨床検査技師の仕事について」

鹿児島県臨床検査技師会 会長 臨床検査技師 未定

講演 5 (1515-1530) 15分

「診療放射線技師の仕事について」

鹿児島県診療放射線技師会 理事 診療放射線技師 未定

講演 6 (1530-1600) 30分

「診療放射線技師養成の大学はどんなの、楽しいの?」

九州大学医学部保健学科 教授 杜下 淳次 先生

ディスカッション (1600-1630) 30分

「現職スタッフへの質問タイム・・・何でも質問して下さい」

その他、診療放射線技師に関わるX線、CT、MRI、PET、放射線治療等の検査、治療等のパネル展示と説明、上記各職種に関わる個別説明、相談コーナー等を併設します。

今回も、病院等で働くコ・メディカル(医療技術系職種)の仕事について紹介する企画にしました。とんなことやっている職種だろうと疑問に思っていた市民の皆さま、将来の職業として医療系のお仕事に興味のある高校生(そのご両親さま)の皆さま、丁寧に説明紹介いたします。ご来場をお待ちしております。

入場は無料ですが、会場の関係で先着100名様までといたします。はがき又はFAXにて事前にお申込み下さい。詳しい応募方法は裏面をご参照ください。

(ご来場者へはコ・メディカルの仕事の紹介や進学先の紹介等のパンフレット等を差し上げます。)

共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会/エーザイ株式会社

# レントゲン週間



池田 会長



杜下 淳次先生



放射線技師 藤崎拓郎氏



理学療法士 平石章二氏



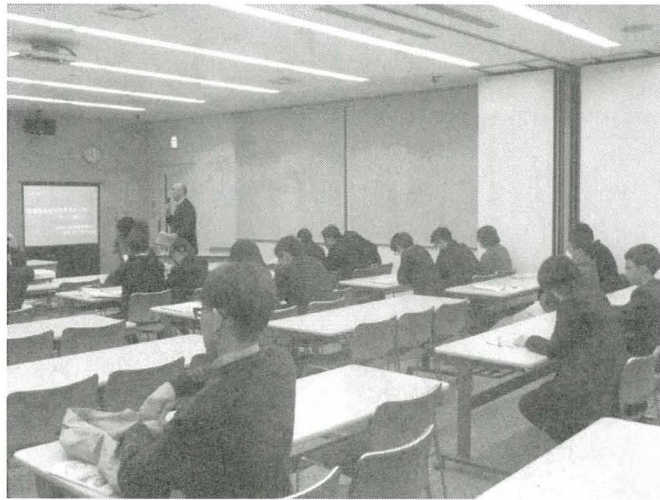
歯科衛生士 下川真弓氏



臨床検査士 有村義輝氏



臨床工学技士 谷口賢二郎氏



会場

# 西本 孝市先生 叙勲祝賀会

## ～瑞宝双光章受賞～

日時：平成27年3月14日（土） 18：00～

会場： ホテル吹上荘

- ① 開会の挨拶： 池田睦 会長
- ② 略歴紹介： 鹿児島市立病院 瀬戸和人氏
- ③ 祝辞： 鮫嶋宗俊氏
- ④ 花束贈呈： 西元氏、新村 副会長
- ⑤ 謝辞： 西本孝市先生
- ⑥ 乾杯の音頭： 河野氏
- ⑦ スピーチ： 大久保氏
- ⑧ スピーチ： 内山先生
- ⑨ 祝電披露： 司会 今田氏
- ⑩ 万歳三唱： 小川氏

司会： 今田氏



開会の挨拶 池田会長



略歴紹介 瀬戸氏



祝辞 鮫島氏

### 孝市先生 瑞宝双光章受章祝賀会



花束贈呈 西元氏、新村氏



謝辞 西本先生



乾杯の音頭 河野氏



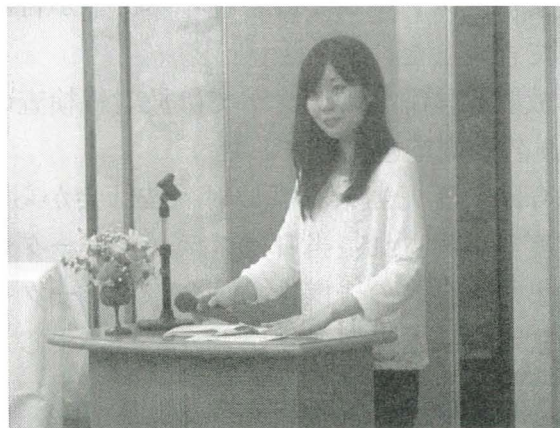
スピーチ 大久保氏



スピーチ 内山先生



万歳三唱 小川氏



祝電披露 司会 今田氏

## 平成27年度リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま参加報告

鹿児島県診療放射線技師会 藤坂 智史

5月9日(土)12時～10日(日)12時まで24時間リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまが開催されました。当日は前夜から降り続いた雨でテントの中は水溜り状態でしたが、防水シートなどで凌ぎながら放射線検査説明パネル、骨密度測定装置などの設置を行ないました。

鹿児島県診療放射線技師会は今年で4度目の参加となり、24時間ウォークリレーにも参加しました。コースを1周回るたびに1円寄付するというルールで23名の放射線技師で襷をつなぎ、291円の募金ことができました。

コースにはがん患者さんや家族が書いたメッセージがルミナリエとしてコースの周りに設置されており、ウォークの途中で読んでみると、がんになった方がどう感じていらっしゃるのか知ることができました。

また、ステージでは各種イベントが行なわれ、がん患者さんの話も聞くこともできました。

放射線技師会のテントでは放射線検査の説明や骨密度測定では73～18歳まで149名の測定を行いました。

今回、鹿児島県診療放射線技師会から藤崎誠理事が実行委員として委員会に何度も出席され、当日はステージリーダーとして取り仕切っておられました。

また、会員の皆様にも募金、ウォークへの参加をいただき、感謝いたしております。本当にありがとうございました。





## 平成27年度 第12回フレッシュャーズセミナー（開催報告）

恒例により、平成27年度の第12回フレッシュャーズセミナーが下記の日程・内容にて開催されました。今回も、公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の共同開催という形をとり、プログラムは、昨年と同様に、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、X線撮影検査講座の内容で開催されました。参加人数は、非会員20名、会員15名、学生1名の計36名の参加数で、各施設の技師長さんのご協力もあり、今年も多くの新人の方に参加してもらえました。

又、今回も、セミナー終了後、軽食を準備し、時間が許す新人さんに残ってもらい簡単な自己紹介など、新人同士の情報交換の場を設けました。自己紹介をそれぞれしてもらい、顔見知りになれたのではと思います。今後、研修会等で顔を見かけたら積極的に話しかけてもらい、同じ職業の診療放射線技師として、同期の新人として、情報交換など親交の発展に繋がったら幸いです。

来年度も開催予定ですので、技師長さんや諸先輩方の新人参加へのご配慮、及び会員のみなさまの参加をよろしくお願い致します。

### 【日程及びプログラム】

日 時：平成27年6月14日（日） 9時～15時30分

場 所：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟2F「第4講義室」

参加費：無料（非会員の方、学生さんも参加大歓迎です）

内容：

① 9時～9時30分 エチケット・マナー講座

技師長 西郷 康正（鹿児島大学病院）

② 9時30分～10時20分 医療安全講座

元 JART 医療安全対策委員会委員長 太田原 美郎（鹿児島市立病院）

《 休 憩 》

③ 10時30分～11時20分 基礎講座「X線撮影」

X線撮影研究会代表世話人 馬場 隆行（今村病院分院）

④ 11時20分～13時 気管支解剖講座

学術担当理事 藤崎 拓郎（鹿児島大学病院）

《 休 憩 》

⑤ 14時～14時50分 感染対策講座

副会長 新村 栄次（今給黎総合病院）

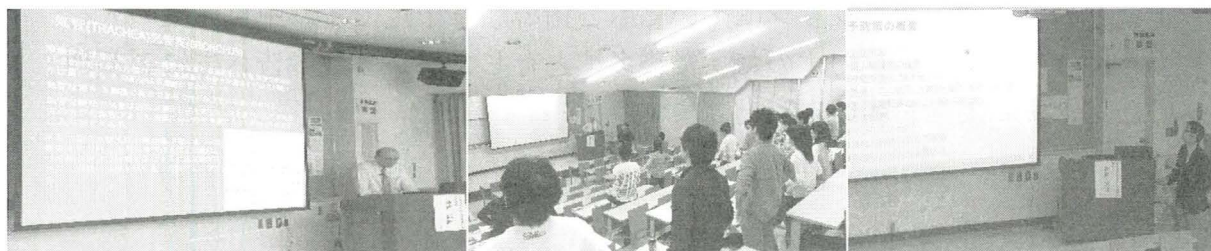
⑥ 14時50分～15時20分 診療放射線技師会活動等の紹介と入会案内

総務理事 藤坂 智史（鹿児島大学病院）

⑦ 15時20分～15時40分

茶話会

【会場風景】



【参加者氏名】

新村 栄次, 太田原 美郎, 松本 俊也, 西郷 康正, 藤崎 拓郎, 松野下 直美,  
馬場 隆行, 坂下 周一郎, 藤坂 智史, 東 幸浩, 横手 保樹, 上野 翔, 荒木 研太,  
生見 直人, 萩原 陽子, 白木 竜之進, 中村 祥悟, 桐木平 直輝, 末永 湧也,  
磯邊 拓哉, 上 幸佑, 小林 晃也, 新名 美咲, 川口 夏実, 石原 健三, 坪口 彩香,  
吉満 亮, 嘉手苺 寿林, 白尾 朱梨, 山下 貴大, 大河平 美月, 寺園 誌穂,  
若松 恭平, 高山 大史, 尾堂 聡, 田中 みゆき

(順不同、敬称略)

## 平成 27 年度リーダー及びリーダー育成研修会

平成 27 年度のリーダー及びリーダー育成研修会は、今年の 3 月に南薩地域研修会の講演会でご好評でしたフリーアナウンサーの中村朋美先生を招聘して研修会を開催します。先の南薩地域研修会では地域の会員のみならず県立薩南病院の医療スタッフの方々も多数参加され大変好評でした。今回はリーダー並びにリーダー候補者のための研修会ですので、医療の場に限らない部下あるいは上司とのコミュニケーションについてもご指導願う予定です。中村先生の人を引き付ける話術も必見ですので、業務多忙と存じますが多数の皆さまにご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 記

日 時：平成 27 年 7 月 18 日（土）15 時～17 時

場 所：鹿児島大学医学部附属病院 第 2 臨床実習室（3F）

参加費：会員：無料 非会員：500 円

その他：駐車場を利用される方は割引きますので駐車券をお持ちください

### 【講演】「管理職に求められるコミュニケーション」

講師：中村 朋美先生（元 KTS アナウンサー）

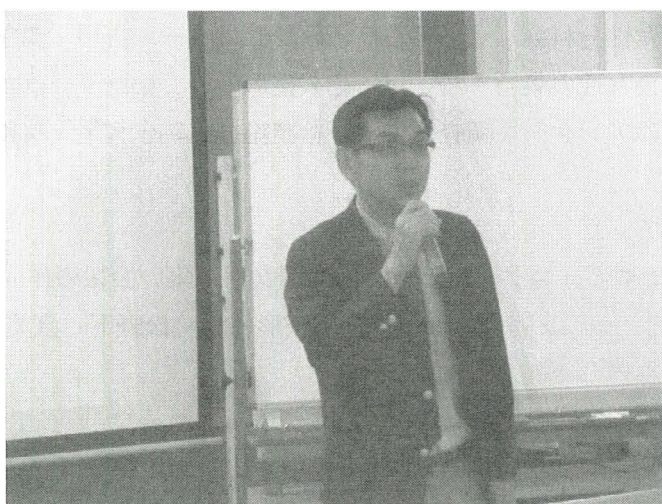
座長：鹿児島県診療放射線技師会副会長 新村 栄次

中村朋美先生プロフィール：10 月 26 日 鹿児島生まれ。KTS 鹿児島テレビ放送アナウンサーとして勤務後フリーとなり、「office 中村朋美」を設立。式典やイベント司会他、観光・医療・食等のフォーラムパネリストやシンポジウムコーディネーターを務める。企業やホテル旅館業・金融や病院でのコミュニケーション力、ビジネスマナーやおもてなしなどについて社員研修を行なう他、大学や就職支援セミナーでの若手人材育成に携わる。

# リーダー研修会



松本 会長



新村 副会長



中村 明美氏

## 第2回 FRT 九州研修会 開催報告

第2回 FRT 九州研修会大会長 丸尾 美由紀

平成27年8月1日(土)鹿児島商工会議所アイムビル4階アイムホールにて第2回 FRT九州研修会を開催致しました。

参加者は、総数146名(会員114名、非会員1名、学生18名、一般13名)でした。また、日本診療放射線技師会中澤会長をはじめ、九州地域6県の県技師会会長等の参加も頂き、盛会裏に終えることができ、深く感謝いたします。

### [開催内容]

#### 1. 女性の会活動について

##### 1-1 診療放射線技師女性会の活動紹介

- 岐阜県診療放射線技師会女性分科会      ぎふ総合健診センター 吉川 典子先生
- 鹿児島県診療放射線技師会女性の集い      徳久整形外科 松野下 直美
- 全国の女性技師の会活動のアンケート調査報告      今給黎総合病院 丸尾 美由紀

##### 1-2 質疑応答(討論会 15分)

#### 2. コミュニケーション術について

「ホームパブリッシング:Wordでコミュニケーション!~南薩女性の集い会報の作成 Word わざ~」      徳久整形外科 松野下 直美

#### 3. リフレッシュタイム

「ブレイクタイム.美脳イメトレ.筋膜ケアで頭スッキリ!」

県民総合保健センター健康運動指導士 黒木 晶子先生

#### 4. 基礎講座

「自称 日本一わかりやすいMRIの基本」

今給黎総合病院 浮田 啓一郎先生

「1-1 岐阜県診療放射線技師会女性分科会の活動紹介」では、岐阜県での立ち上げから現在までの7年間の活動を講演頂き、他県の活動が知ることができて良かったという意見が多くありました。

その後の討論会では吉川講師、松野下代表(FRT九州)、松本会長(鹿児島県診療放射線技師会)、橋本理事(JART)、私の5名でシンポジストとして壇上に上がりました。福岡県の中原技師ほか、活発な意見も出て盛り上がり、もう少し時間を多く取っても良かったのでは、という意見もあり反省するところでした。

「2. コミュニケーション術」では、松野下代表が南薩女性放射線技師の集いの会報を作る際のWordわざ、テクニックについての講演を行い、知らないわざが、たくさんあり面白か

った、レポートを作成する際に役立つとの学生の感想もありました。

「3. リフレッシュタイム」では、筋膜ケア方法を実際に体験しながら教えて頂き、心も体も会場の雰囲気も和らぎ、プログラムに組んで本当に良かったと嬉しく思いました。

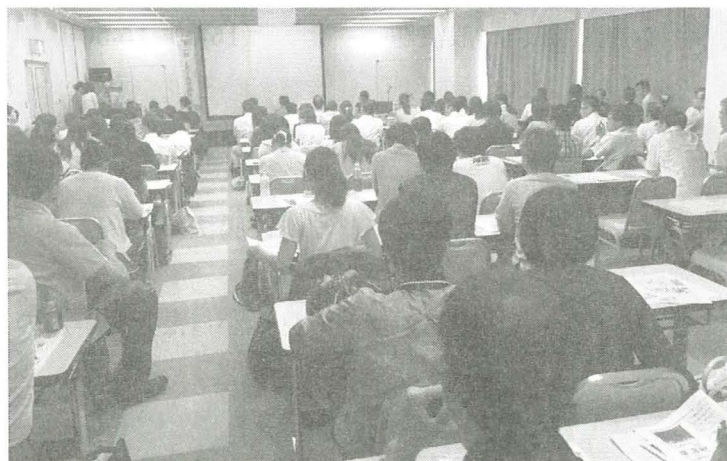
「4. 基礎講座:自称日本一わかりやすいMRIの基本」では、学生も18名の参加があり講演中、メモを取る等、熱心に聴いており、MRIの基礎は難しいものですが、本当に分かりやすく教えて頂きました。

今回の研修会は、参加者も多く、内容も高評価を得る事ができ、盛会に終わる事が出来ました。このように、たくさんの方に参加頂けたのは、広報の努力もさることながら、なにより講師の先生方のお陰だと思えます。ありがとうございました。

次回は長崎県が企画し、開催場所は佐賀県で行う予定です。

最後になりましたが、今回、会場施設の都合とはいえ、会場が急に変更になり、ご迷惑おかけしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

[研修会風景]



# 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 第14回鹿児島地域研修会終了報告

日時：平成27年2月7日 土曜日 14:50~17:40  
場所：公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 アネックス I  
〒892-8512 鹿児島県鹿児島市長田町14-3

- I、会長挨拶 (14:50~15:00)  
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
池田 睦 会長
- II、一般演題 (15:00~15:50)
- 座長 公益社団法人鹿児島共済会  
南風病院 井ノ上 祐二 技師
- 1.高濃度バリウム注腸法の試み 鹿児島生協病院 隈元満広技師
  - 2.腹部エコーで見つかった大腸がんの1例  
公益財団法人慈愛会 今村病院  
画像診断センター 岩下昌平 技師
  - 3.脛骨疲労性骨膜炎における超音波検査の有用性  
学校法人原田学園  
鹿児島医療技術専門学校  
有菌良一 技師
  - 4.拡散強調画像の有用性の検討：肝細胞癌切除症例による比較  
鹿児島厚生連病院 中央検査室  
梶 祐幸 技師
  - 5.SEMAR を用いた画像における基礎的検討  
鹿児島大学病院 臨床技術部  
放射線部門 田中嵩人 技師

Ⅲ、教育講演 (16:00~16:30)

座長 鹿児島大学医学部歯学部病院  
臨床技術部 放射線部門  
岩永 崇 技師

『GE社 MRI最新情報 (RSNA報告中心に) 』

演者 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

MRプロダクトマーケティング 貝原 雄 氏

Ⅳ、特別講演 (16:30~17:30)

座長 鹿児島厚生連病院  
石山 重行 技師

『野呂圭介のどっきり人生 』

演者 野呂 圭介 氏

- ※ 放射線技師会会員及び学生以外の非技師会会員の方には、会場整理費として500円を徴収させていただきます。御理解と御協力の程、宜しくお願いします。
- ※ 当日は生涯学習実績ポイントが付きます。

## 平成26年度第14回鹿児島地域研修会報告

今村病院

上釜 健作

平成27年2月7日(土)南風病院 ANNEX Iにて、第14回鹿児島地域研修会が開催されました。会員、非会員合わせ、48名の参加となりました。会長挨拶では、県技師会の新村副会が26年度の診療放射線技師法の一部改正と業務拡大について話されたあと、技師法と現状との見解の相違を指摘し、今後は、時代に合った技師法の改正とさらなる業務拡大に取り組んでいくという全国の流れについて説明がありました。

会員発表では5施設から演題の発表がありました。鹿児島生協病院からは『高濃度バリウム注腸法の試み』と題して、憩室からの出血を止血する目的で憩室内にバリウムを充満させる検査法が報告されました。会場内の他施設では経験したことのない検査法でしたので、大変興味深い内容となりました。今村病院からは『腹部エコーで見つかった大腸がんの1例』として、ファーストチョイスの腹部エコーで病変を見つけたことで、術前までスムーズに病変をターゲットにした検査が可能であったと報告がありました。鹿児島医療技術専門学校からは『脛骨疲労性骨膜炎における超音波検査の有用性』について検討したもので、超音波検査で骨膜炎を描出可能かという予備実験から始まり、罹患歴ありなしの被験者を通して骨膜炎の描出に有意差を認めたとの報告でありました。学生が検討した内容でしたが、臨床でも非常に参考になると思われました。鹿児島厚生連病院からは『拡散強調画像の有用性の検討：肝細胞癌切除症例による比較』について報告がありました。多くの症例を基に詳細な検討をされたもので、拡散強調画像では肝実質の辺縁部分の描出能が低下するとの内容でした。鹿児島大学病院からは『SEMARを用いた画像における基礎的検討』が報告され、提示された画像に驚きの声が上がりました。体内金属のアーチファクトが大幅に低減されており、今後はAIDR3Dとの併用で被ばく低減の検討もしていくとのことでした。

教育講演はGEヘルスケア・ジャパン株式会社の貝原雄先生より『GE社MRI最新情報(RSNA報告を中心に)』講義をいただきました。無音技術 Silent Scan の原理と最新技術 MAGIC の内容を中心に、動画を交えて説明がありました。最新技術 MAGIC は、1回の撮影後に(マウスでウィンドウレベルを変えるように)TR、TE、TIを変えることで、T1WI、T2WI、T1 FLAIR、T2 FLAIR、PDWIが描出されるというものでした。

特別講演は1970年から19年間放送された「どっきりカメラ」プラカード役でおなじみの野呂圭介先生より『野呂圭介のどっきり人生』と題して講演をいただきました。今年82歳になられる先生ですが、とても元気で、ユーモアに溢れていました。講演中もいたるところに冗談を織り交ぜながら、聞いている方も全く飽きのこない、先生の話に引き込まれるような、そんな不思議な魅力のある講演でした。中学2年に山形屋の映画館に行ったのがきっかけで俳優を目指したこと、中学・高校で演劇部を作ったこと、高校卒業後ひとりで東京に行き、さまざまな人との出会いで俳優になったこと、陶(灯)芸家になったいきさつ、癌になり鹿児島に帰ってきたこと、など、豊富な人生体験を語っていただきました。その中で、石原裕次郎氏や坂上次郎氏など、有名人の名前が何人も挙がってきたことに驚きました。現在は陶(灯)芸家として活動しており、温かみのある非常に魅力的な陶器を作成し、個展を開いたりもしています。また、癌春組(がんばるぐみ)と題して、癌を体験された方を集め、積極的にコミュニケーションの場を設けるなど、様々なところで活躍されています。講演の最後は「左の道行っとったら、あんたに会えなかったか

も知れん。右の道行け言ったらば、誰やったんやろ。ありがとう。」という言葉で締め、人々との出会いとタイミングが重要とおっしゃっていました。非常に元気な先生で、聞いている方も元気をもらったような気がしました。

最後に、平成26年度第14回鹿児島地域研修会も多数の参加をいただき無事終わることができました。この場を借りて参加いただいた会員の皆様にお礼申し上げます。鹿児島県におきましても、各モダリティの勉強会、研究会が発足し、会員の皆様には情報提供の場が増え、大変有意義なことであります。その中でもより多くの会員様に参加いただける鹿児島地域研修会として頑張っていきたいと、地域理事をはじめ世話人ともども頑張っていく所存です。今後とも会員の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 第14回 鹿児島地域研修会参加者名簿

会員番号	施設名	氏名
45990	ヲサメ内科クリニック	シモゾノ ダイスケ
20786	今給黎総合病院	シンムラ エイジ
52401	鹿児島大学病院	イワナガ タカシ
56205	今村病院	イワシタ ショウヘイ
55202	南風病院	キムラ ケイスケ
28813	鹿児島生協病院	トビマツ コウイチロウ
26098	鹿児島大学病院	フジサキ タクロウ
56026	南風病院	ウワトコ タツヤ
49651	鹿児島厚生連病院	ホヤマ カズアキ
61123	今村病院分院	ヤザキ コウヘイ
43524	南風病院	フチワキ タカシ
28819	今村病院	カワバタ トシフミ
29177	林内科胃腸科病院	ヤマグチ トシヒロ
54202	厚生連健康管理センター	ツネヨシ マサヤ
61124	厚生連健康管理センター	タカハシ タクマ
31043	鹿児島生協病院	クマモト ミツヒロ
34995	厚生連健康管理センター	ハラグチ マコト
56070	今村病院	クロキ トシエ
26838	鹿児島大学病院	サイゴウ ヤスマサ
48723	鹿児島厚生連病院	カコイ ヒロユキ
22363	鹿児島厚生連病院	イシヤマ シゲユキ
49182	鹿児島生協病院	サルワタリ ユウキ
52147	鹿児島医療センター	マスイ ヒサト
42352	今村病院 分院	メグミ トモノリ
49184	今村病院	カミガマ ケンサク
40516	鹿児島大学病院	サカシタ シュウイチロウ
43023	鹿児島厚生連病院	ナカシマ サオリ
41248	南風病院	フジサキ マコト
60123	鹿児島大学病院	タナカ タカト
35101	菊野病院	ノナカ ヤスヒロ
50613	鹿児島逡信病院	ニイドメ ヒサシ
32929	南風病院	イノウエ ユウジ
53660	鹿児島医療技術専門学校	ヒガシ ユキヒロ
27458	鹿児島市立病院	ニシモト タツヤ
54435	鹿児島大学病院	ハヤシ ムツカズ
32935	鹿児島医療技術専門学校	アリゾノ リョウイチ
20787	今給黎総合病院	ムロヤ ジュンイチ
18216	吉田温泉病院	タケモト ノブヒデ
59311	南風病院	ゴウダバシ ツカサ
55897	鹿児島厚生連病院	ウメキタ ヨウヘイ
57492	南風病院	モチドメ コウスケ
55649	南風病院	カミカワ トモヒロ
45831	今給黎総合病院	マルオ ミユキ
57447	南風病院	ヤナガワ アヤミ

非会員	
鹿児島生協病院	アリキ ジュン
今村病院	トクナガ ミク
鹿児島逡信病院	マエダ ケイスケ
今村病院	カンマイ ユウスケ

会員 44名 非会員 4名

## 平成27年28年度鹿児島地域世話人名簿

	役職	名前	会員番号	所属病院名	所属部署	職歴	連絡先
1	鹿児島地域 理事	坂下 周一郎	40516	鹿児島大学医学部歯学 部臨床技術部放射線部 門・主任	CT	19年	099-275-5664
2	世話人代表	隈元 満広	31043	谷山生協クリニック・技師 長	放射線室	37年	099-210-221
3	学術担当	井ノ上 祐二	32929	公益社団法人鹿児島共 済会南風病院 医療技術 部放射線技術科 副技師 長	一般撮影	26年	099-226-911
4	学術担当	新 留 寿	50613	鹿児島医療技術専門学 校 診療放射線技術学科 専任教員	診療放射 線技術学 科 専任教 員	18年	099-261-6161
5	学術担当	浅井 愛邦	53881	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	MRI	9年	099-251-2221
6	広報担当	熊野 純泰	32322	独立行政法人 国立病院 機構 鹿児島医療セン ター	血管撮影 室	26年	099-223-1151
7	広報担当	下園 大介	45990	ヲサメ内科クリニック		14年	099-250-7767
8	広報担当	上釜 健作	49184	公益財団法人慈愛会今 村病院 副主任	画像診断 センター	14年	099-226-2600
9	総務担当	中島 さおり	43023	鹿児島厚生連病院 中央 検査室 画像技術	中央検査 室 画像技 術科	18年	099-252-2228 (131)
10	総務担当	梶 祐幸	48723	鹿児島厚生連病院・主査	中央検査 室 画像技 術科	14年	099-252-2228
11	監事	石山 重行	22363	鹿児島厚生連病院 中央 検査室 専門考査役	中央検査 室 画像技 術科	35年	099-252-2228 (131)

## 第30回 南薩地域研修会 終了報告

平成27年3月13日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

南薩地域理事 野中 康博

平成27年3月7日(土)、南さつま市の県立薩南病院で第30回研修会が行われましたので報告します。今回は30回目の節目ということで記念講演を企画、元KTSアナウンサー中村朋美先生を講師に招き、有意義な研修会となりました。

### 1. 開催日

開催日：平成27年3月7日(土)

時間：15時～18時30分

会場：県立薩南病院 2階 会議室

### 2. 研修会

#### 【1】開会挨拶

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 地域理事 野中 康博 (菊野病院)

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦 (鹿大付属病院)

#### 【2】記念講演

「医療機関でのコミュニケーション

～患者様とご家族へ寄り添う対応力～」

オフィス中村朋美 中村朋美先生

#### 【3】施設紹介

①県立薩南病院 (南さつま市加世田)

②じんごあん整形外科内科クリニック (日置市伊集院)

#### 【4】メーカー講演

「遠隔画像診断支援サービスのご紹介」

株式会社ネットホスピタル 営業・業務担当取締役 木戸 英明 様

#### 【5】伝達事項

※県、地域、研究会、女性技師会から伝達がありました。

#### 【6】閉会挨拶

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域世話人 長野 勝悟 (馬場病院)

### 3. 情報交換会

時 間：18時45分～22時15分

会 場：「だいやめ処・なかむら」（南さつま市加世田本町）※会費制にて14名参加

### 4. 研修会出席者 = 48名（うち非会員2）

#### 【技 師】★は非会員

じんごあんクリニック	1	川西義浩
菊野病院	1	野中康博
指宿浩然会病院	1	國生岳志
県立薩南病院	3	久保展弘、久保ゆかり、児玉公輝
サソリジョン病院	2	前迫秀利、吉崎早紀
唐仁原内科クリニック	1	江平俊雄
立神リハ温泉病院	1	白澤清英
小原病院	1	浦郷みゆき★
ウェルフェア九州病院	1	前床寿隆
加世田病院	1	濱田 耕
馬場病院	3	長野勝悟、橘木宏幸★
久木田整形外科病院	1	園田実郎
尾辻病院	1	松永昭一
徳久整形外科	1	松野下直美
鹿大付属病院	3	池田 睦(会長)、藤坂智史(理事)、藤崎拓郎(理事)
今給黎総合病院	1	新村栄次(副会長)
南風病院	1	藤崎 誠(理事)

#### 【メーカー】

島津製作所	2	徳村紀彦、菅村直樹
日立メディコ	1	木時 綾
ネットホスピタル	2	木戸英明(講師)、屋形綾市
翔 薬	2	中村周二、寺園伸一郎
ユニカミノルタ	1	佐藤暢紀
東 芝	1	藤原義信
富士フィルムメディカル	1	松下靖彦
シーメンス	1	立石健太

#### 【記念講演講師】

オフィス中村朋美	1	中村朋美（元K T Sアナウンサー）
----------	---	--------------------

#### 【部 外 者】

県立薩南病院関係者 13 事務次長様、総師長様、副総師長様 ほか

## 6. 総括

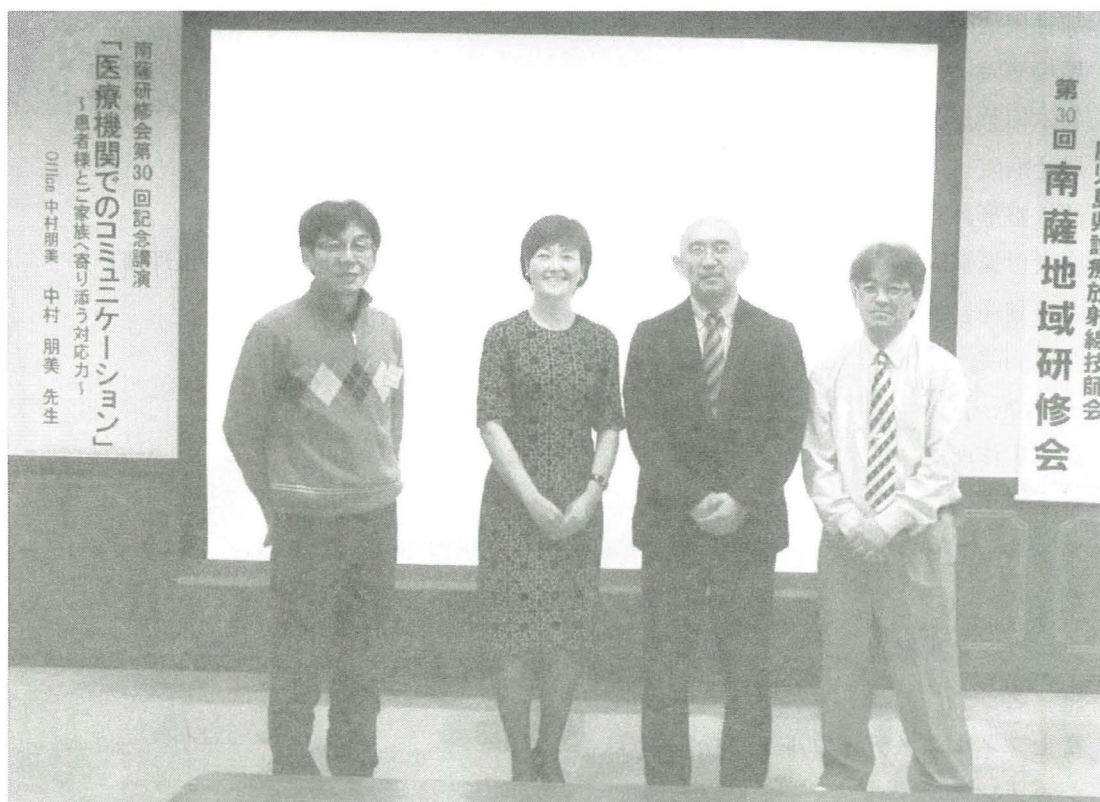
### ■理事 野中康博（菊野病院）

南薩研修会30回目の節目にあたり、元KTSアナウンサー中村朋美先生を講師にお迎えし、記念講演を企画いたしました。南薩地域としては研修会において外部講師による講演経験が乏しく、実現に至るまでには苦労もありましたが、関係する皆様の支えと協力により盛況のうちに終了できました。

記念講演を快く引き受けてくださった「オフィス中村朋美」中村朋美先生は元KTSアナウンサー、現在は式典やイベントの司会、トークショー、接遇・マナー・コミュニケーション術の講演会などで活躍のほか、非常勤講師として大学でもご指導されています。

日ごろ患者様と接する機会の多い我々放射線技師にとって、ひとつの言葉や表情が大きな影響力を与えること、通信手段が便利になった昨今、意外と身近なところに落とし穴が潜んでいること、クレームにも幾つか種類があり、それぞれに対応力が必要なこと、実演もあり貴重な講演をいただくことができました。今後の業務に活かせるよう、努めたいと思います。

尚、会場である県立薩南病院から事務次長様はじめ多くの方々が出席いただきましたこと、感謝いたします。



▲記念講演後の写真。(左から) 新村副会長、中村先生、池田会長、野中理事。

(平成27年3月13日まとめ)

# 平成 27 年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会終了報告

## 1. 日程

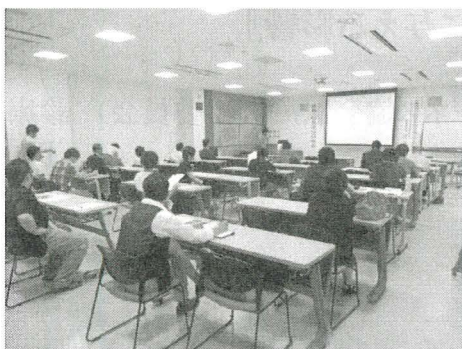
開催日：平成 27 年 7 月 25 日 (土)

時間：15:30 ~ 17:30

会場：南九州病院 大会議室

## 2. 会内容

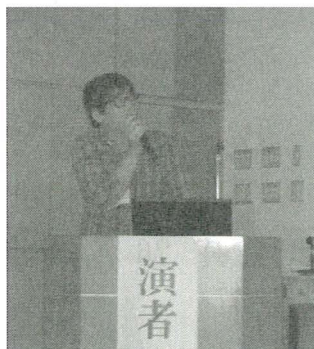
【I】開会挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 松本 俊也



【II】一般演題 座長 霧島市立医師会医療センター 佐々木 崇

1. 『診断参考レベル(DRLs)2015を念頭においた当院の一般撮影・CT撮影の条件について』  
医療法人 七徳会 大井病院 愛下 剛

2. 『大規模災害時(地震)において減災に向けた取組』  
国立病院機構 鹿児島医療センター 山下 一也



【Ⅲ】施設紹介

1.医療法人 美崎会 国分中央病院

藤崎 基

2.独立行政法人国立病院機構 南九州病院

市川 和幸



Ⅳ. 教育講演

座長 霧島市立医師会医療センター 平賀 真雄

『診療報酬の画像診断機器市場に与える影響』

EBC(欧州ビジネス協会医療機器委員会) 診療報酬部会長  
田中 良一先生



Ⅴ. ディスカッション

3. 出席者 34名

《内訳》 JART 会員 26名 非会員 8名

#### 4.総評

一般演題2演題、施設紹介2施設、教育講演として欧州ビジネス協会医療機器委員会・診療報酬部会長であられる田中 良一先生をお迎えし『診療報酬の画像診断機器市場に与える影響』と題しご講演頂きました。

教育講演においては、厚生労働省の示した『保健医療2035』という提言書をキーワードに2014年の診療報酬改定についてと2025年問題を含めたこれからの保険診療の将来についての考えをお聞きすることが出来ました。我々、診療放射線技師も他人ごとではなく、それぞれの病院がどのように進んでいくべきかを考える良いきっかけになったのではないかと思います。

#### 次回の霧島始良地域研修会(予定)

(冬季)平成 28 年 1 月 30 日(土)

場所:霧島市立医師会医療センター

- 一般演題 ○施設紹介
- 講師を招いた特別講演

## 第2回 鹿児島乳腺画像研究会の報告

### 特別講演

#### 「症例から学ぶ乳腺超音波画像」

大垣市民病院 川地 俊明 先生

平成27年3月27日(金)に、第2回鹿児島乳腺画像研究会を開催いたしました。この回は、放射線技師はもちろん、我々以外のさまざまな職種に参加してもらう目的で、発足しました。今回、参加人数は、45名で、そのうち、外科医2名、臨床検査技師7名と大盛況でした。参加して下さった、会員の皆様ありがとうございました。

さて、乳腺疾患の画像診断において、マンモグラフィ同様、乳がんを診断する重要なモダリティである、乳腺超音波にスポットをあてました。

以前より、超音波検査の勉強会を開催したかったので、今回は、非常に楽しみにしていました。講師を選定するなかで、いろいろ悩みましたが、実際、病院見学に行き、生の仕事ぶりを拝見してから、決めました。

今回、講師に選びました、大垣市民病院の川地 俊明先生は、乳腺超音波の著書を書かれたこともあり、消化器科領域などでも有名な方で、懇親会に参加させてくれませんか、参加者から依頼が殺到した方です。先生のスケジュールを調整していました関係上、年度末開催となり、会員の皆様には、ご迷惑をおかけしました。すみませんでした。バングラデッシュに超音波を教えにいくということで、2月の渡航がキャンセルになり、今月15日間のミッションを終了し、無事帰国されたようです。

講演内容は、さまざまな症例から超音波の画像を提示していただき、マンモグラフィとの比較、MRIとの比較など、いろんな切り口から、乳腺疾患に対して診断価値の高い画像提供の重要性を講演していただきました。また、超音波の話の途中で、大垣市民病院での新人教育、超音波検査への取り組み、当直体制など、病院組織の内容も講演頂きました。1日外来患者数2,350人、病床数903床の不動の黒字経営病院を徹底解剖してみたかったです。放射線技師48名は、全員、読影レポートを作成しています。MMG、USだけでなく、PET、RI、CT、MRI、透視造影、アンギオ検査など、全ての領域において、レポートシステムを完成させています。厚生労働省から通告があったように、読影補助は、我々がこれから取り組むべき最大のミッションだと思っています。すでに、読影補助を確立している施設なので、今回鹿児島に呼びました。

乳腺超音波は、これから、我々放射線技師にも重要な領域でもあると思います。私は、非常に勉強になりました。

今年も、企画計画中です。ぜひ、参加してください。

鹿児島市立病院 隈 浩司

また、研究会では、ご意見をお待ちしています。今後の運営方法や、研究会の案内方法など、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

E-mail: [kuma\\_kch@yahoo.co.jp](mailto:kuma_kch@yahoo.co.jp)

## 『第7回鹿児島超音波研究会報告』

鹿児島超音波研究会  
霧島市立医師会医療センター 塩屋晋吾

平成27年6月12日(金)に第7回鹿児島県放射線技師会超音波研究会を鹿児島厚生連病院で開催した。今回は肝臓の形態評価をメインテーマに企画した。

参加者は35名(JART会員24名・非会員11名)で毎回参加されている方や今回初めて参加される方まで様々であった。

内容としては、まず線維化変化を中心とした基本的な肝形態評価に纏わるレクチャーが行われた。肝炎発症から肝硬変に移行する過程は20～30年の長い年月を経て進行することは周知されているがそれを超音波でどのような点を留意して診ていくのか、またどのような表現で記載するのかといった内容であった。

その後に症例画像の所見の捉え方に関するディスカッションが行われた。肝臓の左葉と右葉のキー画像を提示し司会者が会場の参加者を指名して読影してもらい会場でディスカッションする形式であった。チェックポイントは肝臓のエッジ、表面、実質内部エコーの状態の3点に絞り行った。やはり形態の評価は捉え方が人により様々で多種多様の意見があり、予め30例問題を準備していたが90分で3例しかできない程ディスカッションは大盛況であった。

日常の検査で肝形態に関しここまで深く考察する機会はありません新鮮な内容であった。肝形態評価は基本的に「正解」はない。だからこそ経験年数に関わらず様々な捉え方があり、またしっかり捉えるためには的確な描出が必要となる。今回は肝形態評価をメインテーマとしたが、それだけでなくそこから超音波検査に必要となる点を自分自身が幾つも学ぶことができた。

今回の研究会で肝形態評価に関する引き出しが一つでも増えたと思ってもらえたなら幸いである。

今後も少しでも参加者のニーズに応えられるような研究会を企画していきたい。

第94回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 定時総会議事録

- ・日時：平成27年6月21日（日）11:00～12:30
- ・会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟5階 503講義室

総会次第

- 1・開会の辞
- 2・会長挨拶
- 3・表彰
- 4・資格審査
- 5・議長団選出
- 6・議事録署名人選出
- 7・議事
  - 議案第1号  
平成26年度事業報告に関する件
  - 議案第2号  
平成26年度決算報告に関する件
  - 議案第3号  
平成26年度監査報告に関する件
  - 議案第4号  
平成27年度事業計画案に関する件
  - 議案第5号  
平成27年度収支予算案に関する件
  - 議案第6号  
役員選挙に関する件
  - 議案第7号  
その他
- 8・議長団解任
- 9・その他
- 10・閉会の辞

出席

理事	池田睦 新村栄次 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二
	原口 誠 平田 勝 佐藤洋一 藤坂智史 坂下周一郎 岡野三男
	平賀真雄 島児末治 田畑一文 野中康博
監事	西元広男 鮫嶋宗俊
議長	児玉公輝 萩原純久
選挙管理委員	永田隆二

・正会員数 458名（平成27年6月21日 現在）

・出席会員数 53名 委任状数 247名 合計 300名

総会開始

1. 開会の辞

新村栄次副会長による第94回定時総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

池田睦会長より挨拶。平成27年4月から開始の診療放射線技師拡大業務についての説明と講習会受講について。また、理事任期満了につき新定款に沿って選挙がおこなわれること。診療放射線技師の待遇改善、更なる業務拡大のため、次回の参議院選への診療放射線技師立候補時のお願い。

3. 表彰

西元広男外部監事が任期満了により退任になった。

今回の選挙には立候補されないということで、長年当会のためご尽力くださった西元広男外部幹監事に池田会長より感謝状が手渡された。

4. 資格審査

藤坂智史総務理事より正会員数458名（平成27年6月21日現在）のうち300名（書面表決者247名を含む）が出席し総会が成立する旨の報告が行われた。

5. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に県立薩南病院の児玉公輝氏、副議長に鹿児島厚生連病院の萩原純久氏を推薦し、満場一致で選出された。

議長団登壇

6. 議事録署名人選出

藤坂智史総務理事より公益社団法人移行後の新定款の31条に沿って議長及び出席した理事をもって議事録署名人とする説明が行われた。

7. 議事

正議長：議事録署名人を議長及び出席した理事として早速審議に入ります。

時間の関係上、議事議案第1号から議事議案第3号まで続けて説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいりたいと思います。

正議長：議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

議事議案第1号 平成26年度会務報告について

池田睦会長より平成26年度事業報告の総括が述べられた。

藤坂智史総務理事より別冊配布した総会資料により事業報告の説明がなされた。

正議長：議案第2号、平成26年度決算報告に関する件について説明をお願いします。

議事議案第2号 平成26年度決算報告について中島祐二財務理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。

正議長：議案第2号、平成26年度決算報告に関する件について説明をお願いします。

議事議案第3号 監査報告について鮫嶋宗俊監事、西本広男監事より別紙配布資料監査結果について、会務執行は的確に行われている。事業については順調に執行運営されている。会計処理は間違いなく処理されている。その他特に指摘すべき事項は認められないとの報告があった。

議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

正議長：会場より質問はないですか？

石山氏：減価償却費は何ですか？

中島祐二：事務所の維持費にかかる費用です。

石山氏：もう一つお伺いします。管理費の中の諸謝金はなんですか？

中島祐二：監査のために公認会計士さんに支払った謝礼です。

正議長：他に会場より質問はないですか？

正議長：他にないようですので、採決に入りたいと思います。

採決は挙手にて 反対、 保留、 賛成 の順に行います。

議案第1号 平成26年度事業報告対して反対の方の挙手をお願いします。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第1号 平成26年度事業報告は承認されました。

続きまして、議案第2号 平成26年度決算報告対して反对方の挙手をお願いします。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第2号 平成26年度決算報告  
貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の付属明  
細書、財産目録は承認されました。

続きまして、議案第3号 平成26年度監査報告対して反対の方の挙手をお願いします。

0名

保留の方の挙手をお願いします。

0名

賛成の方の挙手をお願いします。

全員挙手

賛成の方の挙手多数により議案第3号 平成26年度監査報告は承認されました。

正議長：これで議案第1号から議案第3号までの審議を終了します。

議長交代

副議長：議事議案第4号、議事議案第5号の審議に入ります。

議事議案第4号、議事議案第5号の説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいい  
たいと思います。

副議長：議案第4号、平成27年度事業計画案に関する件について執行部の方から  
報告をお願いします。

池田睦会長より平成27年度事業計画案が述べられた。

副議長：議案第5号、平成27年度収支予算案に関する件について財務理事より報告  
をお願いします。

中島祐二財務理事より別冊配布した総会資料により平成27年度収支予算案の説明がなされた。

副議長：議事議案第4号、議事議案第5号の説明が終わりましたので、質疑応答に入ります。なお、発言される方は挙手で所属と名前を名乗ってからお願います。

質疑応答なし

副議長：質問はないでしょうか。  
ないようですので、採決に入りたいと思います。

議案第4号 平成26年度事業計画案対して反対の方の挙手をお願いします。  
0名  
保留の方の挙手をお願いします。  
0名  
賛成の方の挙手をお願いします。  
全員挙手  
賛成の方の挙手多数により議案第4号 平成26年度事業計画案は承認されました。

続きまして、議案第5号 平成27年度収支予算案対して反対の方の挙手をお願いします。  
0名  
保留の方の挙手をお願いします。  
0名  
賛成の方の挙手をお願いします。  
全員挙手  
賛成の方の挙手多数により議案第5号 平成27年度収支予算案は承認されました。

#### 4) 議事議案第6号 役員選挙に関する件について

副議長：議案第6号、役員選挙に関する件について会長より役員選挙規定について説明をお願いします。

会長：本年度は役員選挙の年度となっており、理事・監事の交代がありますので鹿児島県診療放射線技師会役員選挙規程に則り立候補並びに推薦の受付を行った。鹿児島県診療放射線技師会定款第14条第1項の理事・監事の定数に従い選挙を行います。詳細は選挙管理委員会より説明してもらいます。

副議長：役員選挙について会場からご意見がありますか？

副議長：ないようですので選挙管理委員より選挙について報告をお願いします。

選挙管理委員：選挙管理委員長永田隆二です。

公益社団法人鹿児島県放射線技師会役員選挙結果を報告します。

平成27年5月28日付の鹿児島県診療放射線技師会ニュースに平成27年役員選挙の告示を掲示しました。理事定数20名(うち6名は地域理事)、監事定数2名です。

平成27年6月11日午後5時までに立候補・推薦あわせて理事18名 監事2名の届け出がありました。

候補者が役員定数を超えませんでしたので、公益社団法人・鹿児島県診療放射線技師会の役員選挙規程第10条の無投票当選に該当しました。よって平成27年6月22日の鹿児島県診療放射線技師会総会にて理事18名、監事2名を当選者としました。

当選者を届け出順に読み上げます

理事 平賀真雄 藤崎誠 島見末治 佐藤洋一 藤坂智史 太田原美郎  
渡邊義治 吉村洋一 松本俊也 新村栄次 西憲文 松野下直美  
藤崎拓郎 中島祐二 坂下周一郎 岡野三男 田畑一文 野中康博  
監事 池田睦 宮寄信

以上 報告いたします。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会選挙管理委員会委員長 永田隆二

副議長：只今報告がありました、役員選挙に関しましてご意見ありますか。

副議長：ないようですので採決に入ります。

それでは、定款29条第3項に沿って各候補者ごとに決議にはいります。

平賀真雄さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により平賀真雄さんの当選は承認されました。

藤崎誠さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により藤崎誠さんの当選は承認されました。

島見末治さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により島見末治さんの当選は承認されました。

佐藤洋一さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により佐藤洋一さんの当選は承認されました。

藤坂智史さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により藤坂智史さんの当選は承認されました。

太田原美郎さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により太田原美郎さんの当選は承認されました。

渡邊義治さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により渡邊義治さんの当選は承認されました。

吉村洋一さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により吉村洋一さんの当選は承認されました。

松本俊也さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により松本俊也さんの当選は承認されました。

新村栄次さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により新村栄次さんの当選は承認されました。

西憲文さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により西憲文さんの当選は承認されました。

松野下直美さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により松野下直美さんの当選は承認されました。

藤崎拓郎さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により藤崎拓郎さんの当選は承認されました。

中島祐二さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により中島祐二さんの当選は承認されました。

坂下周一郎さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により坂下周一郎さんの当選は承認されました。

岡野三男さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により岡野三男さんの当選は承認されました。

田畑一文さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により田畑一文さんの当選は承認されました。

野中康博さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により野中康博さんの当選は承認されました。

池田睦さんの監事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により池田睦さんの当選は承認されました。

宮寄信さんの監事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により宮寄信さん当選は承認されました。

副議長：以上をもちまして、議案第6号の審議を終了します。

以上により議事議案第6号は承認された。

被選任者は即時就任を承諾した。

副議長：続いて議案第7号の その他 に入ります。

執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

副議長：ないようですので、これで議案第7号その他を終了します。

## 8. 議長団退席

副議長：以上を持ちまして議案第1号から議事議案第7号までの審議を終わり、私たちの議長の責を退かせて戴きます。会場の皆様のご協力ありがとうございました。

## 9. その他

池田会長より議事に協力していただいた会員へのお礼の言葉があった。

## 10. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、新村栄次副会長により閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第31条2項に沿って、議長及び出席した理事が記名押印する。

平成27年6月25日

正 義 長	児玉 公輝		
副 議 長	萩原 純久		
理 事	池田 睦	新村 栄次	
	大久保 光男	藤崎 拓郎	石本 裕二
	中島 祐二	原口 誠	平田 勝
	佐藤 洋一	藤坂 智史	瀬戸 和人
	齊藤 二郎	藤崎 誠	坂下 周一郎
	岡野 三男	平賀 真雄	島児 未治
	野中 康博	田畑 一文	

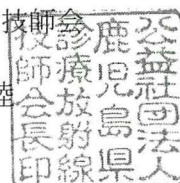
議事録作成 藤坂 智史

この議事録は原本と相違ありません

平成27年6月25日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 池 田 睦





松本新会長



池田前会長



新役員



理事・監事



会場より

第94回  
公益社団法人  
鹿児島県診療放射線技師会

定時総会資料



日時：平成27年6月21日（日）11:00～12:30

会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟

5階503講義室

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 目 次

総会次第

平成26年度活動報告総括

平成26年度事業報告

平成26年度収支計算報告

貸借対照表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財務諸表に対する注記

平成26年度監査報告書

平成27年度事業計画

平成27年度収支予算書

# 総会次第

- 1・開会の辞
- 2・会長挨拶
- 3・表彰
- 4・資格審査
- 5・議長団選出
- 6・議事録署名人選出
- 7・議事
  - 議案第1号  
平成26年度事業報告に関する件
  - 議案第2号  
平成26年度決算報告に関する件
  - 議案第3号  
平成26年度監査報告に関する件
  - 議案第4号  
平成27年度事業計画案に関する件
  - 議案第5号  
平成27年度収支予算案に関する件
  - 議案第6号  
役員選挙に関する件
  - 議案第7号  
その他
- 8・議長団解任
- 9・その他
- 10・閉会の辞

## 平成26年度決算総会事業報告

### 総括

平成26年度も前年度と同様に本会の目的である会員の職業倫理を高揚する事業と共に、診療放射線の安全管理に関する知識の普及啓発並びに診療放射線技師の資質の向上を図り、地域医療の振興と県民の健康増進に寄与する事業を行った。

平成26年度は公益社団法人2年目に当たり、前年度と同様に公益性の高い事業を行う事に留意した。

公益事業として、まず、平成26年5月10日に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまのイベントに、昨年と同様に鹿児島県診療放射線技師会のブースを設置して参加した。このイベントはがん患者さんやサポートする家族と共にがんに向かう勇気や生きる感動を分かち合うためのイベントで、平成26年度で3回目の開催になる。鹿児島県診療放射線技師会は放射線検査や放射線被ばくに関するパネルの展示や超音波による骨密度の測定を行った。さらに今回はブースの設置だけではなく24時間リレーウォークにも参加し、技師会理事をはじめ地域の会員の協力を仰ぎながら24時間のウォークを完遂した。骨密度測定者は100名を超え鹿児島県診療放射線技師会の啓発も行った。2日間の延べ参加者数は約1,300人であり、がん撲滅のイベントとして大きな成果を挙げ鹿児島県診療放射線技師会としても貢献できた。

平成27年3月15日にレントゲン週間市民公開講座を開催した。今回もコ・メディカル職種の紹介を行い「病院でのコ・メディカルの仕事について」と題して、医療現場で働く理学療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士、診療放射線技師の5職種と診療放射線技師の養成機関のよりそれぞれの代表者を招いての講演会を鹿児島県内の高校生及び家族を対象に行った。参加人員は今回も事前の案内にも力を注いだが約50名と昨年よりは少なめであった。講演会の質疑応答では将来の職業について活発な質問がありコ・メディカルへの関心の高さが伺えた。この講演会は次年度も継続して行う予定とした。もう1つの公益事業の市民健康まつりは直前の台風接近により残念ながら中止となった。

平成25年6月21日の定期総会後に鹿児島県診療放射線技師会が平成25年4月に公益社団法人に移行して1年が経過したのを受けて、これまでの歴史を振り返る記念講演会と式典並びに祝賀会を開催した。記念講演会では鮫島監事による「県技師会67年のあゆみ」、また記念式典ではこれまでご苦勞をかけた各支部長を表彰した。記念祝賀会では公益社団法人の申請段階でお世話になった方々への謝辞と村山元会長より祝辞を頂いた。

その他、鹿児島県内における診療放射線技師の職業倫理の高揚や知識の向上に関する研修会、研究会を行った。フレッシューズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会をそれぞれ1回ずつ開催した。地域研修会を6地域にてそれぞれ行ない、鹿児島地域、

南薩地域、大隅地域、霧島・始良地域は年間2回開催した。また11月8日の大隅地域研修会は秋季学術大会を同時に開催し、「手術支援画像について」と題してシンポジウムを開催した。鹿児島消化器画像研究会を4回、鹿児島県放射線治療技術研究会を2回、鹿児島CT研究会を4回、鹿児島MRI研究会を2回、鹿児島乳腺画像研究会を1回、鹿児島超音波研究会を4回、少人数ハンズオンセミナーを10回、鹿児島X線撮影研究会を2回開催した。

第3回鹿児島県診療放射線技師女性の集いを新しく開院した米盛病院で開催した。

放射線管理士部会、放射線機器管理士部会、画像情報精度管理士部会をそれぞれ1回ずつ開催した。その他、地域保健協力事業は鹿児島市夜間急病センター担当者の研修を3回行った。平成26年度の鹿児島県原子力防災訓練は鹿児島県診療放射線技師会の訓練への参加はなかった。

## 平成26年度事業報告

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下16の事業を行った。

### 1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

### 2. フレッシュアップセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ医療安全・一般撮影・気管支解剖等の研修を行う。

日時：平成26年6月29日（日）

会場：鹿児島大学医学部 第4講義室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：エチケット・マナー講座

医療安全講座

基礎講座(X線撮影)

気管支解剖講座

感染対策講座

入会案内

対象：会員および非会員

参加人数：42名

### 3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

日時：平成26年7月19日（土）

会場：鹿児島大学医学部 第2臨床実習室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「部下をやる気にさせる指導・育成」

対象：会員

参加人数：38名

### 4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

日時：平成27年3月15日（土）

会場：鹿児島県民交流センター

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「病院でのコ・メディカルの仕事について」

対象：一般市民、会員、非会員

参加人数：50名

### 5. 特別企画の実施

公益社団法人移行1周年記念式典・祝賀会

日時：平成26年6月21日（土）

会場：パレスイン鹿児島

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：記念式典・講演会・祝賀会

記念講演：「県技師会67年のあゆみ」

対象：会員および非会員

参加人数：61名

### 6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を地域理事の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行う。

鹿児島地域

第13回鹿児島地域研修会

日時：平成26年8月8日（金）

会場：鹿児島医療センター 大会議室  
 対象：会員、非会員  
 参加人数：69名(非会員6名含む)

第14回鹿児島地域研修会

日時：平成27年2月7日(金)  
 会場：南風病院 ANNEX I  
 対象：会員、非会員  
 参加人数：48名(非会員4名含む)

南薩地域

第29回南薩地域研修会

日時：平成26年9月13日(土)  
 会場：指宿浩然会病院 浩然記念ホール  
 対象：会員および非会員  
 参加：59名(うち技師41、非会員10、学生5、メーカー13)

第30回南薩地域研修会

日時：平成27年3月7日(土)  
 会場：県立薩南病院 会議室  
 対象：会員および非会員  
 参加：48名(うち非会員2、メーカー11、他14)

北薩地域

第23回北薩地域研修会

日時：平成26年11月22日(土)  
 会場：出水総合医療センター2階講堂  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：50名

霧島・始良地域

霧島・始良地域研修会

日時：平成26年7月5日(土)  
 会場：加治木温泉病院 講堂  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：出席者32名(うち非会員6名)

霧島・始良地域研修会

日時：平成27年1月31日(土)  
 会場：霧島市立医師会医療センター 大会議室  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：出席者48名(うち非会員18名)

大隅地域

大隅地域研修会及び鹿児島県放射線技師会秋季学術大会(合同開催)

日時：平成26年11月8日(土)  
 会場：垂水市立医療センター垂水中央病院  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：47名

第36回大隅地域研修会

日時：平成27年2月14日(土)  
 会場：鹿屋医療センター  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：47名(うち非会員10名メーカー12名)

大島地域

大島地域研修会

日時：平成27年2月7日(土)  
 会場：県立大島病院救命センター研修ホール  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：17名(うち非会員1名)

7. 秋季学術大会の実施

平成26年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会

日時：平成26年11月8日(土)  
 会場：垂水市立医療センター垂水中央病院  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：47名

8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島放射線治療研究会、鹿児島CT研究会、MR研究会、鹿児島乳腺

画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島 X 線研究会を鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行う。

#### 鹿児島消化器画像研究会

##### 第46回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成26年4月16日（水）

会場：厚生連病院 別館3階

対象：会員および非会員

参加人数：49名（うち非会員15名, 医師1名）

##### 第47回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成26年7月26日（土）

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：43名（うち非会員9名）

##### 第48回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成26年10月22日（水）

場所会場：厚生連病院 別館3階

対象：会員および非会員

参加人数：29名（うち非会員7名）

##### 第49回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成27年1月24日（土）

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：42名（うち非会員7名）

#### 鹿児島県放射線治療技術研究会

##### 第12回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成26年7月19日（土）

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：43名

##### 第13回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成26年12月20日（土）

会場：鹿屋医療センター 講堂

対象：会員および非会員

参加者：26名

#### 鹿児島 CT 研究会

##### 第26回鹿児島 CT 研究会

日時：平成26年5月21日（水）

会場：鹿児島医療センター 大会議室

対象：会員および非会員

参加人数：93名

##### 第27回鹿児島 CT 研究会

日時：平成26年8月20日（水）

会場：鹿児島医療センター 大会議室

対象：会員および非会員

参加人数：86名（うち非会員10名）

##### 第28回鹿児島 CT 研究会

日時：平成26年11月19日（水）

会場：鹿児島医療センター2階大会議室

対象：会員および非会員

参加者103名（うち非会員25名）

##### 29回鹿児島 CT 研究会

日時：平成27年2月18日（水）

場所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

対象：会員および非会員

参加者84名（うち非会員20名）

#### MRI 研究会

##### 第16回鹿児島県 MRI 研究会

日時 H26年5月17日（土）

場所 鹿児島大学医学部第4講義室

参加者56名

## 第17回鹿児島県MRI研究会

日時 H26年12月6日(土)  
 場所 鹿児島大学医学部第4講義室  
 参加者 64名

## 鹿児島乳腺画像研究会

第2回鹿児島乳腺画像研究会  
 日時:平成26年3月27日(金)  
 会場:鹿児島市立病院 視聴覚室  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 45名

## 鹿児島超音波研究会

第3回鹿児島超音波研究会  
 日時:平成26年5月24日(土)  
 会場:南風病院 ANNEX-I  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 39名(うち非会員12名)

## 第4回鹿児島超音波研究会

日時:平成26年8月22日(金)  
 会場:鹿児島厚生連病院 別館  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 49名(うち非会員20名)

## 第5回鹿児島超音波研究会

日時:平成26年11月15日(土)  
 会場:さがらパース通りクリニック 博愛ホール  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 43名(うち非会員21名)

## 第6回鹿児島超音波研究会

日時:平成27年2月13日(金)  
 会場:鹿児島厚生連健康管理センター  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 47名(うち非会員17名)

## 第4回少人数ハンズオンセミナー

2014/11/5~2015/2/4 計10回  
 参加者 4名(非会員4名)  
 開催場所 フサメ内科クリニック

## 鹿児島X線撮影研究会

第2回鹿児島X線撮影研究会  
 日時:平成26年7月12日(土)  
 会場:鹿児島医療技術専門学校 大講義室  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 74名(うち非会員19名)

## 第3回鹿児島X線撮影研究会

日時:平成27年1月10日(土)  
 会場:米盛病院 ラーニングセンター講堂  
 対象:会員および非会員  
 参加人数 63名(うち非会員19名)

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

## 放射線管理士部会

日時:平成27年3月14日(土)  
 場所:南風病院アネックスI  
 参加数:52名

## 放射線機器管理士部会

日時:平成26年10月18日(土)  
 会場:鹿児島大学病院 第4講義室  
 対象:会員および非会員  
 参加者:26名

**鹿児島医療画像情報精度管理士部会**

日時：平成26年9月23日（土）

場所：南風病院アネックスI

参加数：37名

**10. 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い**

第3回鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

平成27年1月17日（土）

米盛病院 ラーニングセンター

参加者：89名

**11. ホームページの活用促進**

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。随時更新中

**12. 各種イベント等への積極的参加・協力**

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

**市民健康まつり**

今年度は台風接近のため中止になった。

**リレー・フォー・ライフジャパン参加**

日時：平成26年5月10日（土）

会場：ドルフィンポート

がん撲滅のイベントであるリレー・フォー・ライフジャパンに2回目の参加をした。今回もブースを設置しパネル展示、骨密度測定を行った。また、今回初めて24時間リレー・ウォークにも参加し、理事、会員の協力によりリレーを完遂した。

**13. 原子力防災支援**

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子

力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

（原子力防災訓練）

平成26年度は鹿児島県診療放射線技師会の参加はなかった。

**14. 地域保健協力事業**

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

派遣登録者数：20名

第1回夜間急病センター研修会

日時：平成26年7月19日（金）

場所：鹿児島大学病院 第2臨床実習室

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：14名

第2回夜間急病センター研修会

日時：平成26年11月28日（金）

場所：鹿児島市精神保健福祉交流センター

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：15名

第3回夜間急病センター研修会

日時：平成26年12月20日（土）

場所：鹿児島大学医学部保健学科5階

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：12名

**15. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会規程集の発行**

定款やその他規程をまとめた規程集を発行した。

**16. その他の事業****環境測定事業**

いちき串木野市立脳神経外科センター

実施日 H26年4月、9月

測定者 大久保、小磯

博悠会温泉病院（大久保、小磯）

実施日 H26年4月、10月

測定者 大久保、小磯

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

実施日 H26年4月、10月

測定者 西郷

田上クリニック

実施日 H26年7月、H27年1月

測定者 隈、西元

守屋病院

実施日 H26年7月、H27年1月

測定者 藤崎、吉見

### 出版事業

平成26年4月：ニュース59号発行

平成26年9月：第120号会報発行

平成27年2月：第121号会報発行

### 表彰事業

表彰委員会報告

日時：平成27年3月3日（金）

場所：鹿児島大学病院臨床技術部部長室

### 組織拡大事業

フレッシュャーズセミナー、各地域研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施

### 関連団体との連携

以下、関連団体と連携し、学術大会等を開催した。

公益社団法人日本診療放射線技師会

### 日本診療放射線技師会主催講習会

診療放射線技師基礎講習「乳房撮影」

日時：平成26年8月3日（日）

場所：鹿児島大学医学部

対象：会員および非会員

内容：講義（視聴）及び技能試験

参加人数：21名

### 静脈注射（針刺しは除く）講習会

日時：平成26年8月24日（日）

場所：鹿児島大学医学部臨床講義実習室

対象：会員および非会員

内容：講義（視聴）及び技能試験

参加人数：27名

### 診療放射線技師基礎講習「一般撮影」

日時：平成26年12月14日（日）

場所：鹿児島大学医学部臨床講義実習室

対象：会員および非会員

内容：講義（視聴）及び技能試験

参加人数：28名

### 平成26年度理事会

第1回理事会：平成26年6月21日

第2回理事会：平成26年10月18日

第3回理事会：平成26年12月20日

第4回理事会：平成27年3月15日

### 平成26年度常務理事会

第1回常務理事会：平成26年4月22日

第2回常務理事会：平成26年7月16日

第3回常務理事会：平成26年9月5日

第4回常務理事会：平成26年11月26日

第5回常務理事会：平成27年2月25日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,525,054	3,373,695	-848,641
未収会費	49,000	210,000	-161,000
未収金負担金	3,500	15,000	-11,500
流動資産合計	2,577,554	3,598,695	-1,021,141
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額	-5,302,440	-4,894,560	-407,880
基本財産合計	13,927,560	14,335,440	-407,880
(2) 特定資産			
事務所建替資産	8,167,791	7,947,292	220,499
特定資産合計	8,167,791	7,947,292	220,499
(3) その他固定資産			
什器備品	3,362,480	3,362,480	0
什器備品減価償却累計額	-2,252,813	-1,654,338	-598,475
その他の固定資産合計	1,109,667	1,708,142	-598,475
固定資産合計	23,205,018	23,990,874	-785,856
資産合計	25,782,572	27,589,569	-1,806,997
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	30,630	0	30,630
流動負債合計	30,630	0	30,630
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	30,630	0	30,630
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	-3,504,460	-1,666,833	-1,837,627
一般正味財産	-3,504,460	-1,666,833	-1,837,627
正味財産合計	25,751,942	27,589,569	-1,837,627
負債及び正味財産合計	25,782,572	27,589,569	-1,806,997

公益社団法人 鹿兒島県診療放射線技師会

## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	2,989,000	2,876,000	113,000
正会員会費	2,989,000	2,856,000	133,000
準会員会費	0	20,000	-20,000
事業収益	645,500	672,000	-26,500
研修会会費	105,500	65,000	40,500
広告	360,000	360,000	0
環境測定事業	180,000	247,000	-67,000
業務委託費	72,400	67,400	5,000
日本放射線技師会業務委託	72,400	67,400	5,000
受取負担金	505,500	496,000	9,500
受取負担金	213,500	496,000	-282,500
市医師会負担金	292,000	0	292,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益	803,969	343,887	460,082
受取利息	317	2,476	-2,159
雑収益	803,652	341,411	462,241
経常収益計	5,016,369	4,455,287	561,082
(2) 経常費用			
事業費	4,653,946	3,937,389	716,557
旅費交通費	783,810	529,520	254,290
通信運搬費	174,794	168,870	5,924
消耗品費	864	1,680	-816
印刷製本費	582,480	558,280	24,200
光熱水料費	63,852	73,653	-9,801
賃借料	359,030	176,550	182,480
保険料	43,528	43,528	0
諸謝金	998,000	1,060,000	-62,000
租税公課	33,000	33,360	-360
会議費	0	53,000	-53,000
減価償却費	826,043	826,043	0
雑費	788,545	412,905	375,640
管理費	2,200,050	2,184,731	15,319
会議費	89,171	88,803	368
旅費交通費	364,600	283,280	81,320
通信運搬費	59,818	133,103	-73,285
消耗什器備品費	0	200,813	-200,813
消耗品費	24,663	88,947	-64,284
印刷製本費	303,132	120,085	183,047
光熱水料費	98,716	97,152	1,564
賃借料	210,960	7,000	203,960
保険料	29,018	29,018	0
諸謝金	364,000	345,000	19,000
租税公課	43,000	43,240	-240
支払負担金	226,500	236,000	-9,500
減価償却費	180,312	190,089	-9,777
雑費	206,160	322,201	-116,041
経常費用計	6,853,996	6,122,120	731,876
評価損益調整前経常増減額	-1,837,627	-1,666,833	-170,794

## 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,837,627	-1,666,833	-170,794
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,837,627	-1,666,833	-170,794
一般正味財産増減額	-1,837,627	-1,666,833	-170,794
一般正味財産期首残高	-1,666,833	0	-1,666,833
一般正味財産期末残高	-3,504,460	-1,666,833	-1,837,627
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	-3,504,460	-1,666,833	-1,837,627

公益社団法人 鹿兒島県診療放射線技師会

## 正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	公益目的	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	1,793,400	1,195,600	2,989,000
正会員会費	1,793,400	1,195,600	2,989,000
事業収益	645,500	0	645,500
研修会会費	105,500	0	105,500
広告	360,000	0	360,000
環境測定事業	180,000	0	180,000
業務委託費	72,400	0	72,400
日本放射線技師会業務委託	72,400	0	72,400
受取負担金	505,500	0	505,500
受取負担金	213,500	0	213,500
市医師会負担金	292,000	0	292,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益	803,969	0	803,969
受取利息	317	0	317
雑収益	803,652	0	803,652
経常収益計	3,820,769	1,195,600	5,016,369
(2) 経常費用			
事業費	4,653,946	0	4,653,946
旅費交通費	783,810	0	783,810
通信運搬費	174,794	0	174,794
消耗品費	864	0	864
印刷製本費	582,480	0	582,480
光熱水料費	63,852	0	63,852
賃借料	359,030	0	359,030
保険料	43,528	0	43,528
諸謝金	998,000	0	998,000
租税公課	33,000	0	33,000
減価償却費	826,043	0	826,043
雑費	788,545	0	788,545
管理費	0	2,200,050	2,200,050
会議費	0	89,171	89,171
旅費交通費	0	364,600	364,600

## 公益社団法人 鹿兒島県診療放射線技師会

(単位：円)

勘定科目	公益目的	法人会計	合計
通信運搬費	0	59,818	59,818
消耗品費	0	24,663	24,663
印刷製本費	0	303,132	303,132
光熱水料費	0	98,716	98,716
賃借料	0	210,960	210,960
保険料	0	29,018	29,018
諸謝金	0	364,000	364,000
租税公課	0	43,000	43,000
支払負担金	0	226,500	226,500
減価償却費	0	180,312	180,312
雑費	0	206,160	206,160
経常費用計	4,653,946	2,200,050	6,853,996
評価損益調整前経常増減額	-833,177	-1,004,450	-1,837,627
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-833,177	-1,004,450	-1,837,627
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-833,177	-1,004,450	-1,837,627
一般正味財産増減額	-833,177	-1,004,450	-1,837,627
一般正味財産期首残高	-632,502	-1,034,331	-1,666,833
一般正味財産期末残高	-1,465,679	-2,038,781	-3,504,460
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0

## 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

(単位：円)

勘定科目	公益目的	法人会計	合計
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	-1,465,679	-2,038,781	-3,504,460

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	7,900,000			7,900,000
建物	6,435,440		407,880	6,027,560
小 計	14,335,440		407,880	13,927,560
特定資産				
事務所建替資産	7,947,292	220,499		8,167,791
小 計	7,947,292	220,499		8,167,791
合 計	22,282,732	220,499	407,880	22,095,351

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	7,900,000	( )	( 7,900,000)	( )
建物	6,027,560	( )	( 6,027,560)	( )
小 計	13,927,560	( )	( 13,927,560)	( )
特定資産				
事務所建替資産	8,167,791	( )	( 8,167,791)	( )
小 計	8,167,791	( )	( 8,167,791)	( )
合 計	22,095,351	( )	( 22,095,351)	( )

## 平成26年度 監査報告書

平成27年6月13日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 池田 睦 殿

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

監 事 西元 広男

監 事 鮫嶋 宗俊



監事兩名は、平成26年度の技師会運営に関する監査を定款第18条に則って中間監査及び期末監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告書を作成したので、以下のとおり報告する。

### 記

#### 1. 監査の概要

理事会に出席する他、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文章綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

##### (2) 事業について

事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

##### (3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

##### (4) その他

特に指摘すべき事項は認められない。

## 平成27年度事業計画

平成27年度事業計画案の説明を行います。

鹿兒島県診療放射線技師会は平成27年度も公益社団法人3年目として、前年度と同じように公益社団法人にふさわしい事業を行います。

第4回リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまへ参加し、ブースの設置だけでなく24時間リレーウォークに参加し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行います。同時に診療放射線並びに鹿兒島県診療放射線技師会の啓発を行います。

市民健康祭りにおいてブースを設置し放射線被ばくの相談や診療放射線への理解並びに放射線検査の説明等をパネルで行います。また、超音波骨密度測定器により骨年齢の測定を行い県民の健康増進に寄与する事業を行います。

市民公開のレントゲン週間イベントを開催し、コ・メディカル職種の理解や発展に繋げる事業を行います。同時にパネル展示等を行い放射線検査の説明や放射線被ばく相談にあたります。

特別企画の実施として総会時において公益性に富む一般講演会の開催を企画し、専門性以外の知識・素養も身につける予定です。

春季並びに秋季学術大会を春季は鹿兒島市で秋季は大島地域で開催予定です。さらに、フレッシュセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、その他研修会を開催予定です。

また、各地域研修会並びに研究会、部会及び女性の集い等も昨年同様に開催いたします。

平成27年度の原子力防災訓練には鹿兒島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿兒島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も複数回開催予定です。

上記の通り、鹿兒島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿兒島県民の健康増進に寄与する事業を行います。平成27年度も鹿兒島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

### 1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

### 2. フレッシュアップセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

### 3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

### 4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

### 5. 特別企画の実施

総会時において公益性に富む一般講演会の開催を企画し、専門性以外の知識・素養も身につける。

### 6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず出席を可能とし、会員増加の促進を図る。

### 7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、平成27年度は大島地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

## 8. 各研究会の実施

消化管研究会、放射線治療研究会、CT研究会、MR研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT研究会、MRI研究会に関しては各地域でも開催できるよう企画する。

## 9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

## 10. 第4回女性診療放射線技師の集い

鹿児島県内の女性診療放射線技師が集い研修会を行う。今年度は4回目の開催予定である。

## 11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。また、メールアドレス、ファックス番号を公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを考える。

## 12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまリレーウォークに参加。パネル展示、放射線相談、骨密度測定等で協力予定。
- ・第32回市民健康まつり  
今年度は従来通りブースを設定して診療放射線技師会並びに診療放射線技師の啓発活動を行う。超音波による骨密度測定も予定する。

## 13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

**14. 地域保健協力事業**

鹿兒島市医師会より委託を受けた鹿兒島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために、必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

**15. その他の事業**

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。編集委員を設置し内容の充実を図るとともに表紙デザインの変更を検討する。また、会員からの投稿も積極的に勧誘し掲載していく。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。
関連団体との連携	公益社団法人日本診療放射線技師会や関連団体と協力し、歩調を合わせて進むことにより連携を強化していく。

**公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会**  
**平成27年度収支予算書(案)**

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

**I. 一般正味財産増減の部**

**1. 経常増減の部**

( 単位:円 )

経常収益	前年度予算額			予算額			増減	備考
	公益目的	法人会計	費用計	公益目的	法人会計	費用計		
受取会費	1,923,000	1,282,000	3,205,000	1,797,600	1,198,400	2,996,000	△ 209,000	
正会員会費	1,911,000	1,274,000	3,185,000	1,797,600	1,198,400	2,996,000	△ 189,000	70歳以上除外 428人分/437人
準会員会費	12,000	8,000	20,000	0	0	0	△ 20,000	本年度よりなし
事業収益	770,000	0	770,000	930,000	0	930,000	160,000	
研修会会費収入	50,000	0	50,000	120,000		120,000	70,000	研修会・研究会の非会員参加費
広告収入	360,000	0	360,000	450,000		450,000	90,000	15社×30000円
環境測定事業収入	360,000	0	360,000	360,000		360,000	0	
業務委託費	60,000	0	60,000	75,000	0	75,000	15,000	
日本放射線技師会業務委託費	60,000	0	60,000	75,000	0	75,000	15,000	9月会費完納者数×200円
受取負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	
市医師会負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	夜間急病センター研修委託費
雑収益	160,000	0	160,000	410,000	0	410,000	250,000	
受取利息	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	
雑収益	150,000	0	150,000	400,000	0	400,000	250,000	
	3,205,000	1,282,000	4,487,000	3,504,600	1,198,400	4,703,000	216,000	

経常費用	公益目的	法人会計		公益目的	法人会計		増減	備考
事業費 会議費	0		0	0		0	0	
旅費交通費	450,000		450,000	500,000		500,000	50,000	
通信運搬費	250,000		250,000	170,000		170,000	△ 80,000	
消耗什器備品費	200,000		200,000	100,000		100,000	△ 100,000	
消耗品費	120,000		120,000	30,000		30,000	△ 90,000	
修繕費	20,000		20,000	20,000		20,000	0	
印刷製本費	600,000		600,000	550,000		550,000	△ 50,000	
燃料費	20,000		20,000	20,000		20,000	0	
光熱水料費	42,000		42,000	80,000		80,000	38,000	
賃借料	250,000		250,000	300,000		300,000	50,000	
保険料	10,000		10,000	50,000		50,000	40,000	
諸謝金	800,000		800,000	930,000		930,000	130,000	
租税公課	50,000		50,000	50,000		50,000	0	
雑費	150,000		150,000	150,000		150,000	0	
減価償却費	830,000		830,000	830,000		810,000	△ 20,000	
管理費 会議費		100,000	100,000		100,000	100,000	0	
旅費交通費		250,000	250,000		200,000	200,000	△ 50,000	
通信運搬費		45,000	45,000		150,000	150,000	105,000	
消耗什器備品費		80,000	80,000		80,000	80,000	0	
消耗品費		40,000	40,000		60,000	60,000	20,000	
修繕費		30,000	30,000		20,000	20,000	△ 10,000	
印刷製本費		100,000	100,000		100,000	100,000	0	
燃料費		20,000	20,000		20,000	20,000	0	
光熱水料費		28,000	28,000		90,000	90,000	62,000	
賃借料		15,000	15,000		150,000	150,000	135,000	
保険料		73,000	73,000		30,000	30,000	△ 43,000	
諸謝金		300,000	300,000		350,000	350,000	50,000	
租税公課		83,000	83,000		45,000	45,000	△ 38,000	
雑費		100,000	100,000		300,000	300,000	200,000	
減価償却費		190,000	190,000		190,000	170,000	△ 20,000	
	3,792,000	1,454,000	5,246,000	3,780,000	1,885,000	5,665,000	419,000	

## 2. 経常外増減の部

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
基本財産評価損益等				0
特定資産評価損益等				0
投資有価証券評価損益等				0
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
				0
(1) 経常外収益				0
中科目別記載				0
経常外収益計	0		0	0
(2) 経常外費用				0
中科目別記載				0
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	△ 759,000		△ 962,000	△ 203,000
一般正味財産期首残高	29,650,000		29,256,000	△ 394,000
一般正味財産期末残高	28,891,000		28,294,000	△ 597,000
				0
受取補助金等				0
. . . . .				0
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額	0		0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高	0		0	0
	28,891,000		28,294,000	△ 597,000

## 平成27年4月～8月 入会者一覧

会員番号	氏名	施設名	地域
62145	神 禎子	出水総合医療センター	北薩
62146	松永 隆志	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	霧島・始良
62147	田畑 涼二	医療法人くすのき会 新門整形外科	北薩
62184	松下 徹郎	社会医療法人 緑泉会 米盛病院	鹿児島
62186	大野 優	社会医療法人 緑泉会 米盛病院	鹿児島
62185	荒木 研太	鹿児島労働衛生センター	鹿児島
62183	萩原 陽子	社会医療法人 博愛会 さがらパース通りクリニック	鹿児島
62187	燃脇 孝平	メディポリスがん粒子線治療研究センター	南薩
62320	池田 真一	今給黎総合病院	鹿児島
62321	横手 保樹	メディポリスがん粒子線治療研究センター	南薩
62338	川原 美咲	今給黎総合病院	鹿児島
62339	門松 真央	社会医療法人 緑泉会 米盛病院	鹿児島
62340	白木 龍之進		
62341	大澤 遼平	さかき脳神経外科	鹿児島
62505	寺脇 愛子	社会医療法人 博愛会 さがらパース通りクリニック	鹿児島
62537	上舞 優介	今村病院	鹿児島
62591	植木 翔吾	社会医療法人 緑泉会 米盛病院	鹿児島
62764	桐木平 直輝	医療法人くすのき会 新門整形外科	北薩
62780	中村 綾那	今村病院	鹿児島
62865	川畑 朋之	今給黎総合病院	鹿児島
62905	小谷 祐樹	今給黎総合病院	鹿児島

平成27年度第1回（公社）鹿児島県診療放射線技師会理事会 議事録（抄）

期日：平成27年5月31日（日）10時～12時

場所：鹿児島大学病院3階カンファレンス室

出席者理事：池田睦 新村栄次 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二 原口誠 平田勝 佐藤洋一  
藤坂智史 瀬戸和人 藤崎誠 坂下周一郎 岡野三男 平賀真雄 島児未治  
野中康博 佐々木崇（霧島・始良地域理事代理オブザーバー）

出席者監事：鮫嶋宗俊

欠席者：大久保光男 石本裕二 中島祐二 平賀真雄 田畑一文  
齊藤二郎

議事録署名人：池田睦 鮫嶋宗俊

池田会長より理事の過半数以上が出席しており第1回理事会が成立することが宣言された。

○議題

1. 決算・予算総会について（6月21日）

①退任者と立候補者について

藤坂理事より総会資料として配布予定の26年度の事業報告、平成27年度の事業計画について、説明があった。役員選挙については退任者・後任立候補予定者の説明がなされた。また重任の理事も立候補届を提出するようにお願いされた。

鮫嶋監事より副会長が1名不在なので現在の理事から副会長候補を決めた方がいいのではないかという意見があった。

出席理事全員で慎重協議の結果 地域理事から副会長を選任することになり、27年6月の総会日から29年6月の総会日までの任期は大隅地域理事の島児理事が副会長候補となることとなった。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ

全員挙手にて承認された。

②総会進行について

藤坂理事より総会進行についてタイムスケジュールの説明、議長団候補者の説明 総合司会者の説明があった。また、総会直後に新執行部で理事会を開催し会長、副会長、を選定し新執行部の挨拶を行うことの提案があった。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ

全員挙手にて承認された。

## 2. 春季学術大会演題応募状況 (6月21日)

### ①進行

藤崎拓理事より春季大会の演題数の状況の説明があり、更に募集しているとの説明があった。

### ②座長

藤崎拓理事より座長は演題によって、実績等を考慮し決めていきたいとの説明があった。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ

全員挙手にて承認された。

## 3. 特別講演準備状況 (6月21日)

藤坂理事より特別講演を洋画家の佳月優先生に「芸術と数学と私」という演題名でお願いしてあり、生徒さんも数名同行され、控室を準備している説明があった。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ

全員挙手にて承認された。

## 4. フレッシュアップセミナー開催準備状況 (6月14日)

藤崎拓理事よりJART主催であり、昨年と同様に行うこと。セミナー終了後に新人技師による懇談会を行いたいと説明がなされた。

また、フレッシュアップセミナー参加者と技師会入会の関係を示し、セミナーへの参加者が年々増えている説明がなされた。

坂下地域理事より原田学園にも連絡をしてよいか質問があった。

藤崎拓理事より原田学園にも連絡してよいし、地域理事からも新人への声掛けをお願いされた。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ

全員挙手にて承認された。

## 5. リーダー研修会準備状況 (7月18日)

鹿児島大学医学部臨床第2実習室

日時：平成27年7月18日 15時30分～17時30分

講師：中村朋美 (元アナウンサー)

池田会長より中村先生の講義は南薩地域の研修会でも大変好評であったこと。内容も管理職向けの講演を2時間依頼してあること。急病センターの研修も兼ねているので平田理事に連絡をお願いした。また、新村副会長に座長をお願いした。理事の参加もお願いされた。

他に意見がなく

池田会長より採決がなされ  
全員挙手にて承認された。

## ○報告事項

### 1. リレー・フォー・ライフジャパン鹿児島開催結果

藤崎誠理事より報告があり、5月9・10日で開催され、全部で52チームの参加があり、受付人数は1318名、募金総額が165万5256円、技師会ブースでは骨密度測定を149名行った。

リレーの1週1円募金で技師会は291円になったこと、地域研修会での募金が2559円集まったことの報告があった。

池田会長より藤崎誠理事に技師会からの実行委員として尽力いただいたお礼の言葉があり、今後もこのイベントに参加していき、さらに理事中心だけではなく若手の技師にも積極的に参加させて、がんと向き合う患者の思いを知ってほしいとの言葉があった。

### 2. JART永年勤続表彰者の決定

池田会長より鹿児島から3人を推薦し、表彰されることになったことが報告された。

### 3. 地域研修会、研究会の開催結果報告書の様式・宛先について

藤崎拓理事より超音波研修会より少数で毎週しているので報告書をまとめて報告していいのか問合せに対し、まとめて報告書を出してもらうように連絡したとの報告。

また、旅費等の計算は会計で行うこと。形式もExcel形式とし。報告書はすべて藤崎（拓）理事にメールで送るように、また会場借用願いについても學術の藤崎（拓）理事までメールで連絡するようとの説明があった。

### 4. 各研究会の運営規程の作成のその後

新村副会長より研究会の名称と規約について女性の会は名称変更するが、他の研究会は認定機構等への変更申請があるため、名称変更については難しいとの返答があったこと、規約についてはCT研究会の規約を参考に各研究会で規約を作成するようお願いをしているとの報告があった。問い合わせ報告についても藤崎（拓）理事への報告で統一しているとの報告があった。

池田会長より名称については「鹿児島」の記載があるのでこのままとし、案内の際に「公益法人鹿児島県放射線技師会」と記載するようお願いがあった。

### 5. 市民健康祭りの開催について

新村副会長より昨年は台風で中止になったが、公共交通機関が動いていたため、会場代が必要で返金は9万円弱戻ってきたこと。今年も10月4日にアリーナで開催される予定です。昨年と同様になるとの報告があった。

## 6. 医師会急病センターにおける X 線撮影業務の登録条件について

藤坂理事より内容が古いですので書き換えるように提案された。

池田会長より生涯学習の資格に関しては、アドバンス以上の方で、事務所負担金を払った方という項目を削除し「研修会を受講すること」を加える。

## 平成 27 年度県会員増減表

藤坂理事より 5 月 28 日時点では、会員数 451 名、仮会員数 5 名、入会が 14 名、退会が 1 名転出者 2 名と報告があった。

池田会長より入会者・退会者に関しては、会報に載せるように。

鮫島監事より会員名簿に関して、地域ごと増減が分かるようにした方がよい。その方が各地域理事も対策を取りやすいとの意見があり。

池田会長より各地域の増減に関しても理事会前に、各地域へ連絡するようにと発言があった。

## ○その他

### 1. 九州地域放射線技師会関係

#### ①九州地域放射線技師研修会

日時：平成 27 年 9 月 12 日（土）13 時 30 分～18 時

場所：ホテルパレスイン鹿児島

藤崎拓理事より「モダリティ毎の読影補助」について行う。また J A R T からの講演予定もある。プログラムはできており、HP に掲載予定と報告があった。

#### ②九州放射線医療技術学術大会 平成 29 年度 鹿児島大会

藤坂理事より場所は宝山ホールで、11 月 4・5 日に開催する。3 日より仮予約済み隣の中央公民館もできるだけ借りる方向で行うとの報告があった。

藤崎（拓）理事より今回は技術学会が大会長になります。準備金も用意してある。

大会長に関しては、九州部会の推薦がありますので、県では決められないが、近々決まるとの報告があった。

### 2. 鹿児島県診療放射線技師会創立 70 周年

平成 29 年度(鹿児島県診療放射線技師会の前身 鹿児島県 X 線師会設立:昭和 22 年 11 月)

池田会長より祝賀会や講演会等を 29 年度内で検討するようにとのことであった。

## その他

鮫嶋監事より CT の被ばく等に関する問題も HP 等に記載し市民への情報提供も行う必要があるとの提案が出された。

藤崎拓理事より管理士部会から現在医療センターが被ばく低減認定施設になっているが被ばくに関する広報も必要と考えていると意見が出された。

野中理事より各地域世話人の役職までまとめたリストの提出について質問があった。  
池田会長より委嘱状もあるので、各地域に役職の付いたリストの提出をお願いされた。

平田理事より急病センターの業務に関して2名希望者がいる件について  
池田会長より資格書類を提出してもらい理事会で検討が必要との回答があった。

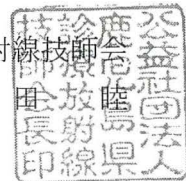
その他意見がなく

池田会長よりすべての議題が終了し、第1回理事会の閉会を宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成27年6月10日

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田



## 平成27年度 鹿児島県診療放射線技師会第2回理事会 議事録

日時：平成27年6月21日（日）12：30～12：50

場所：鹿児島大学医学部共通教育棟5階 504号室

出席理事：松本俊也 新村栄次 島児末治 藤崎拓郎 中島祐二 佐藤洋一 坂下周一郎  
岡野三男 平賀真雄 田畑一文 野中康博 藤崎誠 太田原美郎 松野下直美  
吉村洋一 西憲文 渡邊義治 藤坂智史

出席監事：池田睦

議事録署名人：松本俊也 池田睦

### ○開会

新村栄次：理事の過半数以上が出席しており本日の理事会は成立します。選挙も終わりました、皆様当選おめでとうございます。それでは、27年度からの執行部を決めていきたいと思えます。

### ○議題1 代表理事（会長）の選定

新村栄次：池田代表理事が任期満了により退任になりました。従って代表理事の選定を行います。

理事全員で慎重協議した結果、松本俊也氏が選ばれた。

新村栄次：では、松本俊也氏を代表理事に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

新村栄次：では代表理事は松本俊也氏でよろしくをお願いします。

### ○議題2 副会長2名の選定

新村栄次：次に副会長です。

理事全員で慎重協議した結果、新村栄次氏と島児末治氏が選ばれた。

新村栄次：では新村栄次を副会長に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、島児末治氏を副会長に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

新村栄次：副会長2名は新村と島児末治氏でよろしくをお願いします。

### ○議題3 常務理事7名の選定

新村栄次：次に7名の常務理事決めないといけないですが、今まで7部門1名ずつ、常務理事という形をお願いをしましたが、大久保氏、原口氏、瀬戸氏、齊藤氏、平田氏が退任されましたが、常務理事をここで決めたほうがいいですか？それとも次の常務理事会で決めますか？

池田 睦：早い時期に理事会開いてそこで決めて決めたほうがいいです。ここでは決まらない

新村栄次：わかりました。では、常務理事は後日理事会で決めることにします。

### ○議題4 地域理事6名の選定

新村栄次：続きまして地域理事6名の選定を行います。地域理事は残留で大島地域を田畑一文氏、大隅地域を島児末治氏、霧島・始良地域を平賀真雄氏、南薩地域を野中康博氏、北薩地域を岡野三男氏、鹿児島地域を坂下周一郎氏でよろしいでしょうか？

意見なし

新村栄次：それでは選定にはいります。

大島地域理事を田畑一文氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、大隅地域理事を島児末治氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、霧島・始良地域理事を平賀真雄氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、南薩地域理事を野中康博氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、北薩地域理事を岡野三男氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

次に、鹿児島地域理事を坂下周一郎氏に選定したいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

全員賛成 なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

新村栄次：地域理事に選定された皆様よろしくをお願いします。

それでは以上で選定を終わりたいと思います。

### ○その他

新村栄次：その他に入ります。皆様から何かありませんでしょうか？

ないようですので、新しく理事になられた方に一言挨拶よろしいでしょうか

新しく理事になった松本俊也氏、太田原美郎氏、松野下直美氏、吉村洋一氏、

西憲文氏、渡邊義治氏より挨拶が行われた。

### ○閉会

新村栄次：では本日の議題をすべて終了いたしました。

これもちまして、平成27年度 第2回理事会を終了します。

以上ですべての審議を終了した。

定款第38条2項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成27年6月25日

会 長 松 本 俊 也

監 事 池 田 睦

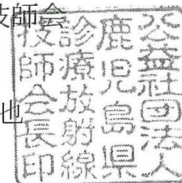
議事録作成 藤 坂 智 史

この議事録は原本と相違ありません

平成27年6月25日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 松 本 俊 也



## 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

### 平成27年度 第1回常務理事会議事録（抄）

日時：平成27年7月18日（土）13時30分～14時45分

場所：鹿児島大学医学部第2臨床実習室

出席理事：松本俊也 新村栄治 島児末治 藤崎拓郎 太田原美郎 中島祐二 佐藤洋一

藤崎誠 松野下直美 吉村洋一 渡邊義治 藤坂智史

欠席理事・監事：西憲文 池田睦 宮寄信

議長：松本俊也

議事録署名人：松本俊也

開会：松本会長より理事の過半数以上が出席しており、第1回の常務理事会を開催が宣言された。

#### 議題1. 会長私案

##### ①. 役員の業務分担の見直し

松本会長より、規定に沿った形で業務の見直しを行いたい。編集広報理事に会報、ニュース、総会資料の2次校正までお願いしたいと提案があり、吉村理事は了承した。

また、組織担当理事に会員、役員、地域世話人、研究会、入退会など県技師会全体の組織管理をしていただきたいと提案があり、佐藤理事は了承した。

福利厚生理事にホームページの更新と福利厚生の会場設定をお願いしたい。本日欠席の西理事からはホームページを大きく変えるのであれば会員の協力を頂きたいという提案があったのでお願いしている。

また、全体について太田原理事が表彰、吉村理事は編集広報、組織が佐藤理事、総務が藤坂理事と渡邊理事、学術は藤崎拓理事と藤崎誠理事と松野下理事、財務が中島理事、福利厚生が西理事の説明があり了承された。

太田原理事より理事業務をお互い認識すること、ホームページは定期的に変えチェック機能が必要との意見が出された。

藤坂理事より常務理事と理事の区分について質問があり、松本会長より各業務の責任者を常務理事とする回答がなされた。

吉村理事より医師会病院の理事が急病センターの担当になっているが、急病センター業務に携わっている人のほうがいいのではないかと意見が出され、松本会長より今後検討するとして、まずは窓口として担当してほしいと提案され、吉村理事は了承した。

##### ②. 作業の効率化

松本会長より今年度から研究会起案、報告の統一化を行ってもらっているが、今後は申請書なども定型文を作ってホームページに載せて使ってもらいたいと提案され了承された。

### ③. 鹿児島地域の役割の見直し

松本会長より鹿児島地域には鹿児島市で行われる研究会などのまとめ役になってもらうのはいかがでしょうか検討してもらいたいと提案が出された。理事会で話し合うことで了承された。

### ④. ホームページの改善

①で話し合われたので割愛された。

### ⑤. ポイントカードの導入（年度ごと）

松本会長よりポイントカードを作り、研究会に参加した人のポイント制で上位者に優遇することで参加意欲を上げられないかと提案され了承された。

### ⑥. 発表支援窓口開設

松本会長より発表支援の窓口を開設し、技師会が積極的に発表のサポート行いたいとの提案が出され了承された。

### ⑦. 収支の改善（研究会・部会・地域の旅費・講師謝礼のバランス）

松本会長より研究会ごとに収支にばらつきがあると思います。大きなマイナスは避けたいので制限を設けたいと提案された。中島理事より研究会の会員参加費を500円、非会員を1000円にしたら良いかと意見が出されたが、今後意見を募り検討することとなった。

### ⑧. 診療放射線技師実態調査

松本会長より鹿児島県の技師の実態調査をしたいとの提案があり了承された。

### ⑨. 原田学園卒業予定者への診療放射線技師会説明

松本会長：原田学園の卒業生を対象に技師会の話をしに行きたいと提案があり了承された。

### ⑩. 小学生、中学生、高校生への放射線に関する話（課外授業的な）技師の派遣

松本会長よりレントゲン週間で高校生に進路の一参考として技師の話をすることをやっているが、小学生、中学生にも「医療の中の放射線」みたいな話ができないか提案があり、今後検討することで了承された。

## 議題2. 業務分担見直し

## 議題3. 部会・研究会の規程

議題2. 議題3については議題1の中で審議されたので割愛された。

## 議題4. 日本放射線技師会、九州地域技師会関係の行事について

藤崎拓理事より、フレッシューズセミナーは、6月14日に開催済で、36名の参加者数であったこと、統一講習会は、1月23、24日に開催予定で、今年度は、抜針講習会を受けた人が対象であること、今年度は基礎技術講習会を開催しない方向であること等が説明され了承された。

## 議題5. 第2回FRT九州について（8/1）

松野下理事より会場が鹿児島医療センターから商工会議所ビルに変更になった件、JARTより中澤会長と熊代理事が参加されるとの説明があった。

### 議題6. 平成27年度 九州地域放射線技師研修会 (9/12)

松本会長より九州地域研修会地域放射線技師研修会にもできるだけ参加のお願いがあった。

### 議題7. 第10回九州放射線医療技術学術大会 (10/31から11/1)

松本会長より第10回九州医療技術学術大会が宮崎で開催されます。7月12日の時点で演題締切が22日まで伸びており演題を出してなるべく参加する旨のお願いがあった。

### 議題8. レントゲン週間イベント (10月11月中開催希望)

松本会長よりレントゲン週間イベントについて12月20日の県民交流センター仮予約を変更があればまだ可能との説明があった。島見副会長より来年は8月辺りがいいのではないかと意見が出された。

### 議題8. その他

○新村副会長より研究会会費の件でメーカーさんからの協力を今後どうしていくか質問があり審議した結果、はっきりしていない点、これまでのことを見直すことなど、全理事の意見を聞いて理事会で検討することとなった。

○藤坂理事より研究会世話人委嘱期間について規定がないとの質問があった。松本会長より代表世話人は理事などと同様の2年とし、世話人の方は各研究会で決めて理事会で承認し委嘱状が必要であれば教えていただくという形で提案され、了承された。

○吉村理事より急病センターの業務を担当する方が一人増えるという報告があり、理事会で承認することとなった。

○松本会長より県技師会員が大麻所持で逮捕された件の現状報告があり、注意喚起をお願いされた。

他に常務理事会が終了となった。

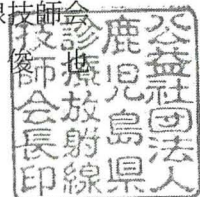
閉会：松本会長より全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

平成27年7月21日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 松本



# ☆会員からの投稿

## 夏祭り体験記「新栄町内会財宝夏祭り！」

県民健康プラザ鹿屋医療センター 白坂記男

皆さんがお住まいの町内会では、夏祭りを開催しますか？私が住む鹿屋市新栄町では 2 年に 1 回夏祭りが開催されます。けっして大きな町内会ではないのですが、町内に財宝温泉の事務所本社があり、スポンサーとしてバックアップくださるので盛大となります。財宝温泉といえば、東京ドームのバックスクリーン横に「財宝」の大きな看板を出したり、遠藤関を CM に起用したりしています。町内会の夏祭り名に「財宝」が入るなんてなかなか無いです。

異動に伴いこの町内会に引っ越して 4 年目になりますが、病院勤務をしていると週末は当直や学会への出席があるため町内会行事への参加は皆無の状態でした。ところが昨年、娘が小学生高学年になり親子会長として 1 年間無事役目を終えると（父ちゃん頑張りました）、今年は町内会の役員に任命され夏祭りに向けて準備を進めてきました。夏祭りは 7 月 12 日の日曜、前日の土曜から会場設営を行います。普段は、長寿会のグランドゴルフや、子供達がサッカーやブランコ、滑り台で遊ぶ公園に、財宝グループの大型トラックを乗り入れ、立派なステージが作られました。

当日は雨の予報で心配されましたが、なんとかスタート。屋台を親子会と財宝グループで出店し夏祭りを盛り上げます。飲み物、焼き鳥、ポップコーン、財宝の商品などなど。ステージでは、親子会子供達によるソーラン節やバンド演奏など盛りあがり、町内外のみんなで楽しみました。

私は夏祭り終了まで、不足する物品や来賓頂く方への対応でバタバタ、片付けは深夜までとなりましたが無事終わりました。町内会長さんからは「2 年後も頼むぞ」と財宝の水を頂きましたが、今度はビールを飲みながら楽しむ側で参加したいです。

今回、夏祭り準備のために 7 月 11 日の鹿児島県放射線治療技術研究会を欠席する結果になり、豊田さん、大迫さん、世話人の皆様にご迷惑をおかけしました。すいませんでした。お詫びに、財宝の水持って行きます！



## 会計だより

### 27年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、昨年度に引き続き日本診療放射線技師会費との合算請求をすることになりました。

本年度の会費請求者リストはすでに昨年度末 JART 宛てに送付済みですが、年度末に会費を納入された方は行き違いで昨年度分会費が未納扱いになっている可能性がありますことをあらかじめご了承くださいと共にご不明な点等がございましたらご連絡をお願いいたします。

つきましては会費納入は決められた期限内にお早めにしていただきますことをお勧めいたします。

### 会費免除に関する規定について

鹿児島県診療放射線技師会では公益法人移行を機に所管課の指導の下、諸規定の見直しを理事を中心として行ってまいりました。

とりわけ会費納入に関する規定の中の会費免除に関する規定においては平成17年5月に制定されております（社）鹿児島県放射線技師会の会費免除に関する規定のなかで

（終身会員資格取得者の免除）

第5条 35年以上本会会員であり、満70歳に達した者は、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費を終身にわたって免除されるものとする。

との条項があります。

昨年度よりこの規定を見直し、本人よりの申請がなくても満70歳に達した会員の翌年度以降の会費を免除する旨の条項へと変更する方針となりました。

また事務的手続きを簡素化するためにも九州地域放射線技師会費についても同様の方針で対処させていただくこととなりましたのでご周知のほどよろしくお願いいたします。

## 編集後記

理事に就任し、広報業務に携わることとなり改めて記事一つ一つへの思い入れを感じます。軽く目を通すだけの文章も、推敲、書き直し直しを重ねて出来上がったものだと思います。一人でも多くの方に目を通して頂く方策や、イベント、総会、研究会など技師会活動への参加人数を増やす方法など、是非皆様のアイデアを聞かせて頂ければと思います。併せて、困っていること、一人で考え込んでいることなど何でもお寄せ頂き、技師会を活用し、資質向上に繋げていくことが出来るようになればと思います。

連絡先： [yosimu1713@gmail.com](mailto:yosimu1713@gmail.com)

## 理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	松本 俊也	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	新村 栄次	今給黎総合病院	099-226-2211
副会長	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5111
表彰理事	太田原 美郎	鹿児島市立病院	099-230-7000
学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	松野下 直美	徳久整形外科	0993-53-4311
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111
財務理事	中島 祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	西 憲文	鹿児島厚生連病院	099-252-2228
編集・広報理事	吉村 洋一	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤 洋一	鹿児島市立病院	099-230-7000
総務理事	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科 鹿児島	099-223-1936
総務理事	藤坂 智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下 周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野 三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・姶良地域理事	平賀 真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	田畑 一文	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院	0993-56-1135
監事	池田 睦	白坂病院	099-255-3161
監事	宮寄 信		

## 広告掲載一覧 (順不同)

会社名	郵便番号	住所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
富士フイルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル
エーザイ株式会社 鹿児島コミュニケーションオフィス	890-0053	鹿児島市中央町12-2 明治安田生命鹿児島中央町ビル6F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC 鴨池ビル3F
日立アロカメディカル株式会社 鹿児島営業所	890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原5丁目16番8号
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目15-2
株式会社 舞研	891-0115	鹿児島市東開町4番94号
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/ サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社ドクターネット	105-0012	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル12階

医療従事者の安全のために  
**RaySafe i2**

RaySafe i2は、放射線被ばく量を抑えるための迅速な対処ができるよう、あなたの現在の被ばく状況をお知らせする個人線量計システムです。

また、さらなる分析を可能にするため、被ばく状況をタイムスタンプ付きで記録します。

RaySafe i2は目に見えなかった医療従事者の被ばくを可視化し、患者の診断・治療に集中できる環境をご提供します。



For All Your Tomorrows

**TOYO MEDIC**

<http://www.toyo-medico.co.jp/> E-mail [info@toyo-medico.co.jp](mailto:info@toyo-medico.co.jp)

Unfors RaySafe社 日本代理店  
**東洋メディック株式会社**

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13  
TEL. (03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264  
大阪支店：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7  
TEL. (06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745  
福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40  
TEL. (092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027  
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山



非イオン性MRI用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

新発売

**ガドビスト<sup>®</sup>** 静注1.0mol/L  
シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

資料請求先  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
<http://www.bayer.co.jp/byl>

2015年7月作成

# FUJIFILM

処方せん医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載

## 非イオン性尿路・血管造影剤 イオプロミド注「FRI」



イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL  
 イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL  
 イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL  
 イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL  
 Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI  
 (イオプロミド注射液) 注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

●「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

**イオプロミド注「FRI」は、ドイツのバイエル・ファーマ社により  
開発された非イオン性尿路・血管造影剤です。**

製造販売元

富士フイルムRIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル  
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

TEL03(5250)2620

輸入先



バイエル・ファーマ社  
(ドイツ連邦共和国)

2012年4月作成

**lomeron**

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]  
**イオメロン**<sup>®</sup> 300注 20mL/50mL/100mL  
350注 20mL/50mL/100mL  
400注 20mL/50mL/100mL  
〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]  
**イオメロン**<sup>®</sup> 300注 シリンジ 50mL/75mL/100mL  
350注 シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL  
〈イオメプロール注射液〉



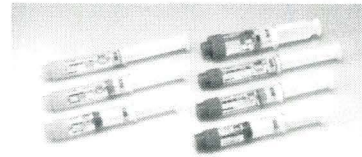
処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

**プロハンス**<sup>®</sup> 静注 5mL/10mL/15mL/20mL  
〈ガドテリドール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること  
非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

**プロハンス**<sup>®</sup> 静注シリンジ 13mL/17mL  
〈ガドテリドール注射液〉



**ProHance**<sup>®</sup>

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

ブラッコ・エーザイ株式会社  
東京都文京区人塚3-11-6

販売元

エーザイ株式会社  
東京都文京区小石川4-6-10

提携先

ブラッコ スイス株式会社

製品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン フリーダイヤル 0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

CM1204M02

GE Healthcare

# 世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、  
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。  
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。  
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。

高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、  
やさしい医療環境をサポートするために、  
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

## Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 www.gehealthcare.co.jp

healthymagination



GE imagination at work



## 安全・安心を世界へ提供。 日立アロカメディカルの放射線測定装置

放射能汚染はないか、放射線のレベルはどのくらいか、  
どれだけ放射線を受けたか、それらは測定器で見ることができます。  
目的に応じた、豊富な機器をご用意しております。

**HITACHI**  
Inspire the Next

**ALOKA**  
illuminate the change

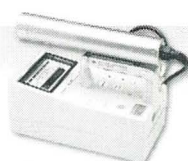
### サーベイメータ



PDR-303



ICS-323C



TCS-172B



TGS-146B

### サーベイメータ・ 電子ポケット線量計用 データ読取装置 マイド・スワッチ



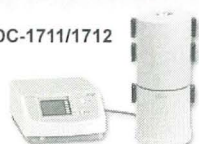
SDM-301C

### キョウメータ



IGC-7F

### γ線ウエル測定装置

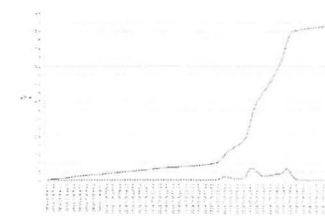


JDC-1711/1712

### 中央監視装置



MSR-3000



トレンド情報をグラフ化できます。  
対応機種: PDM-222VC, PDM-227C, PDM-501

### 電子ポケット線量計

γ線測定用



PDM-122B



PDM-501 (高感度)



PDM-222VC  
警報機能付

X(γ)線測定用



PDM-127B



PDM-227C  
警報機能付

**日立アロカメディカル株式会社**

〒181-8622 東京都三鷹市牟礼6-22-1 計測システム営業部 0422-45-5131 www.hitachi-aloka.co.jp

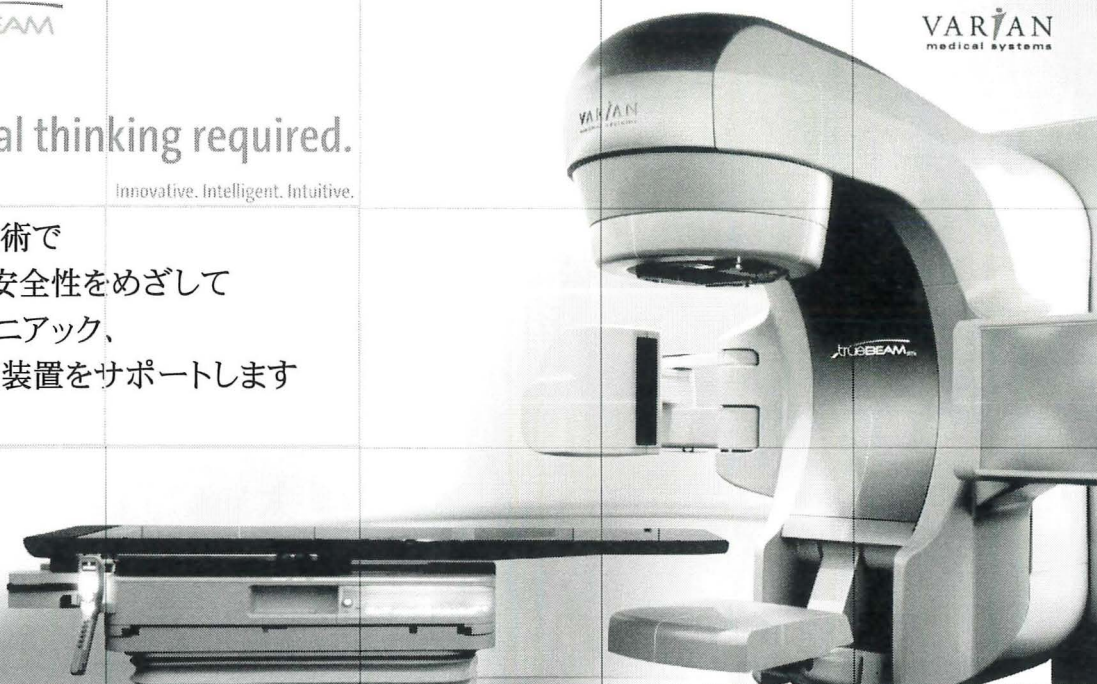
truBEAM

VARIAN  
medical systems

Radical thinking required.

Innovative. Intelligent. Intuitive.

確かな技術で  
より高い安全性をめざして  
医療用リニアック、  
治療計画装置をサポートします



南九州電子サービス株式会社  
<http://www.mkds.co.jp>

宮崎本社 宮崎市広島 1 丁目 1 - 1 0  
TEL 0985-29-8371  
鹿児島(営) 鹿児島市鴨池 2 丁目 1 5 - 2  
TEL 099-253-7397

**BUKEN**

[www.buken.co.jp](http://www.buken.co.jp)

株式会社 舞 研

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501  
FAX 099-266-2601

sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研

SIEMENS

SIEMENS

SOMATOM  
Perspective

# SOMATOM Perspective

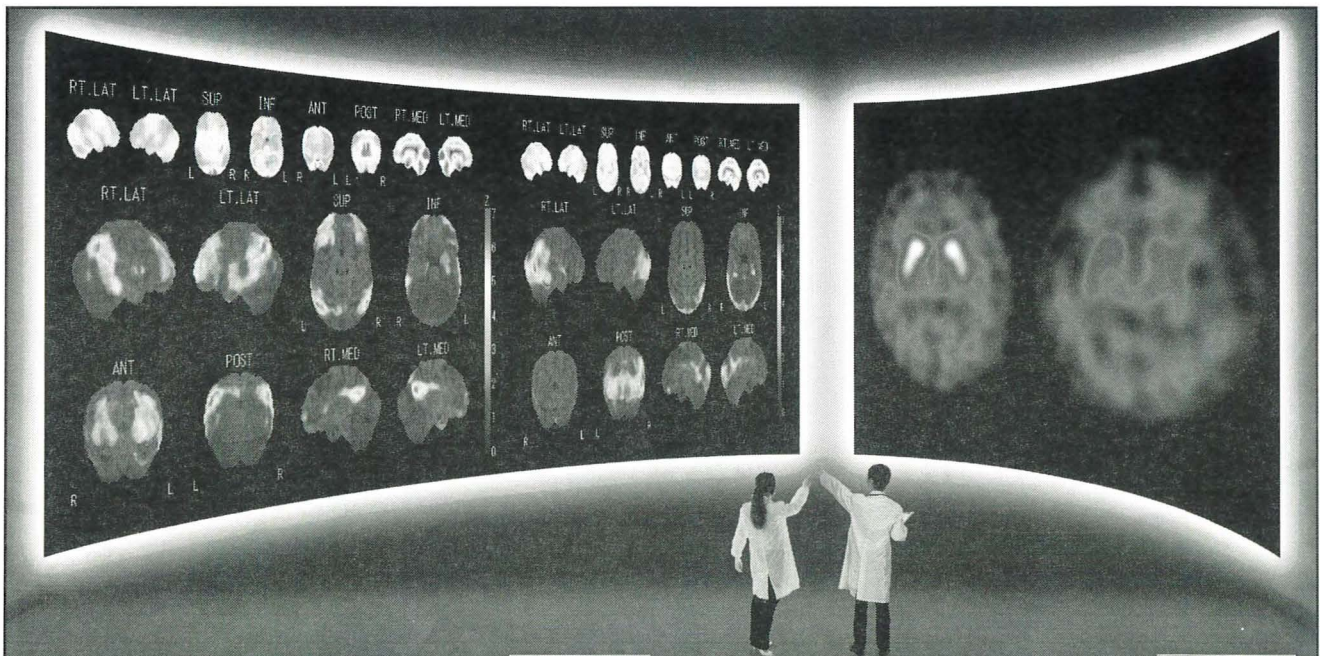
Answers for life.

## “時代が求めた新コンセプト” 64スライスCT

シーメンスでは、常に必要な改良・開発を繰り返し、“最良な臨床結果”を得るためのソリューションを追求しています。昨今の多様化する医療環境に最適化することは重要であると考えており、数値スペックだけにとらわれず、適合性や優しさにもフォーカスしています。高性能なスキャンスペックを維持したまま、設置性や快適性・容易さなどを高め、さらに経済性も考慮した設計で、守備範囲を拡大したCTスキャナが登場しました。

[www.siemens.co.jp/healthcare/](http://www.siemens.co.jp/healthcare/)

nihon  
medi+physics



放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>(注)</sup>

### パーヒューザミン<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-ヨードアンフェタミン<sup>(123I)</sup>注射液  
注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載


処方箋医薬品<sup>(注)</sup>

### ダットスキャン<sup>®</sup>静注

放射性医薬品基準イオフルパン<sup>(123I)</sup>注射液  
注)注意—医師等の処方箋により使用すること

®—登録商標

資料請求先

 日本メジフィジックス株式会社

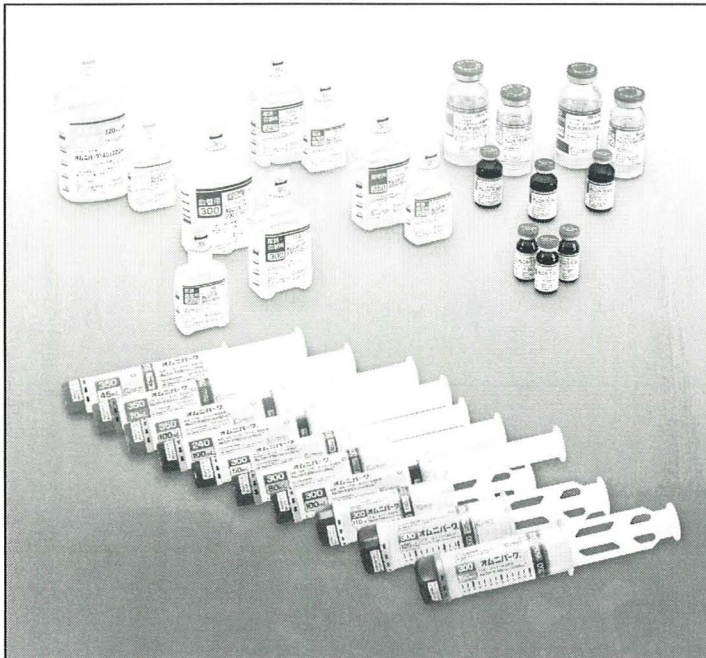
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで  
SPECT検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2015年3月作成



日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)  
 オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注(バイアル製剤)  
 オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)  
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)  
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)  
 オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)  
 オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク300注150mL(血管用)  
 オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
 オムニパーク350注100mL(血管用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液  
 オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)  
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)  
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の  
 詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤

処方せん医薬品\*

薬価基準収載



**オムニパーク®**  
 OMNIPAQUE®

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

**第一三共株式会社**

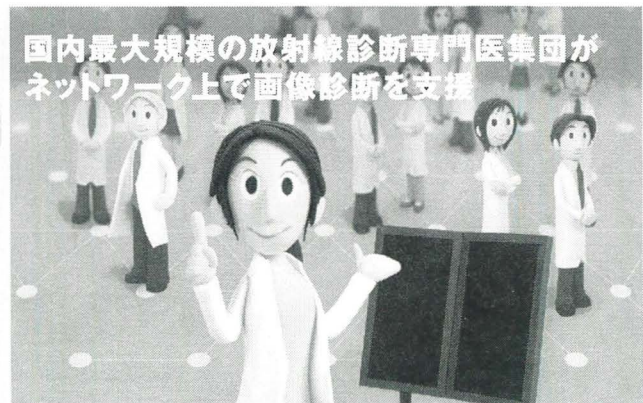
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年5月作成

**DOCTOR NET**



クラウド型遠隔読影ASPサービス  
**Virtual-RAD**



遠隔画像診断支援サービス  
**Tele-RAD**

## ドクターネットの遠隔画像診断

遠隔画像診断を一貫したワークフローで考えるドクターネットなら、場面にあわせて選べます。

株式会社ドクターネット

医療と人と社会を技術でつなぐ遠隔画像診断のリーディングカンパニー

東京本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5

TEL: 03-3459-5665

宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760

www.doctor-net.co.jp



